

# QLデッキ合成スラブ設計・施工標準 耐火仕様① JFE 建材 株式会社

## 合成スラブ工業会仕様 [耐火認定 FP060FL-9095, 9101, FP120FL-9107, 9113 用]

QLデッキ合成スラブの設計・施工は社日本建築学会「各種合成構造設計指針・同解説」「鉄骨工技術指針」「建築工事標準仕様書・同解説鉄筋コンクリート工事及びSS(鉄骨工事)」、  
一社日本鋼構造協会「デッキプレート橋構設計・施工標準1」・合成スラブ工業会「合成スラブの設計・施工マニュアル」、QLデッキ設計マニュアル・同施工マニュアルによる。

### 設計

材料/デッキプレート [ISO 9001 認証取得]

デッキプレート種類	板厚(mm)	表面処理
■ QL99-50	2.7	■ 表面防錆処理一次塗装 QLプライマー <sup>1)</sup>
□ QL99-75	3.4	■ 鉛鉛めっき (Z12 Z27)
		■ JFEエコー高耐食溶融めっき鋼板 (Y18 Y27)
		□ その他 ( ) 無し

材質 JIS G 3352に定めるSDP1T、SDP2、SDP2G

材料/コンクリート

種別	■ 普通コンクリート □ 軽量コンクリート □ 1種 □ 2種
設計基準強度	□ 18 □ 21 ■ 24 □ ( ) N/mm <sup>2</sup>
厚さQLデッキ山	□ 60 □ 70 ■ 80 □ 85 □ 90 □ 95 □ 100 □ ( ) mm

材料/溶接金網・異形鉄筋

溶接金網	JIS G 3551 □ φ6-75×75 □ φ6-100×100 □ ( )
異形鉄筋	JIS G 3112, 3117 ■ D10-150×150 □ ( )
耐火補強筋	JIS G 3112, 3117 D13-φ300

接合

梁との接合	■ 頭付きスタッド JIS B 1198 □ φ13 ■ φ16 □ φ19 □ φ22 (各長さ・ピッチは特記による)
	□ 焼抜き栓溶接 下記焼抜き栓溶接の項による
	□ 打込み紙 接合箇所は特記による
	□ その他 ( )

耐火

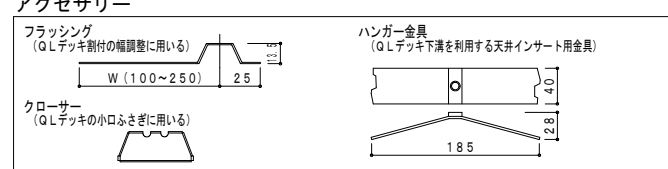
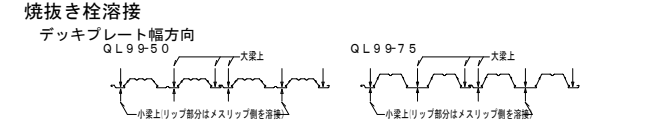
デッキプレート	耐火区分	支持条件	コングリ種別	耐火補強筋	認定番号
QL99-50	床1時間	単純	普通/軽量	要	□ FP060FL-9095
QL99-75	床2時間	連続		要	□ FP060FL-9101
		単純		要	□ FP120FL-9113
		連続		不要	□ FP120FL-9107

注) 床2時間は床1時間耐火を含む

特記

支保工有無	□ 有 □ 無
その他	□ 指定なし □ ( )

上欄内の採用項目( )を記して下さい。



施工時許容スパン表 (デッキプレートの検計)

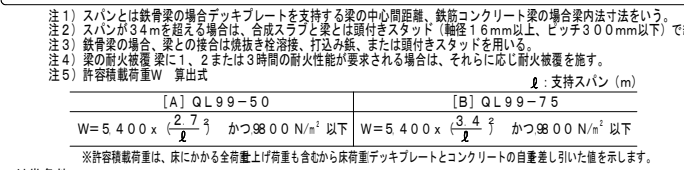
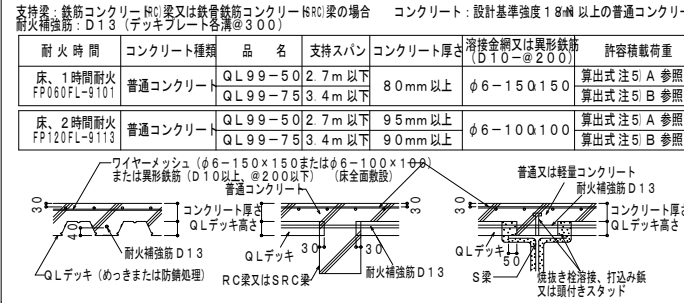
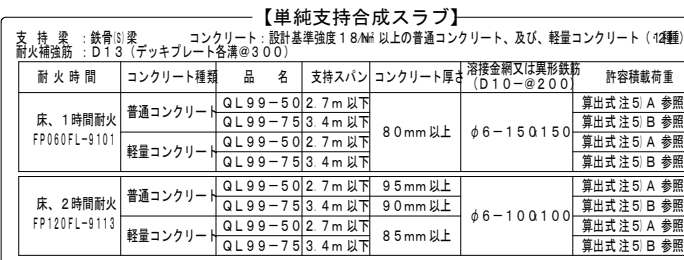
コンクリート厚 (mm)	単位: m									
	60	70	80	90	100	110	120	130	140	150
単続 内法	2.52	2.75	2.92	3.02	3.12	3.22	3.32	3.42	3.52	3.62
2連続	3.83	4.03	4.23	4.43	4.63	4.83	5.03	5.23	5.43	5.63
3連続	5.14	5.34	5.54	5.74	5.94	6.14	6.34	6.54	6.74	6.94

注1: 普通コンクリート (単位体積重量24kN/m<sup>3</sup>)、表面処理が鉛めっきの場合  
注2: ( ) 数値は表面処理がめっきなしまたは塗装品の許容スパンを示す  
注3: 表を超える場合は、別途支保工が必要です。

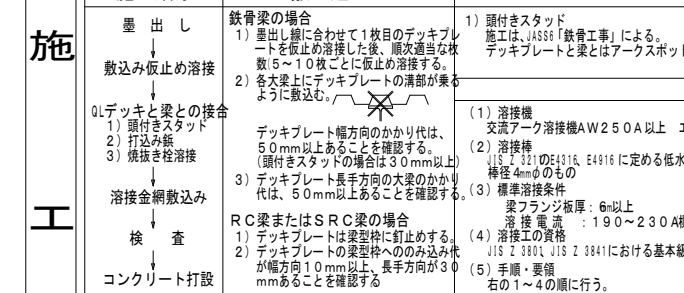
### 耐火仕様

【連続支持合成スラブ】

耐火時間	コンクリート種類	品名	支持スパン	コンクリート厚	溶接金網又は異形鉄筋 (D10-φ200)	許容積載荷重
床、1時間耐火 FP060FL-9095	普通コンクリート	QL99-50	3.0m以下	80mm以上	φ6-150×150	算出式注5A参照 算出式注5B参照
		QL99-75	3.4m以下	90mm以上	φ6-100×100	算出式注5A参照 算出式注5B参照
	軽量コンクリート	QL99-50	3.0m以下	80mm以上	φ6-150×150	算出式注5A参照 算出式注5B参照
		QL99-75	3.4m以下	90mm以上	φ6-100×100	算出式注5A参照 算出式注5B参照



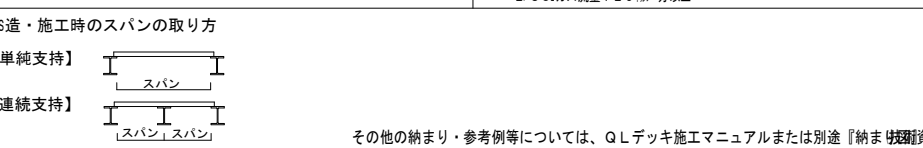
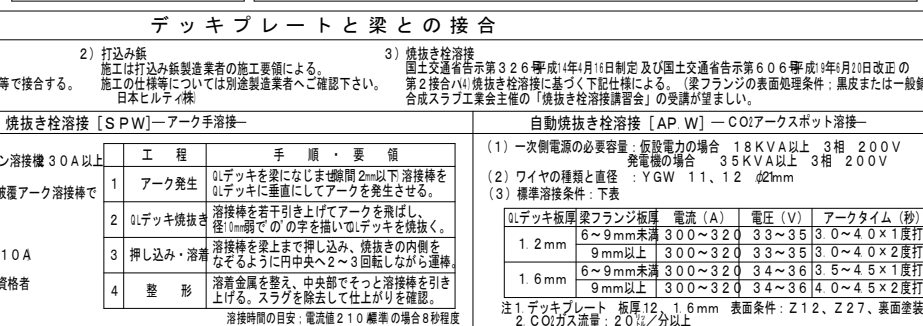
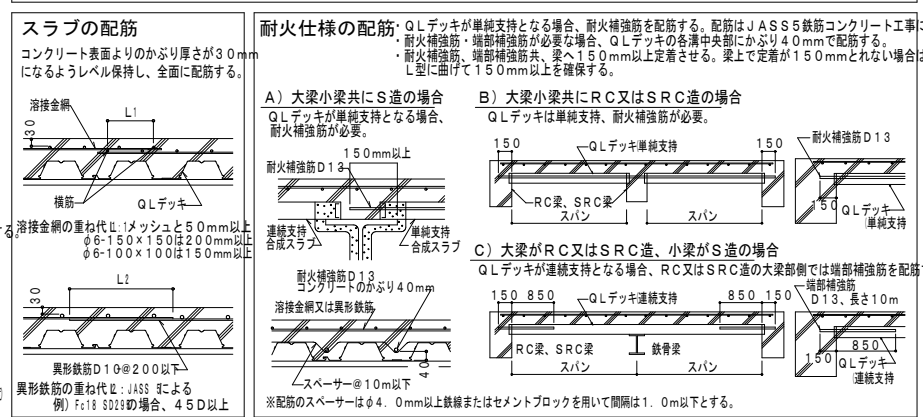
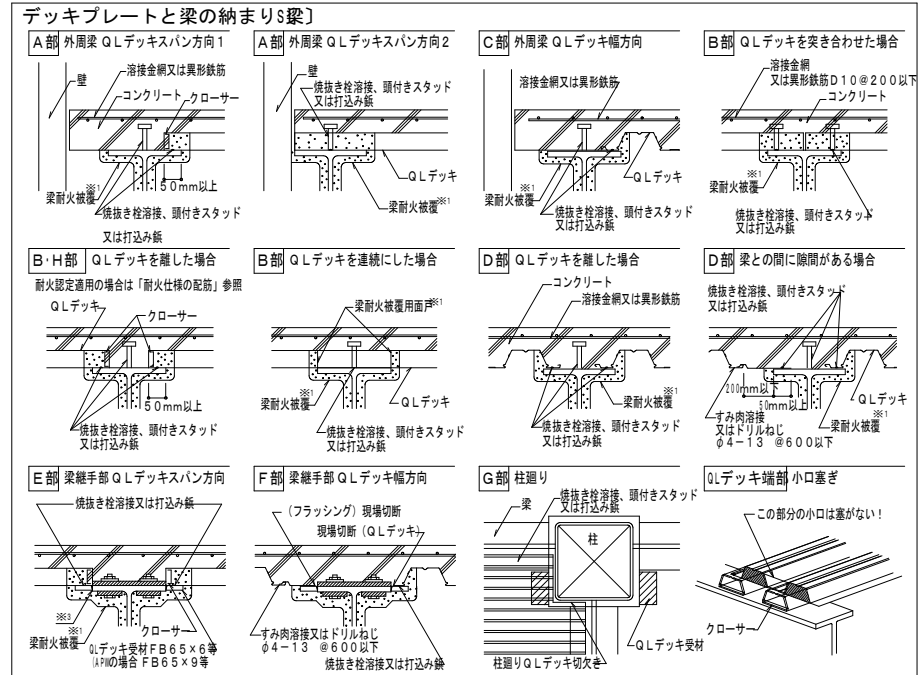
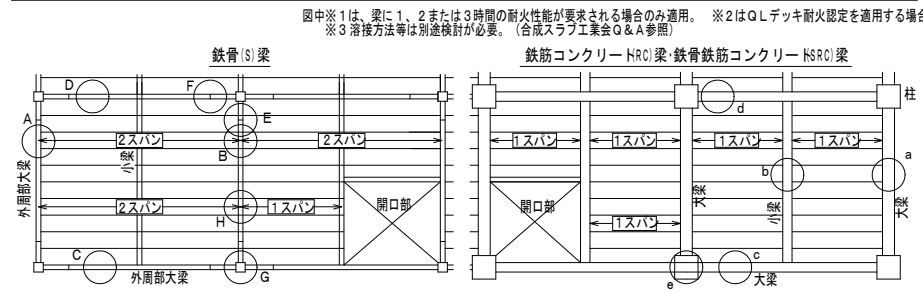
付帯条件  
連続支持合成スラブの場合、デッキプレートは2スパン以上わたって連続的に小振り等によって、ほぼ等間隔に2を超えない程度に支持されるものとする。



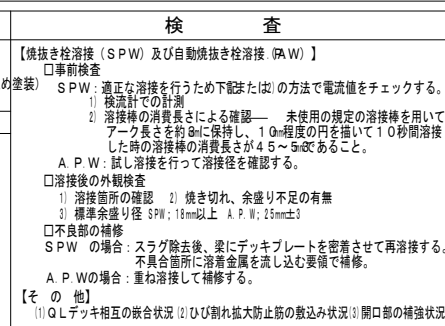
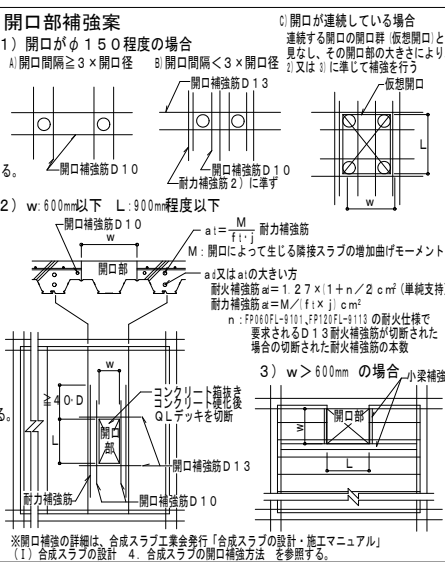
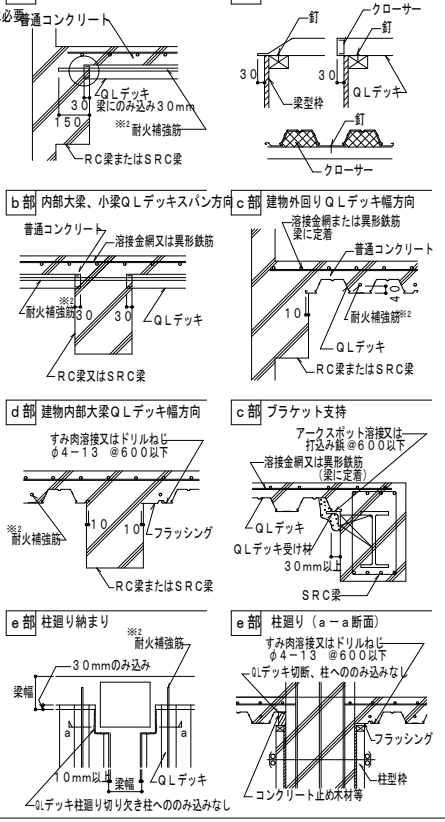
敷込み

コンクリート厚 (mm)	単位: m									
	60	70	80	90	100	110	120	130	140	150
単続 内法	3.13	3.61	3.24	3.55	3.18	3.48	3.13	3.42	3.07	3.37
2連続	4.02	3.09	3.64	2.43	3.14	3.49	3.13	3.42	3.07	3.37
3連続	3.78	4.05	3.73	3.99	3.68	3.93	3.63	3.88	3.58	3.83

### 標準納まり



### デッキプレートと梁の納まりRC・SRC梁



その他の納まり・参考例等については、QLデッキ施工マニュアルまたは別途『納まり技術資料』Aデータ収録を参照下さい。

代表: 株式会社エーシーエー設計  
一級建築士事務所登録  
(長野)第77312号

管理建築士 一級建築士登録  
第222107号 湯本桂司

設計者  
一級建築士登録 第222108号  
構造設計一級建築士登録 第1975号  
小林好樹

一級建築士登録 第204011号  
構造設計一級建築士登録 第4602号  
白鳥大一

検査者 湯本桂司

担当

岡谷市川岸学園整備第3期  
(幼保連携型認定こども園)園建設  
建築主体工事

発行日 2026.03.31  
図面名称

# スラリー系機械攪拌式ブロック状地盤改良工法 特記仕様書

## 1. 工法概要

本工法は、セメント系固化材液を用いて現地土を流動化処理することで、ブロック状の均質な地盤改良体を築造する工法である。

## 2. 一般事項

本工事に使用する工法は「エルマッドS工法」同等とする。(建設技術性能証明取得工法)  
本地業は、本特記仕様書によるほか下記を参考とする。

「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」：(財)日本建築センター  
「建築基礎構造設計指針」：日本建築学会

## 3. 特記事項

改良体の形状、寸法、及び配置は、設計図書による。ただし土質や地盤の状況により設計仕様を変更した方が適切と判断される場合は、監督員の承認を受けて変更することができる。

・設計基準強度  $F_c = 900 \text{ kN/m}^2$   
・変動係数  $V_d = 25 \%$

・固化材の種類  特殊土用固化材(六価クロム対応品)  
 高有機質土用固化材  
 高炉セメントB種

・粉砕混合方式 攪拌バケット  
・供試体の採取方法 頭部サンブラーにより採取  
・工事業者 専門業者による責任施工

## 4. 施工計画

工事に先だち下記事項を記載した施工要領書を監督員に提出し承諾を受ける。

- ① 工事目的
- ② 工事概要
- ③ 計画・設計の条件
- ④ 施工計画(施工機械・作業計画・材料計画・工程計画)
- ⑤ 施工管理計画
- ⑥ 品質管理計画
- ⑦ 安全管理計画
- ⑧ 技術資料
- ⑨ その他

## 5. 配合計画

室内試験用土砂採取の上、改良対象土について下記の試験を行い配合を決定する。

- ① 土質分析(単位体積重量・含水費・粒度組成)
- ② 試験練り(JGS 0821-2000に準拠)
- ③ 一軸圧縮試験(材令7日)
- ④ 六価クロム溶出試験
- ⑤ 試験結果を室内配合試験報告書にまとめて提出し、監督員の承認を得る。

〈推定配合量〉

W/C = % , 固化材(C) =  $\text{kg/m}^3$

## 6. 施工要領

基本的な施工手順を以下に示す。施工の障害になる事項が判明した場合は別途検討する。

- ① 施工位置の確認
- ② 改良範囲の確認
- ③ 支持地盤までの掘削
- ④ 改良幅・改良深さの計測
- ⑤ 計測初期値セット
- ⑥ 固化材液と土を攪拌混合
- ⑦ 電気比抵抗値の測定(混合土のモニタリング)
- ⑧ 改良天端レベルの調整

## 7. 施工管理項目

- ① 改良面積
- ② 掘削深さ
- ③ 支持層
- ④ 掘削精度
- ⑤ 改良体積
- ⑥ 混合ローターの積算羽根切回数(1000回/m<sup>3</sup>)、攪拌混合度
- ⑦ 固化材液の積算流量
- ⑧ 電気比抵抗値
- ⑨ 施工天端

支持層の確認

所定深度まで掘削時に支持層を確認する。

掘削時に所定深度でサンプリングを行い、土質柱状図、土質サンプルと照合して確認する。

支持層：シルト質砂礫、シルト混じり砂

電気比抵抗値測定

改良体の攪拌混合度を確認するために実施する。

バケット先端に取り付けた電気比抵抗センサーにより、改良体中の電気比抵抗値をリアルタイムで測定する。

測定結果は工事報告書に添付する。

## 8. 品質管理

改良体の強度確認

改良体より採取したモールドコア供試体による一軸圧縮試験を行う。

採取には頭部サンブラーを使用する。

モールドコア供試体は50φ×100Hとする。

採取頻度は検査対象150m<sup>3</sup>当りに1回とする。

検査手法Aによる品質検査とし、材令28日の平均強度が合格判定値を上回ることを確認する。

$$X_n \geq XL = F_c + k_a \cdot \sigma_d = F_c + k_a [F_c \cdot V_d / (1 - 1.3V_d)]$$

XL:合格判定値  $F_c$ :設計基準強度

$\sigma_d$ :標準偏差  $V_d$ :変動係数(25%)

$k_a$ :合格判定係数  $X_n$ :Nヶ所の一軸圧縮強度の平均値

抜取箇所数N	1	2	3	4~6	7~8	9~
合格判定係数 $k_a$	1.9	1.7	1.6	1.5	1.4	1.3

合格判定値を下回る場合は、その原因を調査して監督員と協議のうえ適切な処置を施す。

## 9. 報告書

工事完了後、以下の項目について報告書を作成し、監督員に提出する。

- ① 施工管理記録
- ② 工事写真
- ③ 品質検査結果
- ④ 材料出荷証明



代表：株式会社エーシーエー設計  
一級建築士事務所登録  
(長野)M第77312号

管理建築士 一級建築士登録  
第222107号 湯本桂司

設計者  
一級建築士登録 第222108号  
構造設計一級建築士登録 第1975号  
小林好樹  
一級建築士登録 第204011号  
構造設計一級建築士登録 第4602号  
白鳥太一

検査者 湯本桂司

担当

担当

Job No. 24078  
工事名

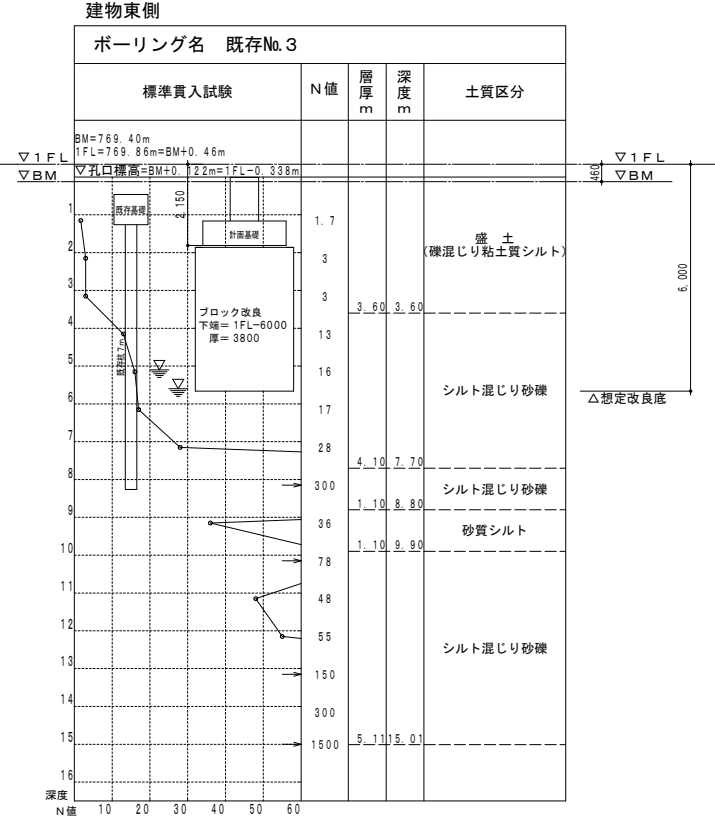
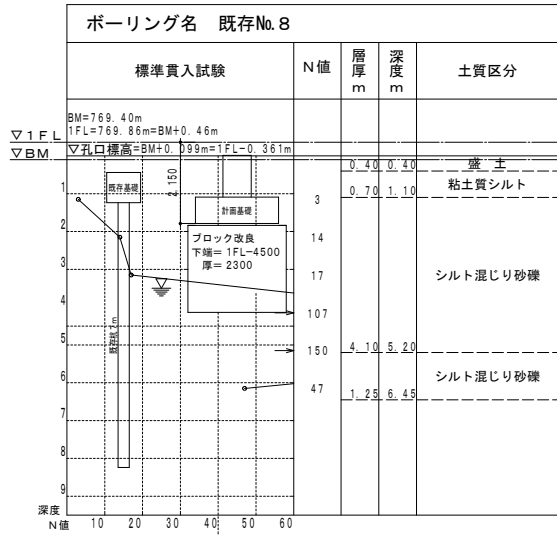
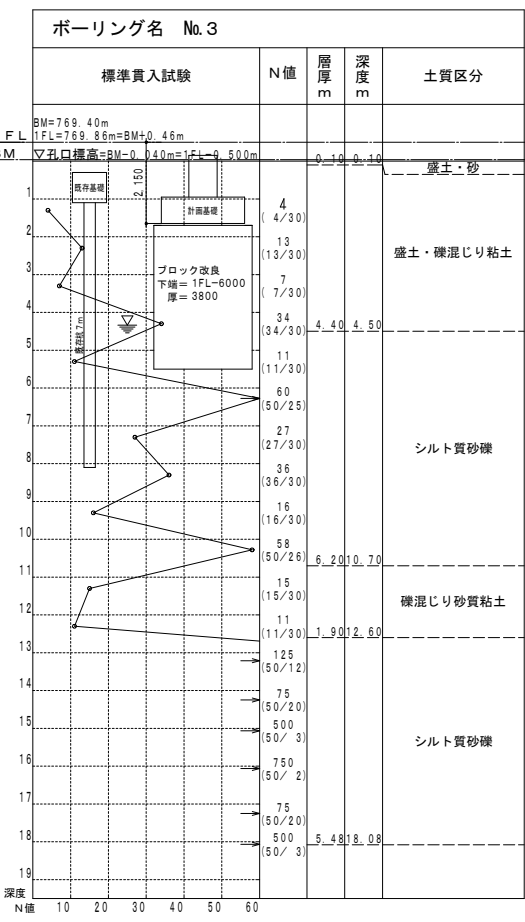
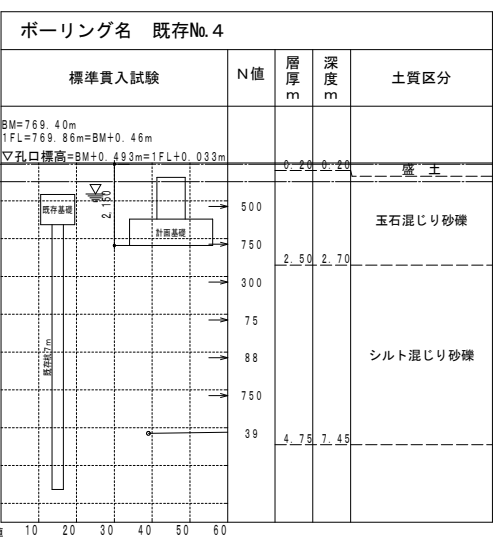
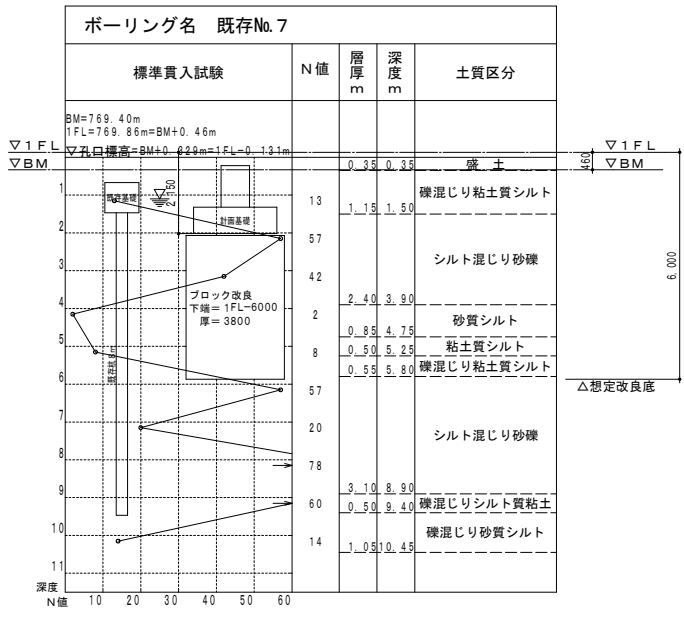
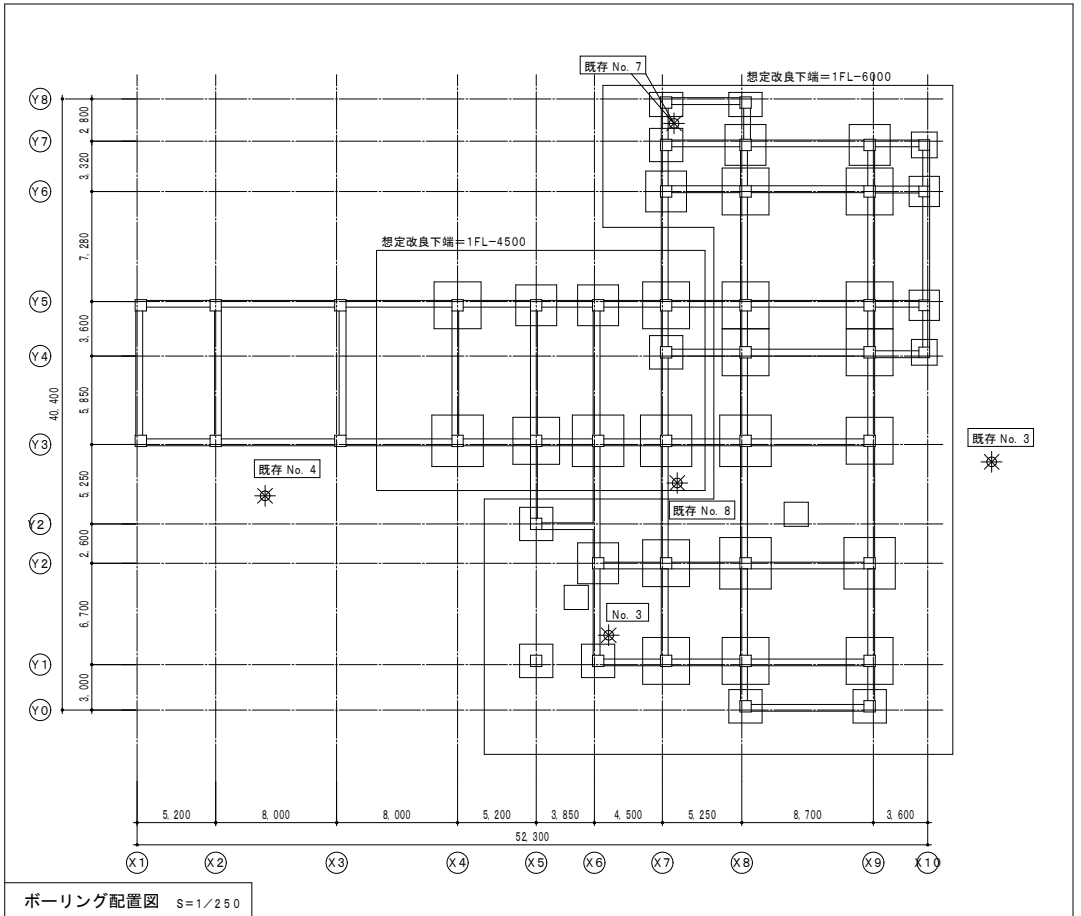
岡谷市川岸学園整備第3期  
(幼保連携型認定こども園建設)  
建築主体工事

発行日 2026.03.31  
図面名称

スラリー系機械攪拌式  
ブロック状地盤改良工法  
特記仕様書

縮尺

s-012 最終図  
2026.03.31



代表：株式会社エーシーエ設計  
一級建築士事務所登録  
(長野)M第77312号  
管理建築士 一級建築士登録  
第222107号 湯本桂司

設計者  
一級建築士登録 第222108号  
構造設計一級建築士登録 第1975号  
小林好樹  
一級建築士登録 第204011号  
構造設計一級建築士登録 第4602号  
白鳥太一

検査者 湯本桂司  
担当

Job No. 24078  
工事名  
岡谷市川岸学園整備第3期  
(幼保連携型認定こども園建設)  
建築主体工事

発行日 2026.03.31  
図面名称

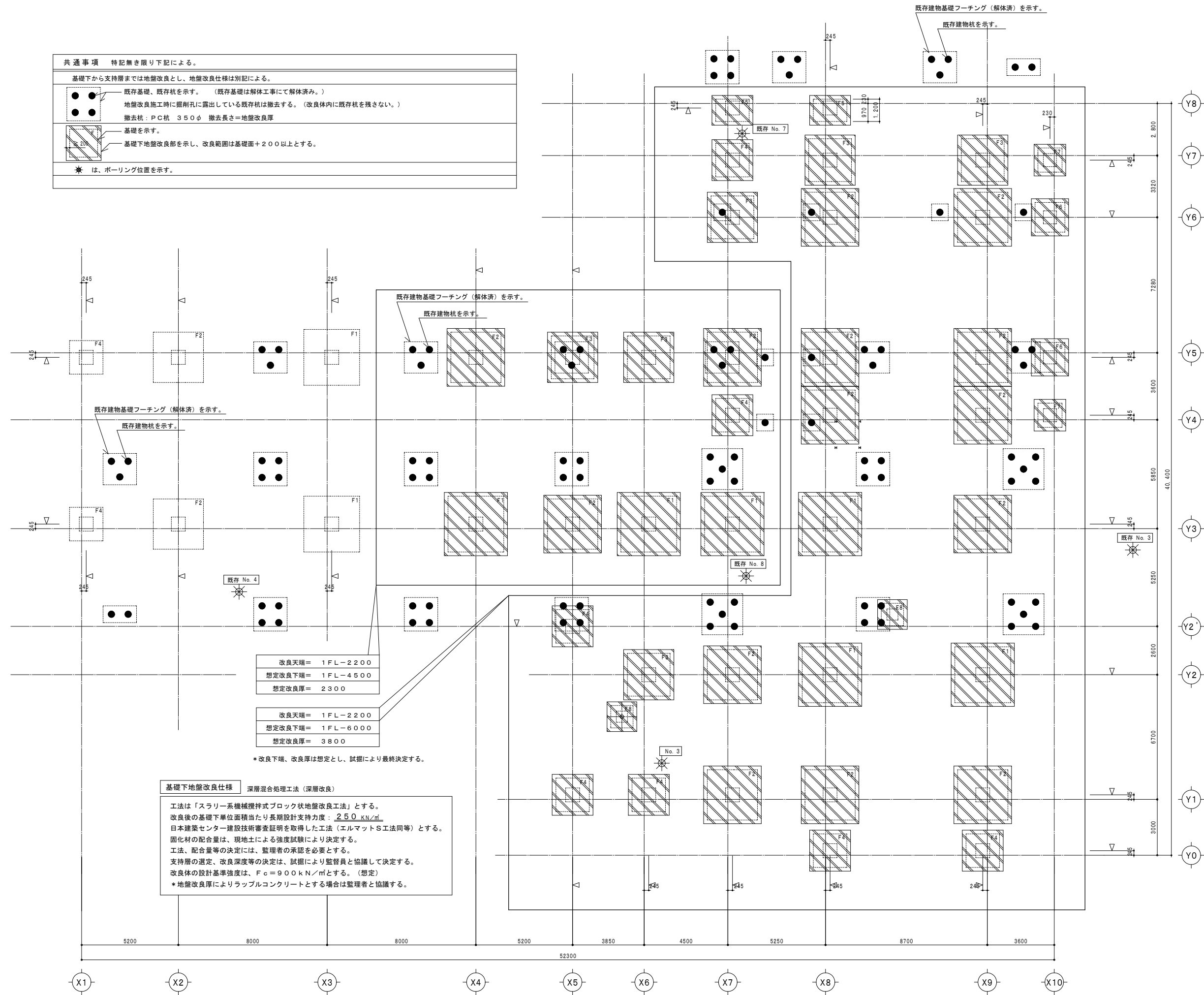
ボーリング柱状図

縮尺 A1:1/100, A3:1/200

s-013  
最終図  
2026.03.31

共通事項 特記無き限り下記による。	
基礎下から支持層までは地盤改良とし、地盤改良仕様は別記による。	
	既存基礎、既存杭を示す。(既存基礎は解体工事で解体済み。) 地盤改良施工時に掘削孔に露出している既存杭は撤去する。(改良体内に既存杭を残さない。) 撤去杭：PC杭 350φ 撤去長さ=地盤改良厚
	基礎を示す。 基礎下地盤改良部を示し、改良範囲は基礎面+200以上とする。
* は、ボーリング位置を示す。	

Y8  
Y7  
Y6  
Y5  
Y4  
Y3  
Y2  
Y2  
Y1  
Y0  
X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10



代表：株式会社エーシーエー設計  
一級建築士事務所登録  
(長野)M第7312号  
管理建築士 一級建築士登録  
第222107号 湯本桂司  
設計者  
一級建築士登録 第222108号  
構造設計一級建築士登録 第1975号  
小林好樹  
一級建築士登録 第204011号  
構造設計一級建築士登録 第4602号  
白鳥太一  
検査者 湯本桂司  
担当  
担当

Job No. 24078  
工事名  
岡谷市川岸学園整備第3期  
(幼保連携型認定こども園建設)  
建築主体工事  
発行日 2026.03.31  
図面名称  
地盤改良伏図

共通事項 特記無き限り下記による。

特記無き基礎下端は1FL-2150とする。

基礎下が支持地盤とならない場合は基礎下は地盤改良とする。地盤改良が不要の場合は基礎下は砕石地盤t100とする。

基礎設計用長期許容支持力は 250kN/m<sup>2</sup>とする。(地盤改良後)

▽ は基礎芯を示し、特記無き基礎芯は通り芯とする。

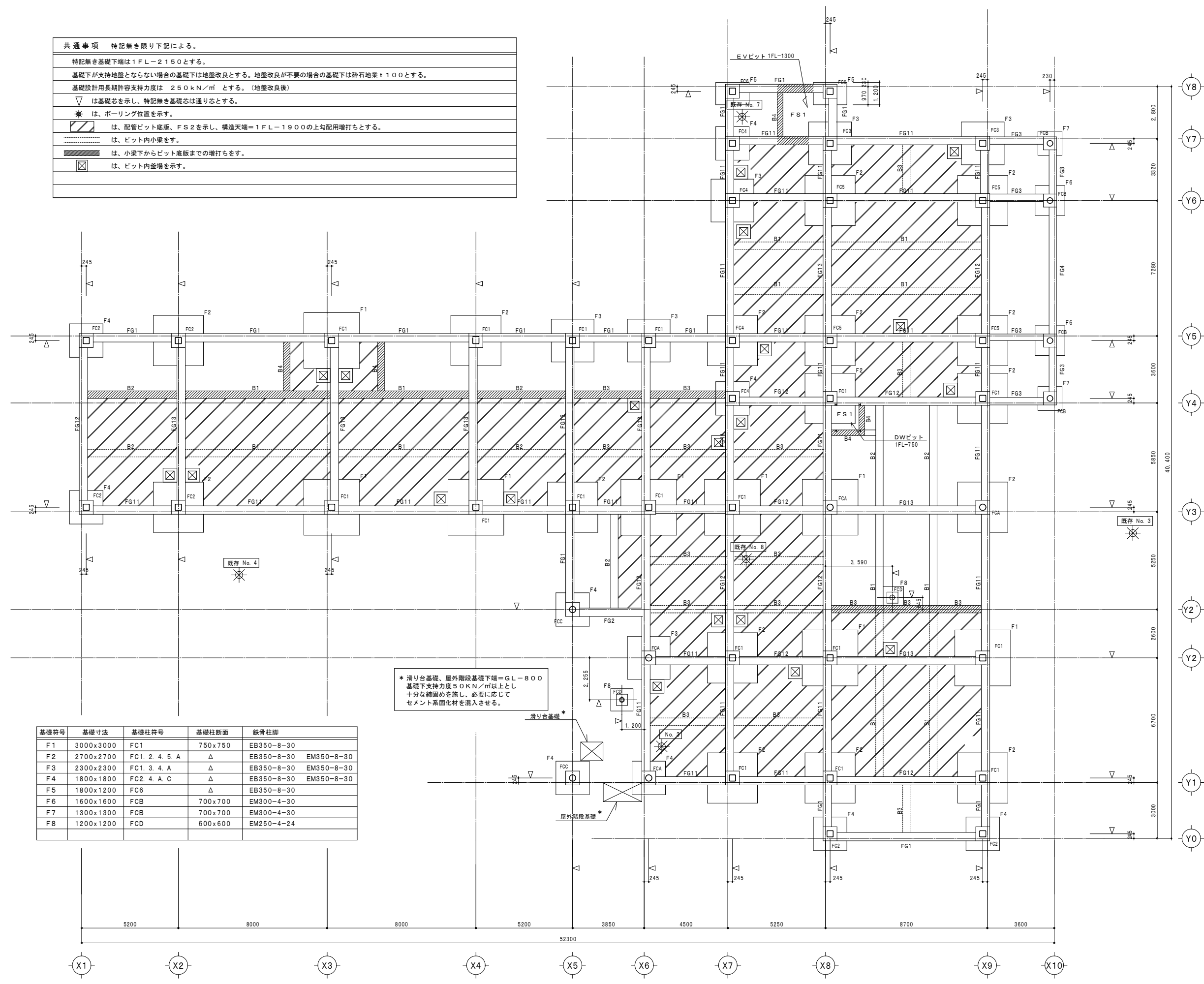
※ は、ボーリング位置を示す。

▨ は、配管ビット底版、FS2を示し、構造天端=1FL-1900の上勾配用増打ちとする。

⋯ は、ビット内小梁を示す。

■ は、小梁下からビット底版までの増打ちを示す。

⊠ は、ビット内蓋場を示す。



基礎符号	基礎寸法	基礎柱符号	基礎柱断面	鉄骨柱脚
F1	3000x3000	FC1	750x750	EB350-8-30
F2	2700x2700	FC1. 2. 4. 5. A	△	EB350-8-30 EM350-8-30
F3	2300x2300	FC1. 3. 4. A	△	EB350-8-30 EM350-8-30
F4	1800x1800	FC2. 4. A. C	△	EB350-8-30 EM350-8-30
F5	1800x1200	FC6	△	EB350-8-30
F6	1600x1600	FCB	700x700	EM300-4-30
F7	1300x1300	FCB	700x700	EM300-4-30
F8	1200x1200	FCD	600x600	EM250-4-24

\* 滑り台基礎、屋外階段基礎下端=GL-800  
基礎下支持力度50kN/m<sup>2</sup>以上とし  
十分な締固めを施し、必要に応じて  
セメント系固化材を混入させる。

代表：株式会社エーシーエー設計  
一級建築士事務所登録  
(長野)M第77312号

管理建築士 一級建築士登録  
第222107号 湯本桂司

設計者  
一級建築士登録 第222108号  
構造設計一級建築士登録 第1975号  
小林好樹

一級建築士登録 第204011号  
構造設計一級建築士登録 第4602号  
白鳥大一

検査者 湯本桂司

担当

Job No. 24078  
工事名

岡谷市川岸学園整備第3期  
(幼保連携型認定こども園建設)  
建築主体工事

発行日 2026.03.31  
図面名称

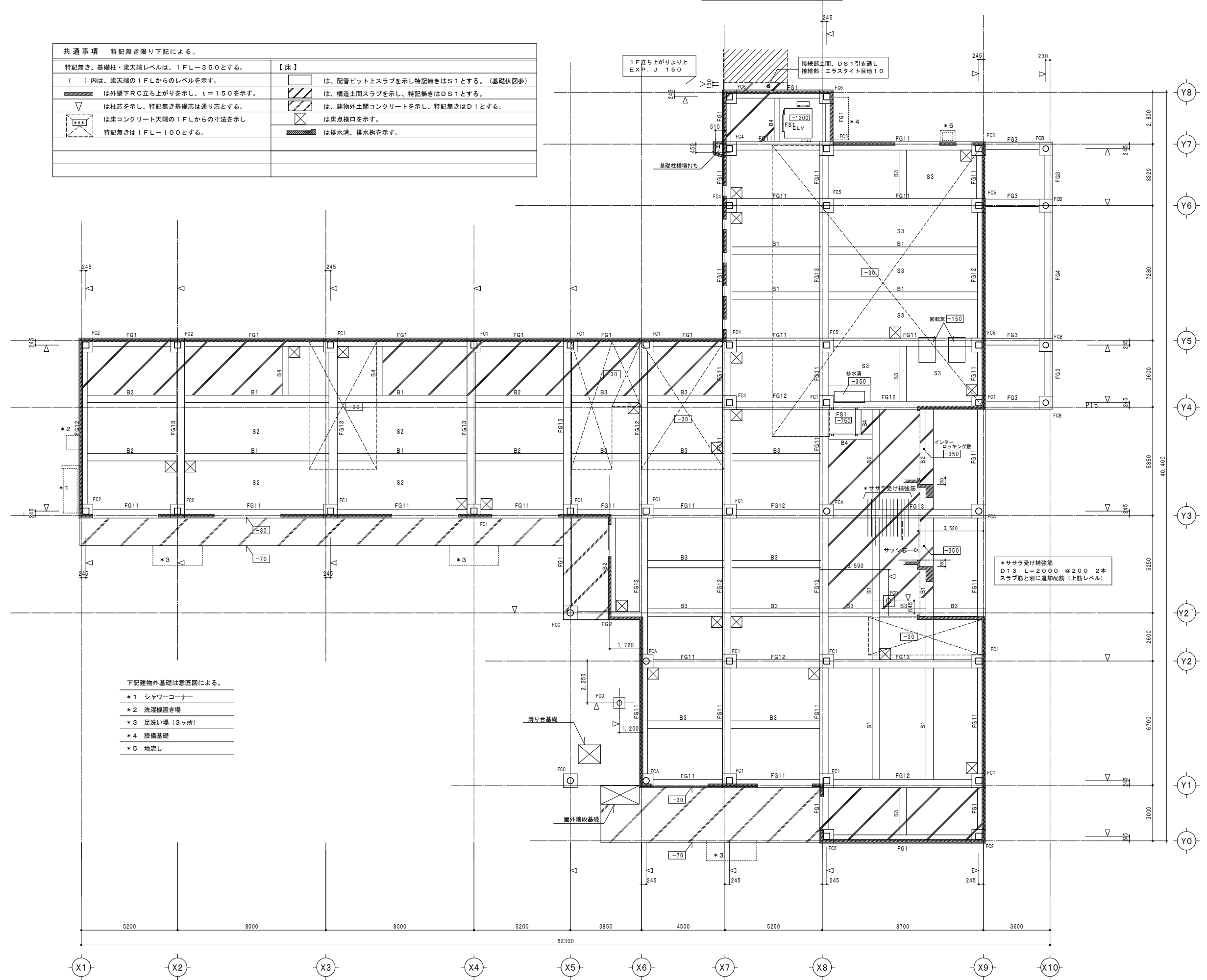
基礎伏図

縮尺 A1: 1/100, A3: 1/200

s-015  
最終図  
2026.03.31

共通事項 特記無き限り下記による。	
特記無き、基礎柱・梁天端レベルは、1FL-350とする。	【床】
( )内は、梁天端の1FLからのレベルを示す。	は、配管ピット上スラブを示し特記無きはS1とする。(基礎伏図参照)
は外壁下RC立ち上がりを示し、t=150を示す。	は、構造土間スラブを示し、特記無きはDS1とする。
は柱芯を示し、特記無き基礎芯は通り芯とする。	は、建物外土間コンクリートを示し、特記無きはD1とする。
は床コンクリート天端の1FLからの寸法を示し、特記無きは1FL-100とする。	は床点検口を示す。
	は排水溝、排水枘を示す。

Y8  
Y7  
Y6  
Y5  
Y4  
Y3  
Y2  
Y2  
Y1  
Y0



- 下記建物外基礎は意匠図による。
- \*1 シャワーコーナー
  - \*2 洗濯機置き場
  - \*3 足洗い場 (3ヶ所)
  - \*4 設備基礎
  - \*5 地流し

代表：株式会社エーシーエー設計  
一級建築士事務所登録  
(長野)M第7312号

管理建築士 一級建築士登録  
第222107号 湯本桂司

設計者  
一級建築士登録 第222108号  
構造設計一級建築士登録 第1975号  
小林好樹  
一級建築士登録 第204011号  
構造設計一級建築士登録 第4602号  
白鳥太一

検査者 湯本桂司

担当  
担当

Job No. 24078  
工事名

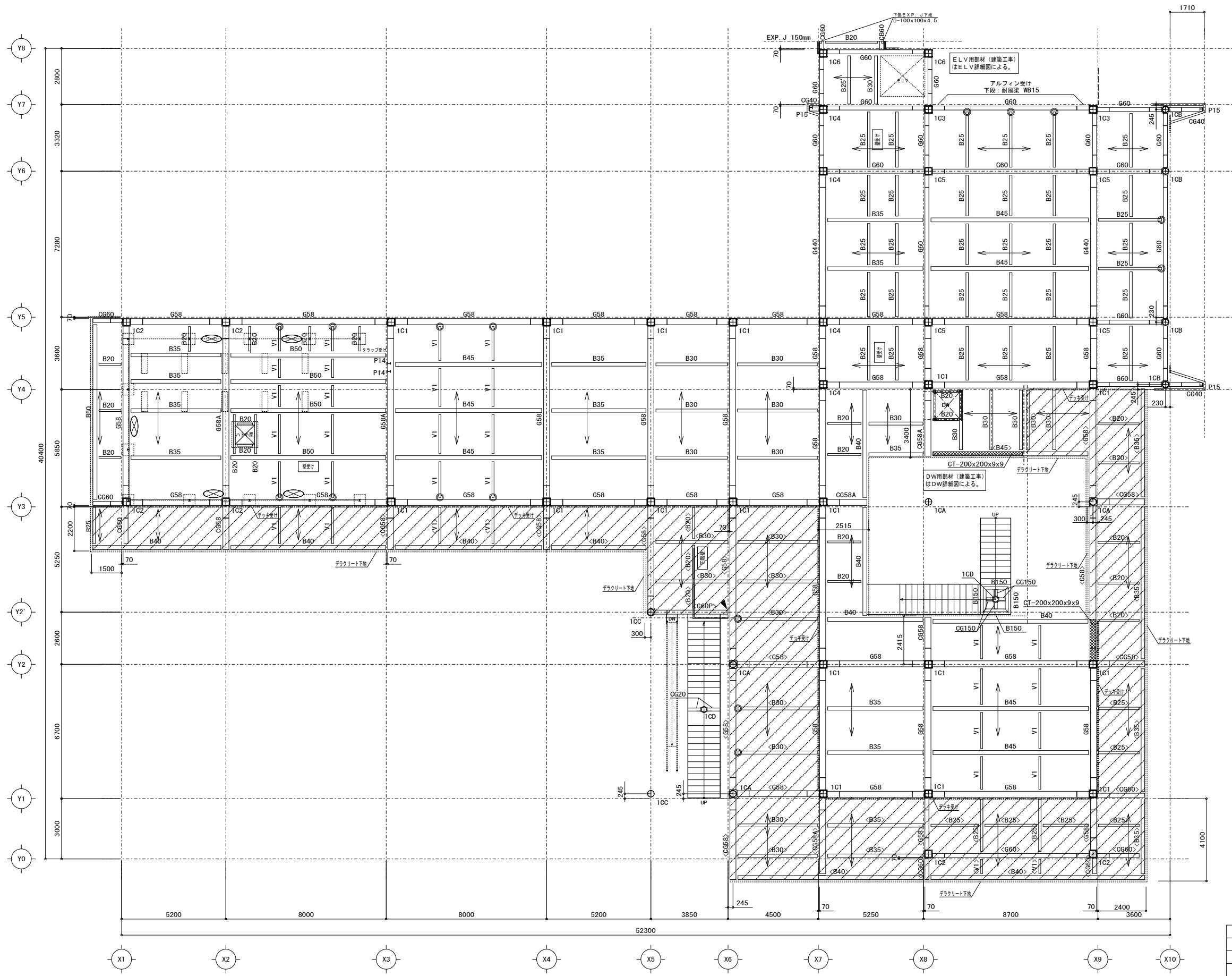
岡谷市川岸学園整備第3期  
(幼保連携型認定こども園建設)  
建築主体工事

発行日 2026.03.31  
図面名称

1階伏図

縮尺 A1: 1/100, A3: 1/200

s-016  
最終図  
2026.03.31



符号	部材	材質
IC1	□-350x350x16	BCR295
IC2	□-350x350x16	BCR295
IC3	□-350x350x16	BCR295
IC4	□-350x350x16	BCR295
IC5	□-350x350x16	BCR295
IC6	□-350x350x12	BCR295
ICA	□-355.6x16	STK490
ICB	□-318.5x12.7	STK490
ICC	□-355.6x16	STK490
ICD	□-267.4x9	STK400
P15	H-150x150x7x10	SS400
P14	H-148x100x6x9	SS400

符号	部材	材質
G58	H-588x300x12x20	SN400B
G58A	H-588x300x12x20	SN490B
G60	H-600x200x11x17	SN400B
G60P	H-600x200x11x17	SN400B
G640	H-400x200x8x13	SN400B
G658	H-588x300x12x20	SN400B
G658A	H-588x300x12x20	SN490B
G660	H-600x200x11x17	SN400B
CB60	H-600x200x11x17	SN400B
CG20	H-200x100x5.5x8	SS400
CG150	H-150x150x7x10	SS400

符号	部材	材質
B20	H-200x100x5.5x8	SS400
B25	H-250x125x6x9	SS400
B30	H-300x150x6.5x9	SS400
B35	H-350x175x7x11	SS400
B40	H-400x200x8x13	SS400
B45	H-450x200x9x14	SS400
B50	H-500x200x10x16	SS400
VI	[-150x75x6.5x10	SS400
WB15	H-150x150x7x10	SS400
B150	H-150x150x7x10	SS400

代表：株式会社エーシーエー設計  
一級建築士事務所登録  
(長野)M第77312号

管理建築士 一級建築士登録  
第222107号 湯本桂司

設計者  
一級建築士登録 第222108号  
構造設計一級建築士登録 第1975号  
小林好樹  
一級建築士登録 第204011号  
構造設計一級建築士登録 第4602号  
白鳥太一

検査者 湯本桂司

担当

Job No. 24078

岡谷市川岸学園整備 第3期  
(幼保連携型認定こども園建設)  
建築主体工事

発行日 2026.03.31  
図面名称

2階伏図

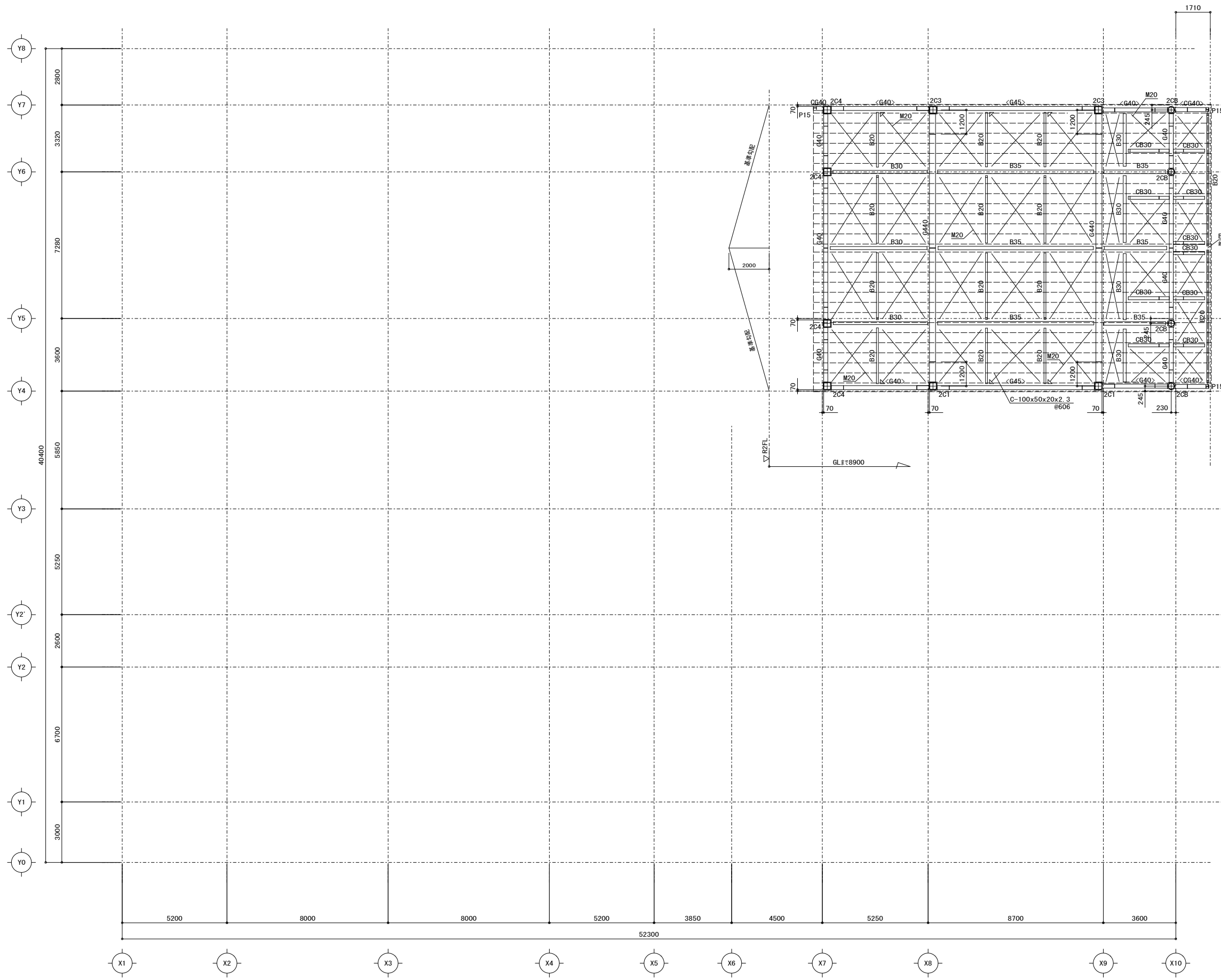
縮尺 A1:1/100, A3:1/200

S-017  
最終図  
2026.03.31

特記なき梁継手位置は柱芯より800とする。
特記なき梁の梁天端は2FL-300とする。
<>付き梁符号の梁天端は2FL-500とする。
■ 施図のデッキコンクリート下層は2FL-500とする。
→ はQLデッキの溝方向を示す。
▲ はG符号のピン接合端を示す。
○ は一般と異なる接合箇所を示す。
■ は梁嵩上げ材の範囲を示す。
○ は軸ブレースM20(T・B付き)を示す。

2階床梁伏図 S=1/100





RSL 柱部材リスト

符号	部材	材質
ZC1	□-350x350x16	BCR295
ZC3	□-350x350x16	BCR295
ZC4	□-350x350x12	BCR295
ZCB	○-318.5x12.7	STK490
P15	H-150x150x7x10	SS400

R' SL 大梁部材リスト

符号	部材	材質
G40	H-400x200x8x13	SN400B
G45	H-450x200x9x14	SN400B
G440	H-440x300x11x18	SN400B
G640	H-400x200x8x13	SN400B
CB30	H-300x150x6.5x9	SN400B

R' SL 小梁部材リスト

符号	部材	材質
B20	H-200x100x5.5x8	SS400
B30	H-300x150x6.5x9	SS400
B35	H-350x175x7x11	SS400

屋根梁伏図 2 S=1/100

特記なき梁継手位置は柱より800とする。  
 特記なき梁天端は基準勾配とする。  
 < > 付き梁符号の梁天端はR2FL (水下) -150とする。  
 — は屋根ブレースM20 (TB付き) を示す。  
 - - - は母屋 (C-100x50x20x2.3) を示す。  
 ▮ は梁下方杖 (L-65x65x6) を示す。

代表：株式会社エーシーエ設計  
 一級建築士事務所登録  
 (長野)M第77312号

管理建築士 一級建築士登録  
 第222107号 湯本桂司

設計者  
 一級建築士登録 第222108号  
 構造設計一級建築士登録 第1975号  
 小林好樹  
 一級建築士登録 第204011号  
 構造設計一級建築士登録 第4602号  
 白鳥太一

検査者 湯本桂司

担当  
 担当

Job No. 24078  
 工事名

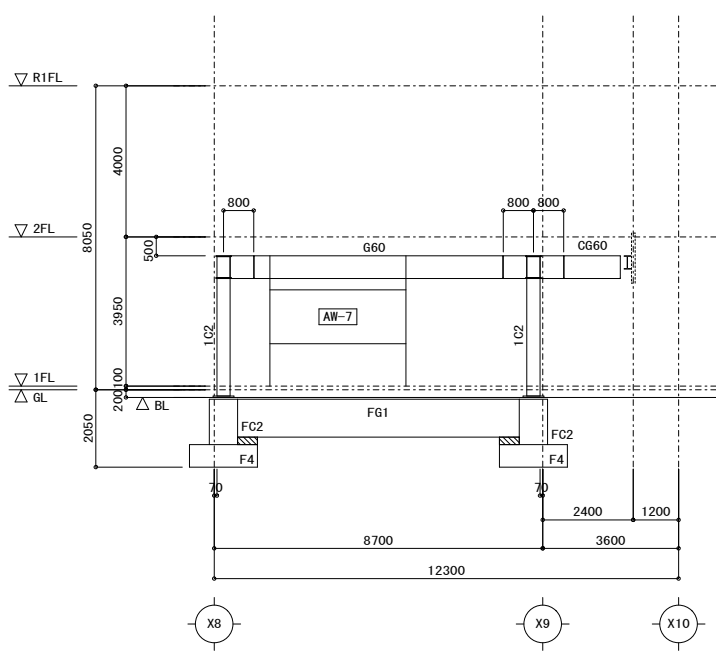
岡谷市川岸学園整備 第3期  
 (幼保連携型認定こども園建設)  
 建築主体工事

発行日 2026.03.31  
 図面名称

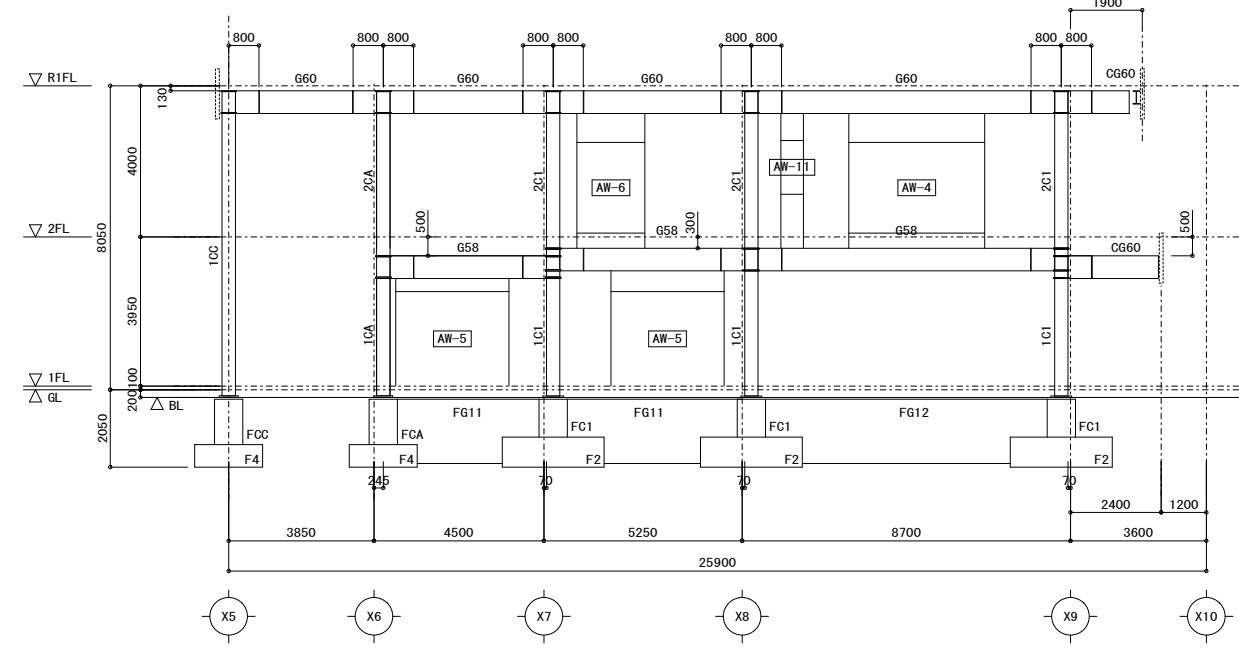
R2階伏図

縮尺 A1:1/100, A3:1/200

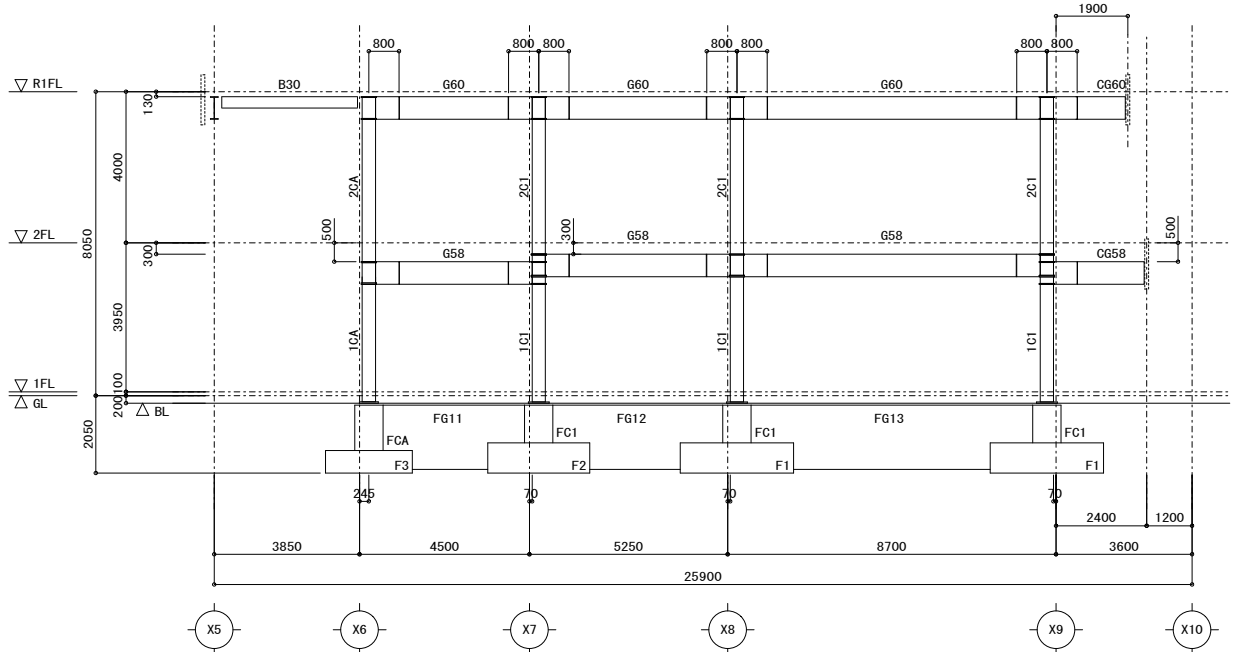
S-019  
 最終図  
 2026.03.31



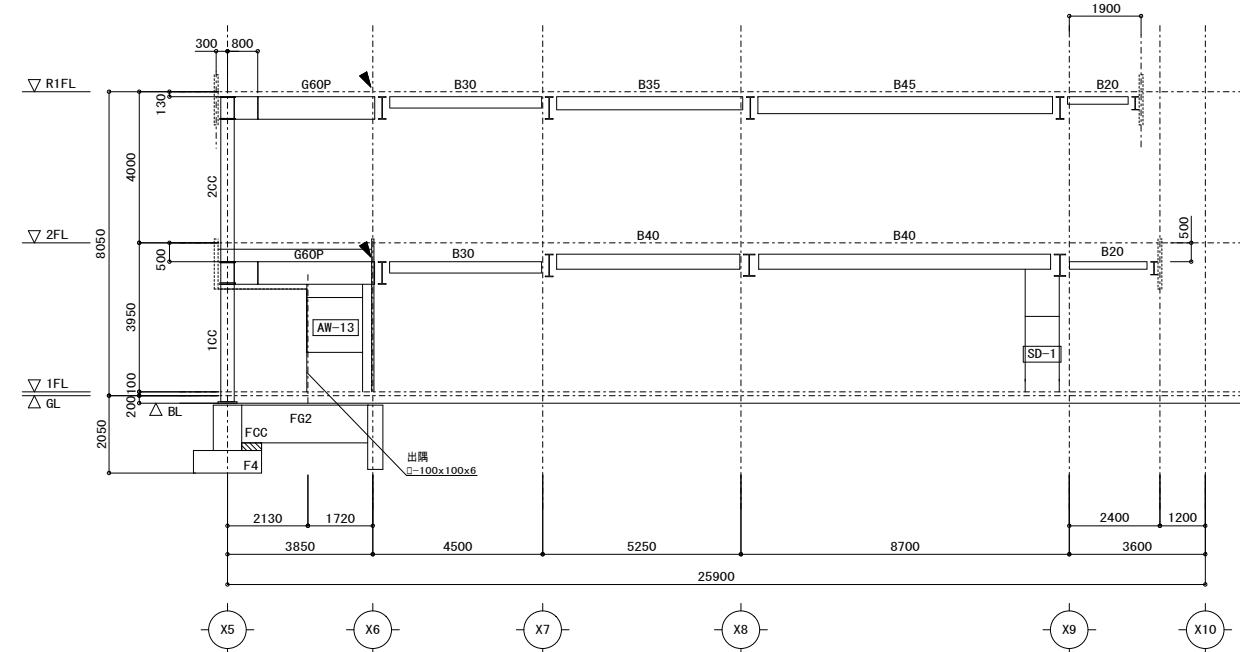
Y0 通り 軸組図 S=1/100



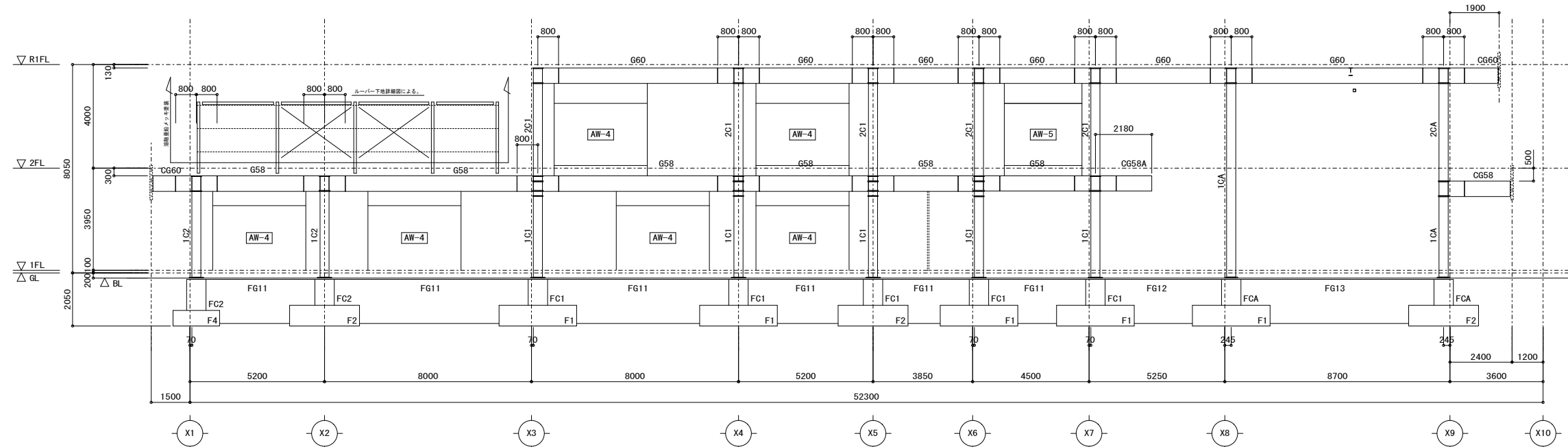
Y1 通り 軸組図 S=1/100



Y2 通り 軸組図 S=1/100



Y2' 通り 軸組図 S=1/100



Y3 通り 軸組図 S=1/100

押出成形セメント板開口補強については  
施工図作成時に検討書を添付し  
監督員の承認を得るものとする。

AW-4	1F	縦材	□-100x100x4.5
		横材	□-150x150x6
AW-4	2F	縦材	□-100x100x4.5
		横材	□-150x150x6
AW-5	1F	縦材	□-100x100x4.5
		横材	□-125x125x6
AW-6	2F	縦材	L-75x75x9
		横材	L-90x90x7
AW-7	1F	縦材	□-100x100x4.5
		横材	□-125x125x4.5
AW-11	2F	縦材	L-65x65x6
		横材	L-65x65x6
AW-13	1F	縦材	L-90x90x7
		横材	L-75x75x9
SD-1	1F	縦材	□-100x100x6
		横材	□-100x100x6

- 特記なき限り下記による。(軸組図共通)
- 特記なきベースプレート下地はGL-200(1FL-300)とする。
- 特記なき梁継手位置は柱芯より800とする。
- ▲はG符号のピン接合を示す。
- .....は鋼線C-100x50x20x2.3 @606程度を示す。
- 外壁(押出成形セメント板 t=60)の開口補強は現場打合せによる。
- 斜線はドロップハンチを示す。

代表：株式会社エーシーエー設計  
一級建築士事務所登録  
(長野)M第77312号

管理建築士 一級建築士登録  
第222107号 湯本桂司

設計者  
一級建築士登録 第222108号  
構造設計一級建築士登録 第1975号  
小林好樹  
一級建築士登録 第204011号  
構造設計一級建築士登録 第4602号  
白鳥太一

検査者 湯本桂司

担当

担当

Job No. 24078  
工事名

岡谷市川岸学園整備 第3期  
(幼保連携型認定こども園建設)  
建築主体工事

発行日 2026.03.31  
図面名称

軸組図 1  
Y1~Y3

縮尺 A1:1/100, A3:1/200

S-020  
最終図  
2026.03.31

代表：株式会社エーシーエ設計  
一級建築士事務所登録  
(長野)M 77312 号

管理建築士 一級建築士登録  
第222107号 湯本桂司

設計者  
一級建築士登録 第222108号  
構造設計一級建築士登録 第1975号  
小林好樹

一級建築士登録 第204011号  
構造設計一級建築士登録 第4602号  
白鳥太一

検査者 湯本桂司

担当

担当

Job No. 24078

工事名

岡谷市川岸学園整備 第3期  
(幼保連携型認定こども園建設)  
建築主体工事

発行日 2026.03.31

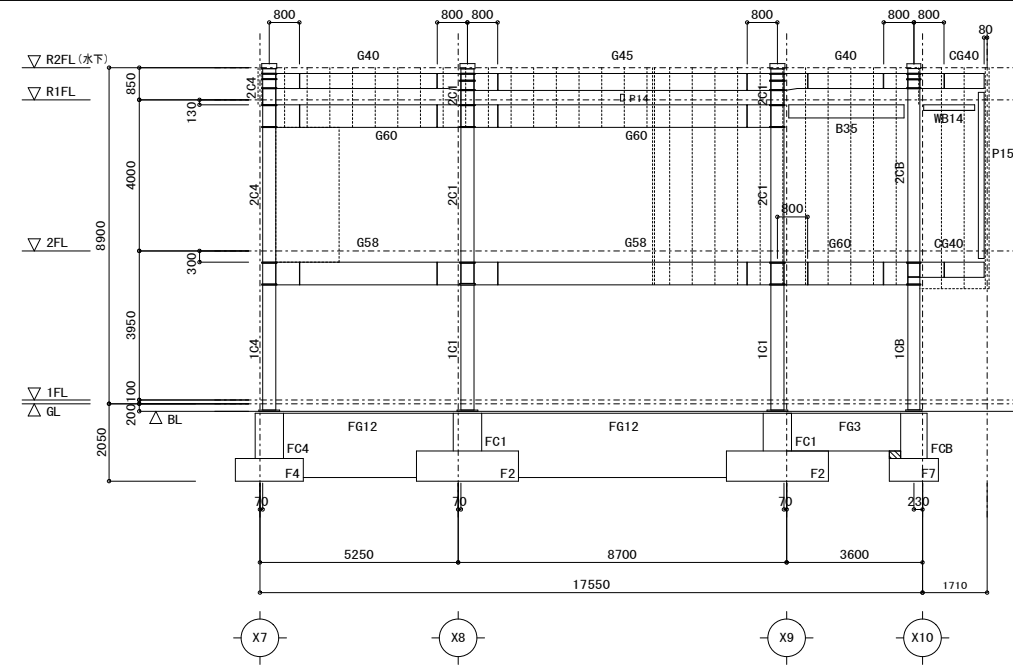
図面名称

軸組図 2  
Y4~Y8

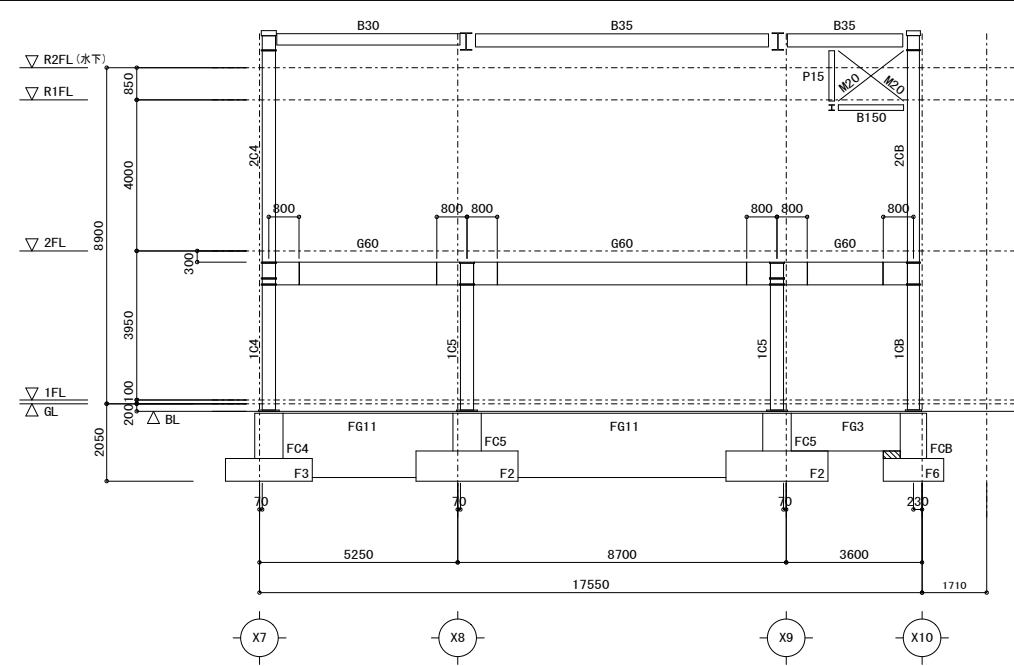
縮尺 A1:1/100, A3:1/200

S-021

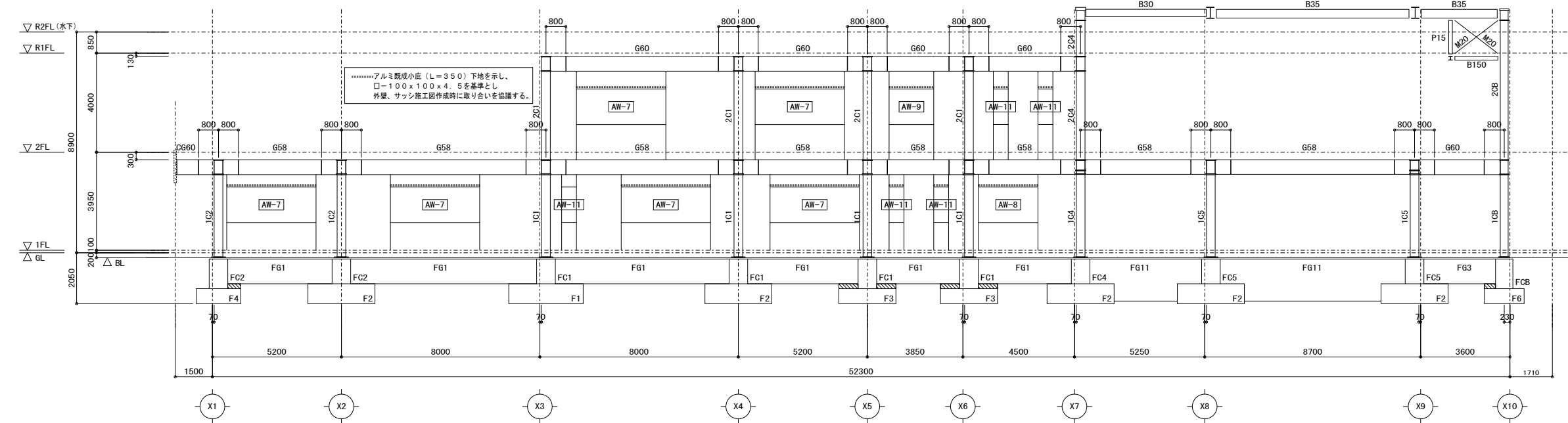
最終図  
2026.03.31



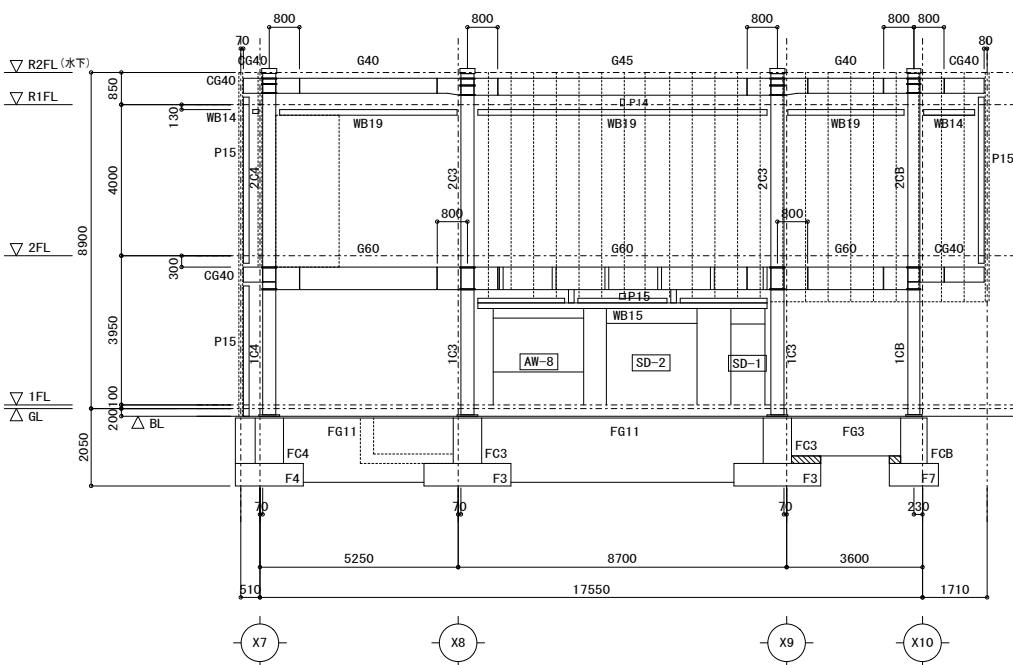
Y4 通り 軸組図 S=1/100



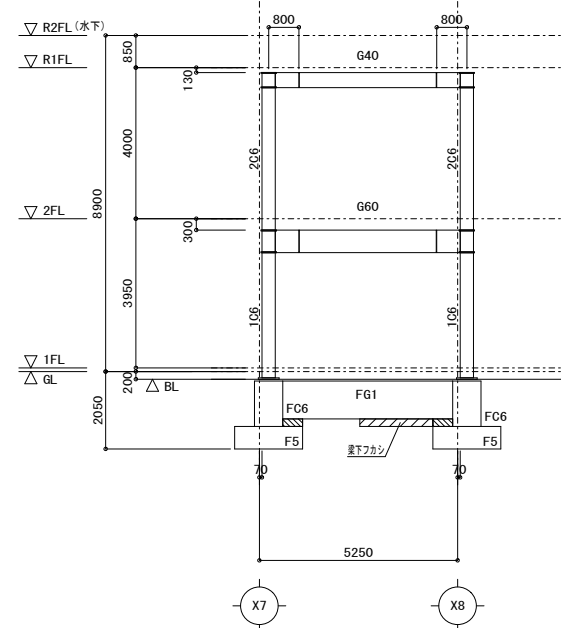
Y6 通り 軸組図 S=1/100



Y5 通り 軸組図 S=1/100



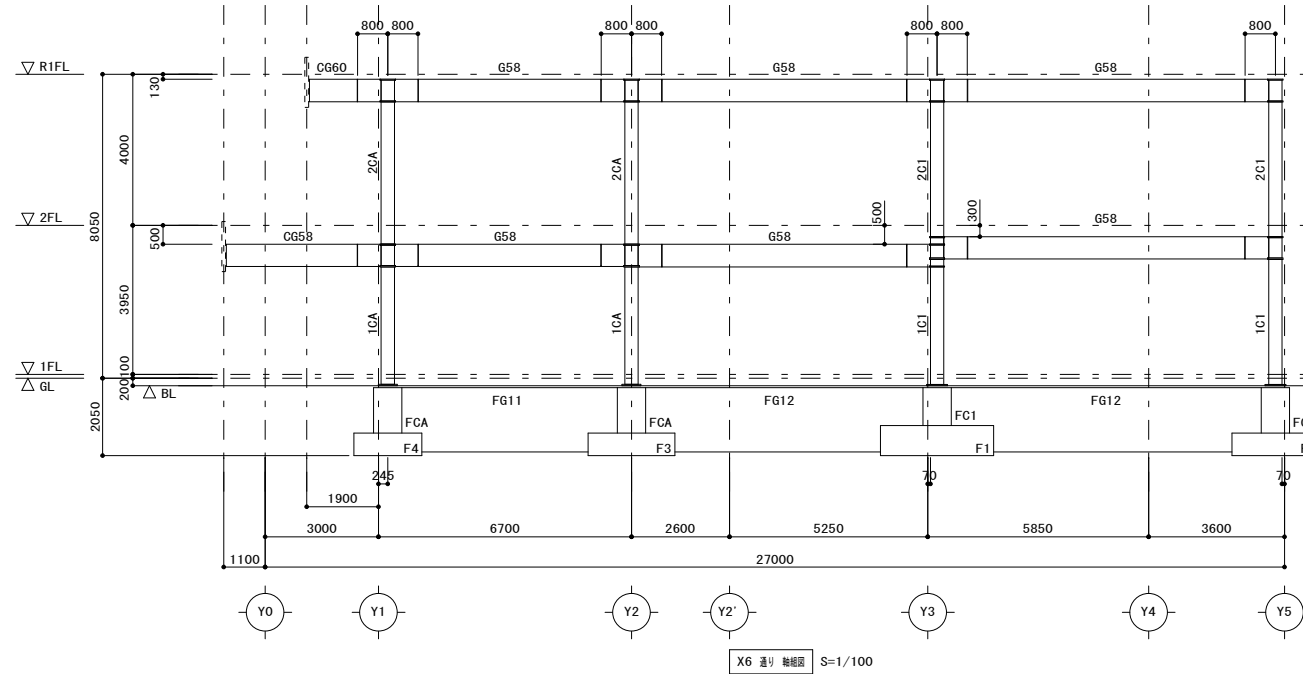
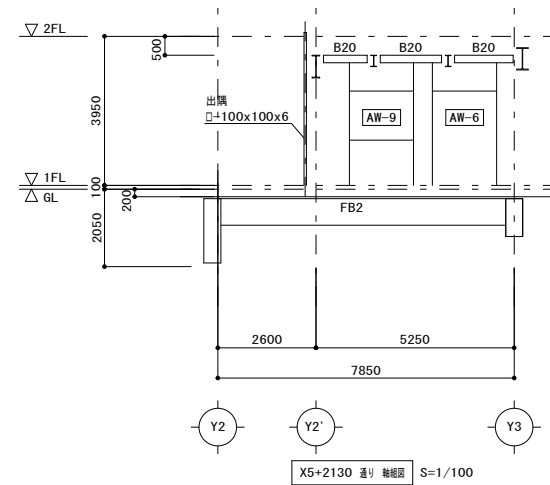
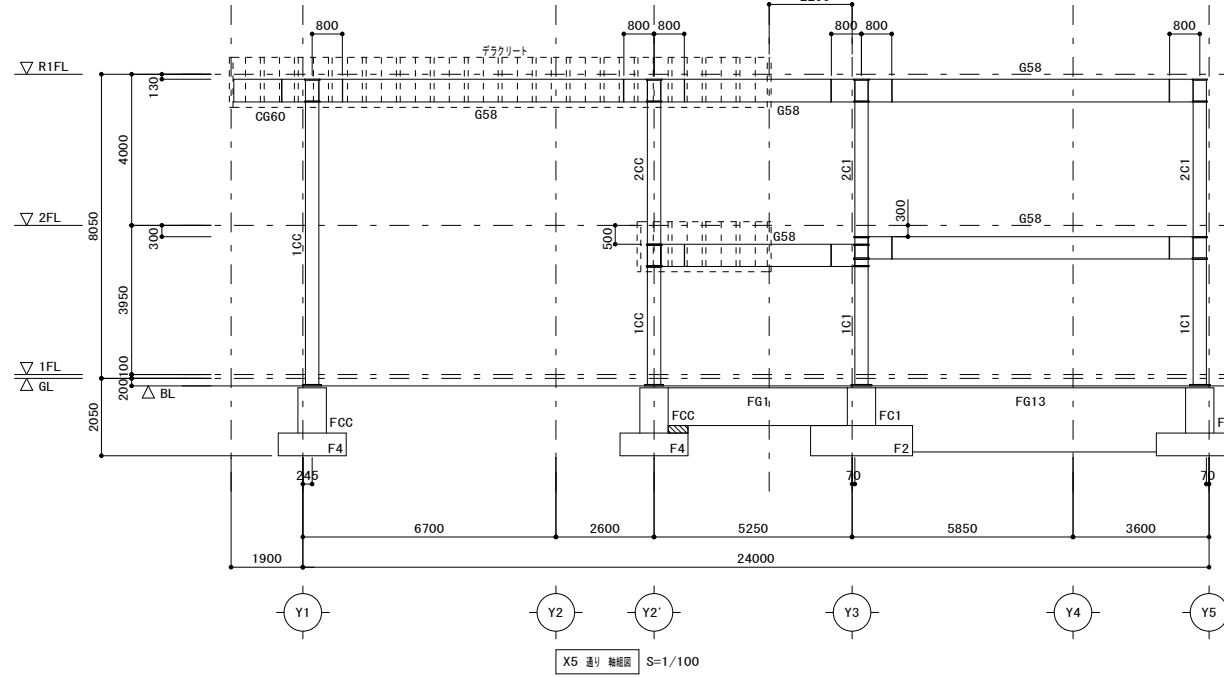
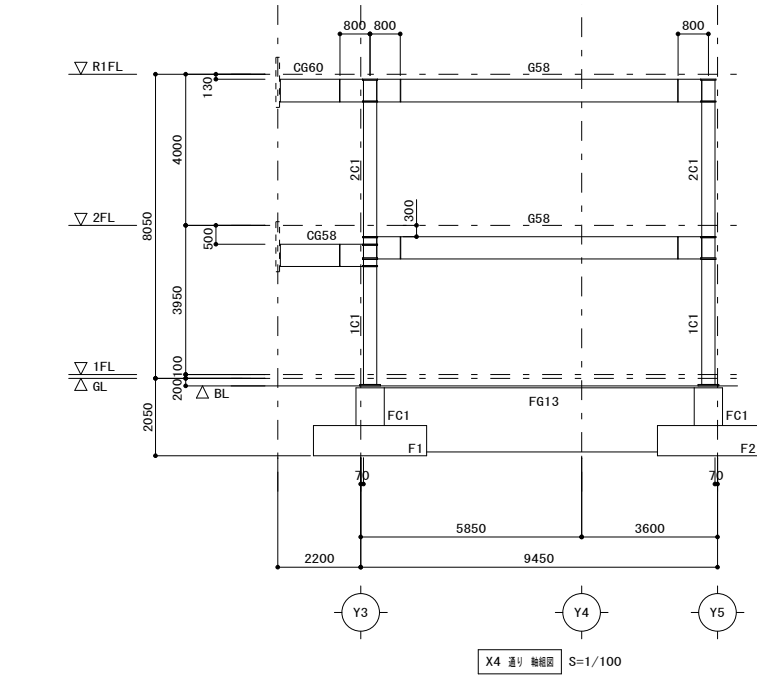
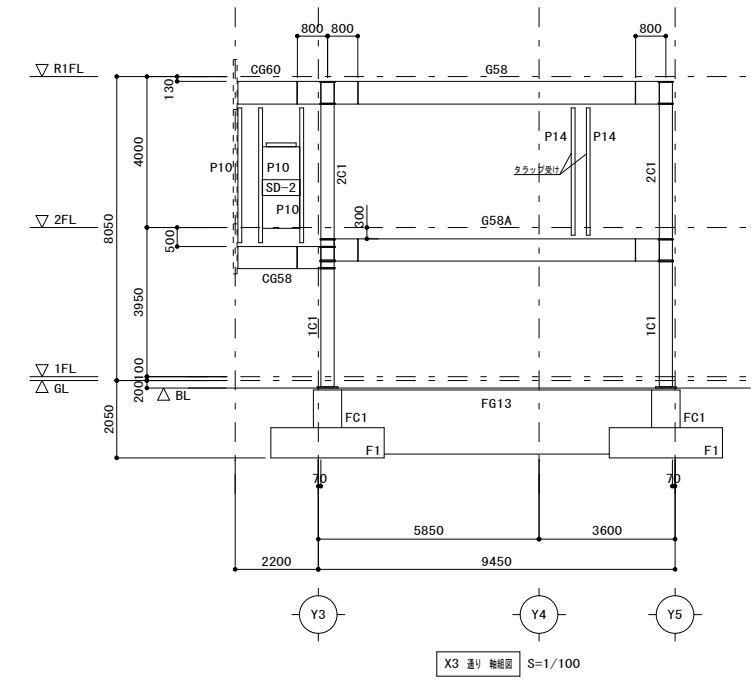
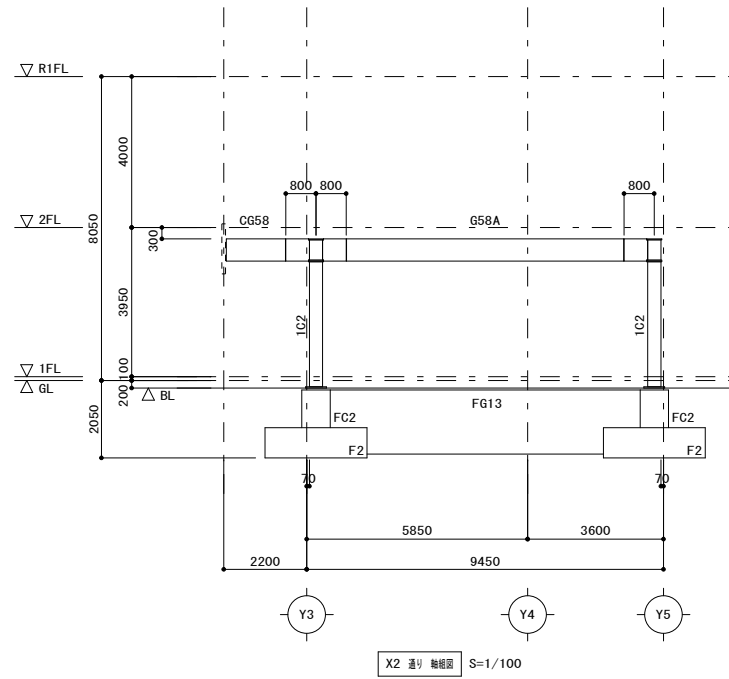
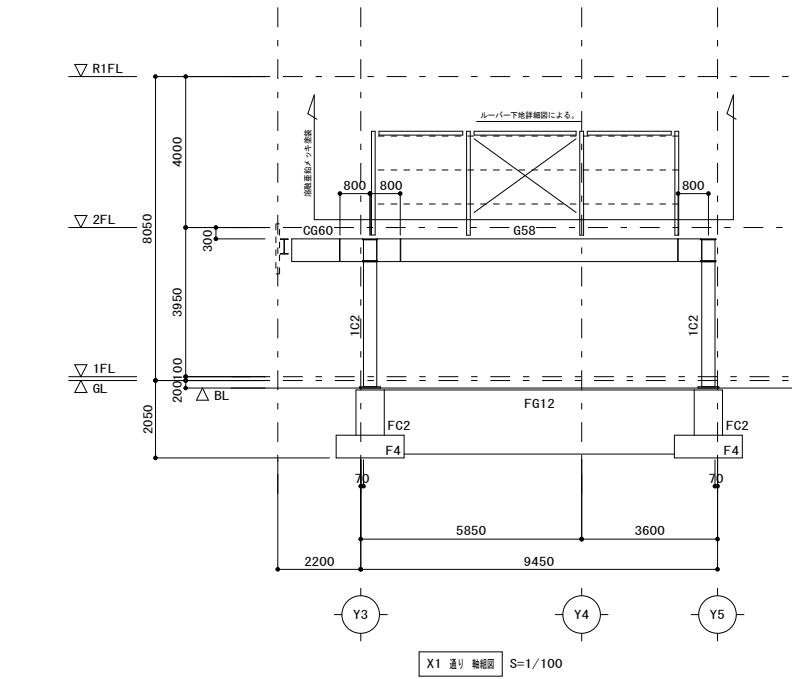
Y7 通り 軸組図 S=1/100



Y8 通り 軸組図 S=1/100

押出成形セメント板開口補強については  
施工図作成時に検討書を添付し  
監督員の承認を得るものとする。

AW-7	1F	縦材	□-100x100x4.5
		横材	□-125x125x6
AW-7	2F	縦材	□-100x100x4.5
		横材	□-125x125x6
AW-8	1F	縦材	保留
		横材	保留
AW-9	2F	縦材	□-100x100x4.5
		横材	L-75x75x6
AW-11	1F	縦材	L-65x65x6
		横材	L-65x65x6
AW-11	2F	縦材	L-75x75x6
		横材	L-65x65x6
SD-1	1F	縦材	□-100x100x6
		横材	□-100x100x6
SD-2	1F	縦材	□-100x100x6
		横材	□-100x100x6



押出成形セメント板開口補強については  
施工図作成時に検討書を添付し  
監督員の承認を得るものとする。

SD-2	2F	縦材	□-100x100x6
		横材	□-100x100x6
AW-6	1F	縦材	L-75x75x9
		横材	L-75x75x9
AW-9	1F	縦材	□-100x100x4.5
		横材	L-75x75x6

代表：株式会社エーシーエー設計  
一級建築士事務所登録  
(長野)M第77312号

管理建築士 一級建築士登録  
第222107号 湯本桂司

設計者  
一級建築士登録 第222108号  
構造設計一級建築士登録 第1975号  
小林好樹  
一級建築士登録 第204011号  
構造設計一級建築士登録 第4602号  
白鳥太一

検査者 湯本桂司

担当

担当

Job No. 24078

工事名

岡谷市川岸学園整備 第3期  
(幼保連携型認定こども園建設)  
建築主体工事

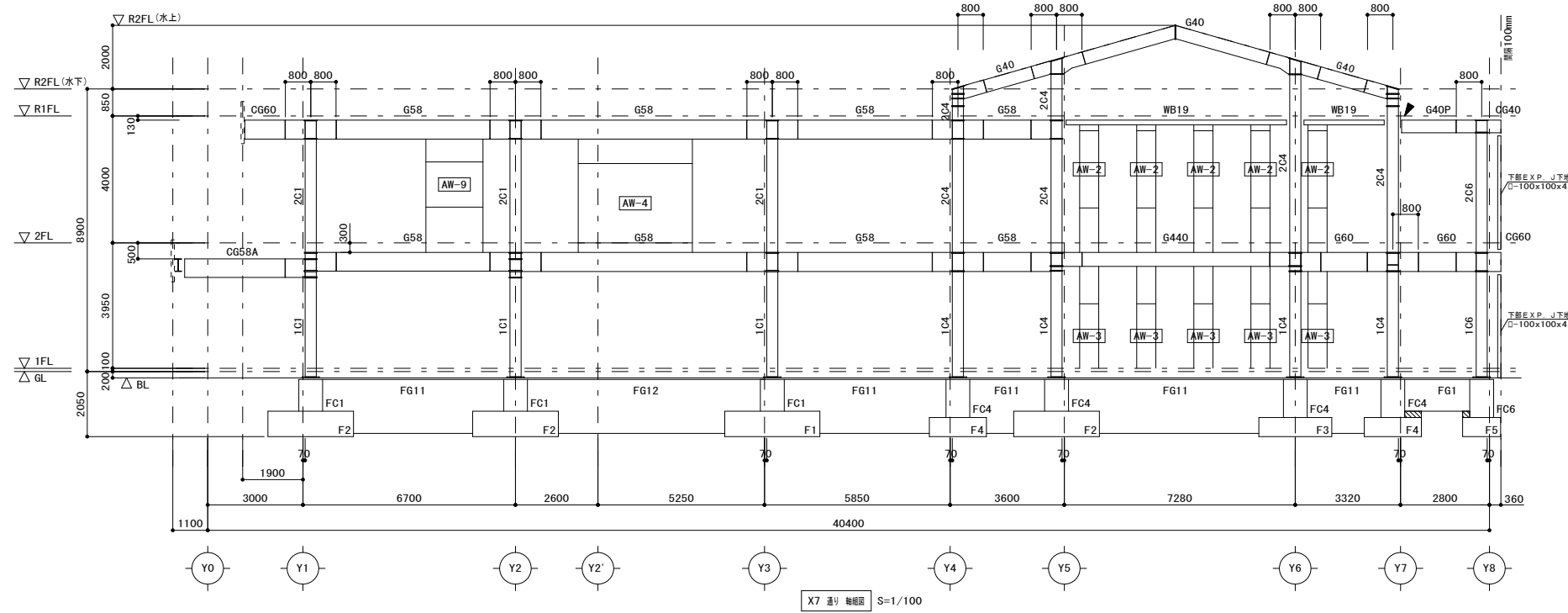
発行日 2026.03.31

図面名称

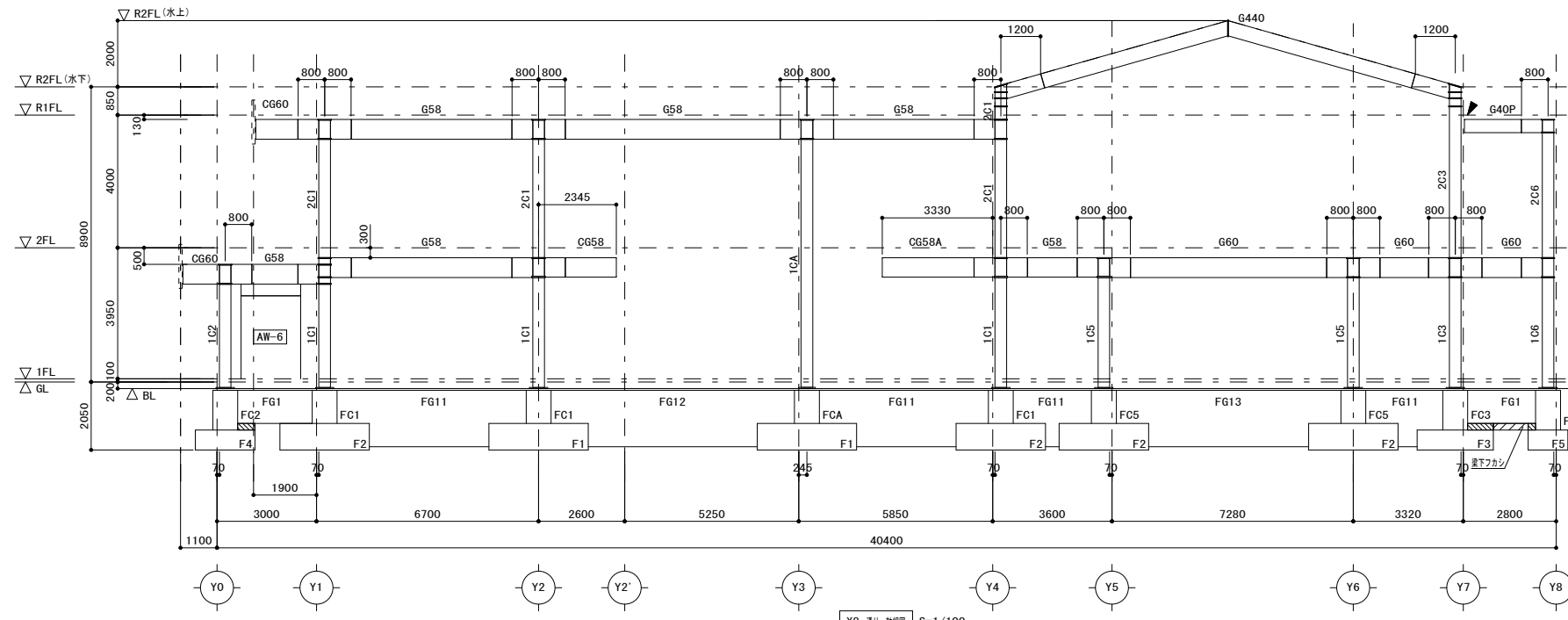
軸組図 3  
X1~X6

縮尺 A1:1/100, A3:1/200

s-022



X7 通り 軸組図 S=1/100



X8 通り 軸組図 S=1/100

押出成形セメント板開口補強については  
施工図作成時に検封書を添付し  
監督員の承認を得るものとする。

AW-2	2F	縦材	L-65x65x6
		横材	L-65x65x6
AW-3	1F	縦材	L-65x65x6
		横材	L-65x65x6
AW-4	2F	縦材	L-90x90x7
		横材	L-75x75x9
AW-6	1F	縦材	L-75x75x9
		横材	L-75x75x9
AW-9	2F	縦材	L-75x75x9
		横材	L-75x75x9

代表：株式会社エーシーエ設計  
一級建築士事務所登録  
(長野)M第77312号

管理建築士 一級建築士登録  
第222107号 湯本桂司

設計者  
一級建築士登録 第22100号  
構造設計一級建築士登録 第1975号  
小林好樹  
一級建築士登録 第204011号  
構造設計一級建築士登録 第4602号  
白鳥太一

検査者 湯本桂司

担当

担当

Job No. 24078  
工事名

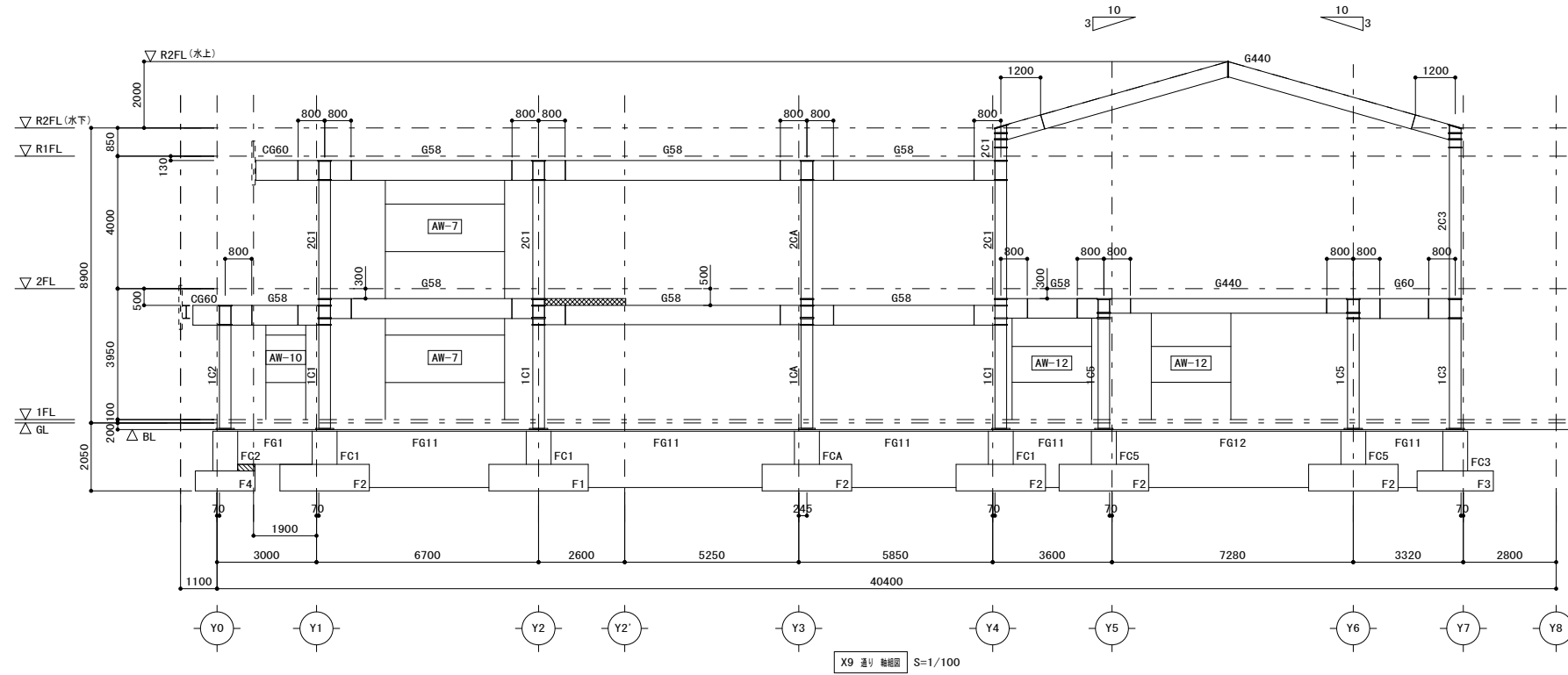
岡谷市川岸学園整備 第3期  
(幼保連携型認定こども園建設)  
建築主体工事

発行日 2026.03.31  
図面名称

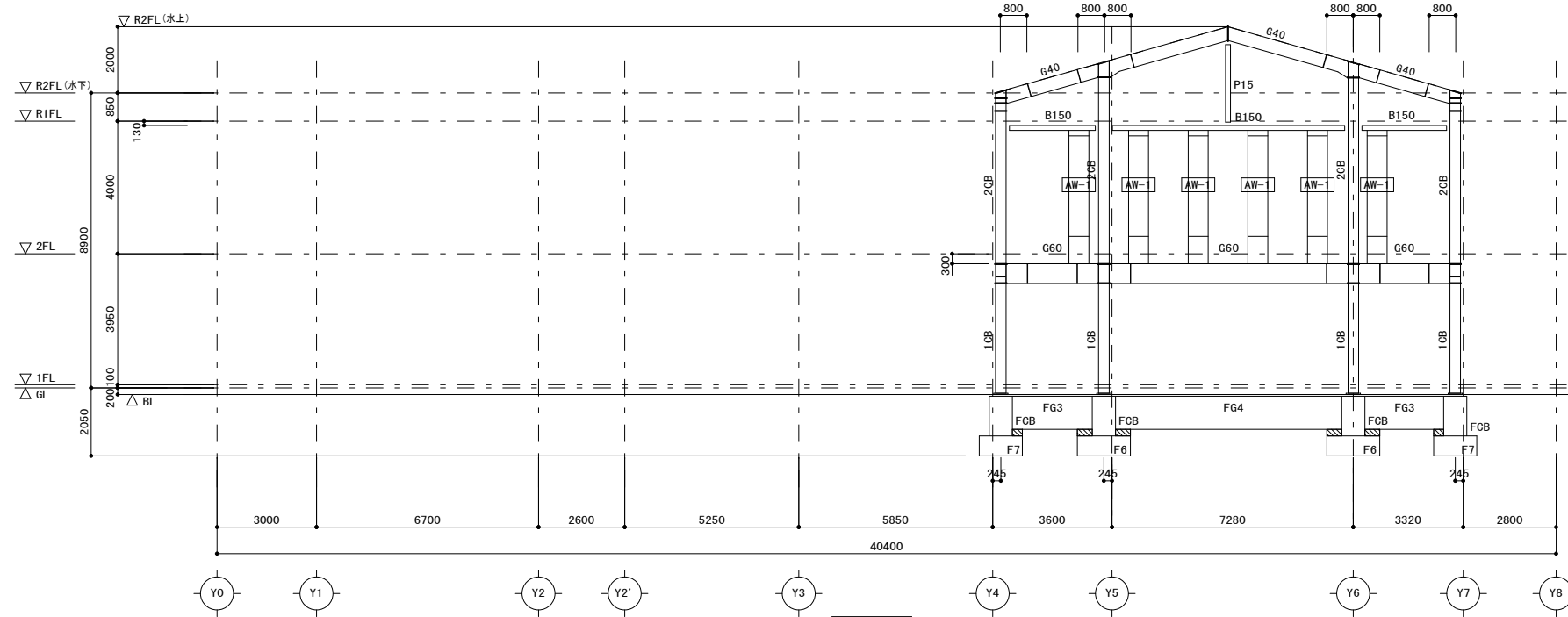
軸組図 4  
X7, X8

縮尺 A1:1/100, A3:1/200

s-023  
最終図  
2026.03.31



X9 通り 軸組図 S=1/100



X10 通り 軸組図 S=1/100

押出成形セメント板開口補強については  
施工図作成時に検封書を添付し  
監督員の承認を得るものとする。

AW-1	2F	縦材	保留
		横材	保留
AW-7	1F	縦材	□-100x100x4.5
		横材	□-125x125x4.5
AW-7	2F	縦材	□-100x100x4.5
		横材	□-125x125x4.5
AW-10	1F	縦材	L-75x75x6
		横材	L-65x65x6
AW-12	2F	縦材	L-75x75x6
		横材	L-65x65x6

代表：株式会社エーシーエ設計  
一級建築士事務所登録  
(長野)M第77312号

管理建築士 一級建築士登録  
第222107号 湯本桂司

設計者  
一級建築士登録 第222100号  
構造設計一級建築士登録 第1975号  
小林好樹  
一級建築士登録 第204011号  
構造設計一級建築士登録 第4602号  
白鳥太一

検査者 湯本桂司

担当

担当

Job No. 24078  
工事名

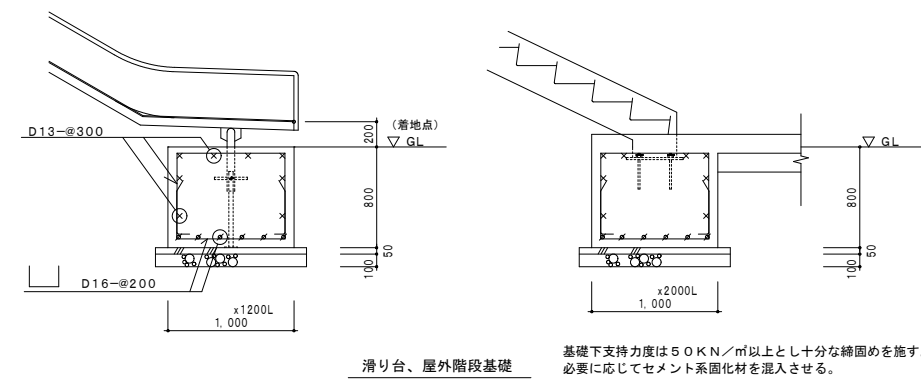
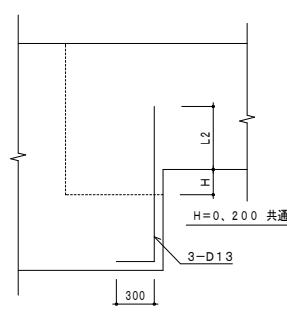
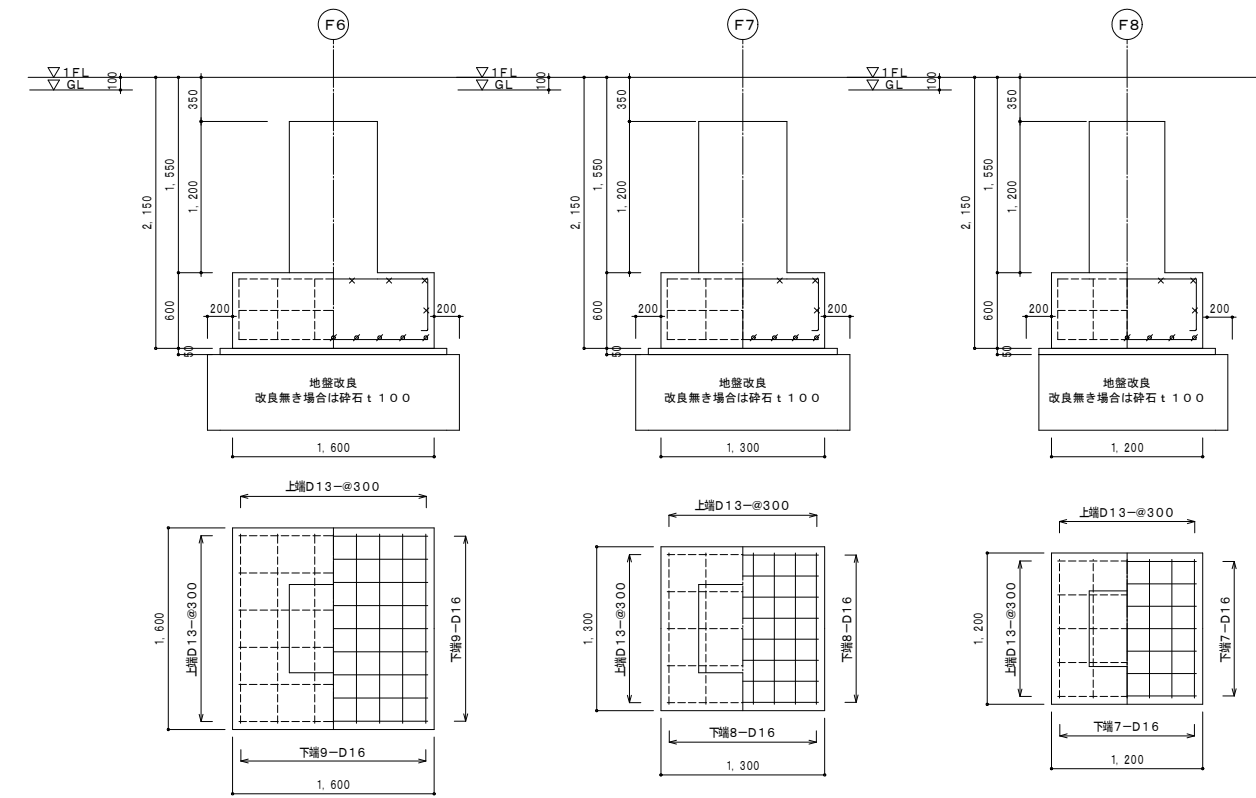
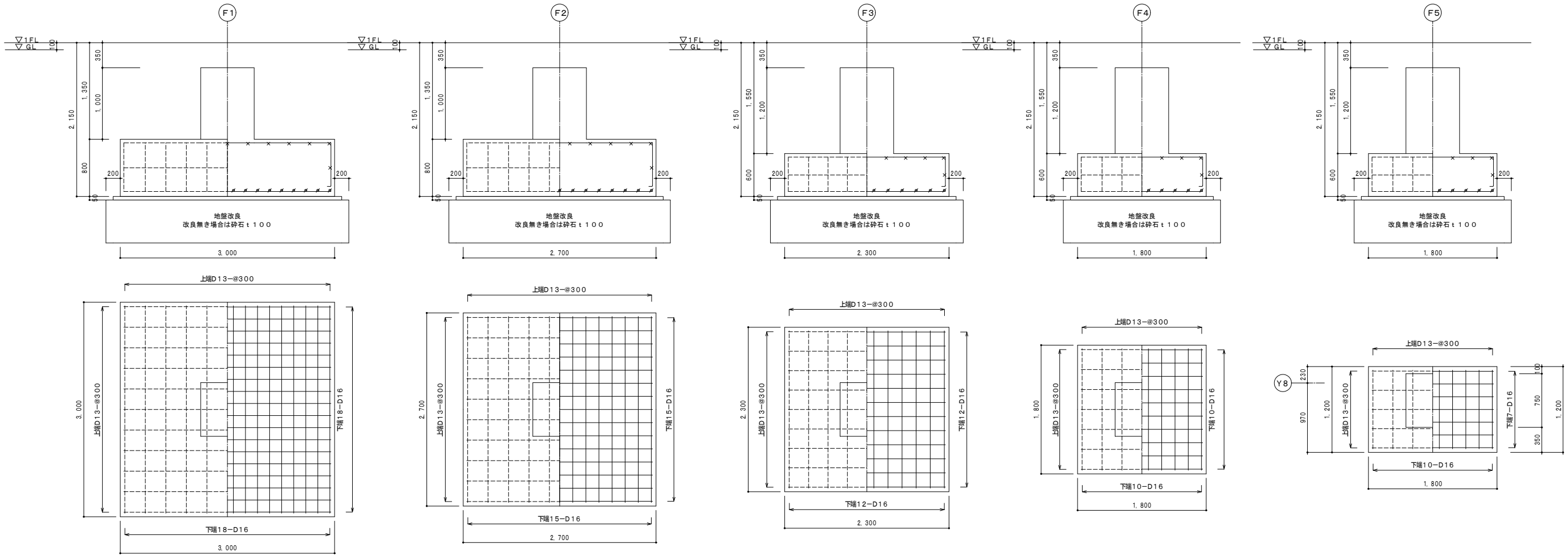
岡谷市川岸学園整備 第3期  
(幼保連携型認定こども園建設)  
建築主体工事

発行日 2026.03.31  
図面名称

軸組図 5  
X9, X10

縮尺 A1:1/100, A3:1/200

s-024  
最終図  
2026.03.31



基礎符号	基礎寸法	基礎柱符号	基礎柱断面	鉄骨柱脚
F1	3000x3000	FC1	750x750	EB350-8-30
F2	2700x2700	FC1. 2. 4. 5. A	△	EB350-8-30 EM350-8-30
F3	2300x2300	FC1. 3. 4. A	△	EB350-8-30 EM350-8-30
F4	1800x1800	FC2. 4. A. C	△	EB350-8-30 EM350-8-30
F5	1800x1200	FC6	△	EB350-8-30
F6	1600x1600	FCB	700x700	EM300-4-30
F7	1300x1300	FCB	700x700	EM300-4-30
F8	1200x1200	FCD	600x600	EM250-4-24

代表：株式会社エーシーエー設計  
一級建築士事務所登録  
(長野)M第77312号

管理建築士 一級建築士登録  
第222107号 湯本桂司

設計者  
一級建築士登録 第222108号  
構造設計一級建築士登録 第1975号  
小林好樹  
一級建築士登録 第204011号  
構造設計一級建築士登録 第4602号  
白鳥太一

検査者 湯本桂司

担当  
担当

Job No. 24078

工事名  
岡谷市川岸学園整備第3期  
(幼保連携型認定こども園建設)  
建築主体工事

発行日 2026.03.31

図面名称

基礎リスト

縮尺 A1: 1/30, A3: 1/60

s-025  
最終図  
2026.03.31

地中梁リスト S=1/30

符号	FG1	FG2	FG3	FG4	FG11	FG12	FG13	B1	B2	B3	B4
位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
断面											
上筋	6 - D25	4 - D25	4 - D25	5 - D25	4 - D25	6 - D25	6 - D25	6 - D22	6 - D22	4 - D22	3 - D22
下筋	6 - D25	4 - D25	4 - D25	5 - D25	4 - D25	6 - D25	8 - D25	6 - D22	4 - D22	4 - D22	3 - D22
筋	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D10 @200
備考											

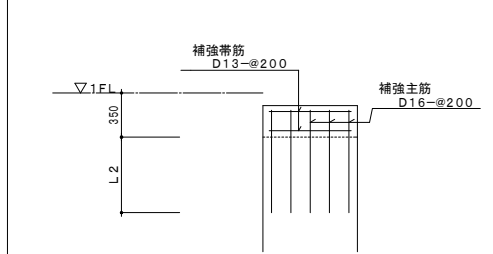
基礎柱リスト S=1/30

符号	FC1. 2. 3. 4. 5. 6	FCA. FCC	FCB	FCD
断面				
鉄骨柱脚	ハイベースNEO EB350-8-30	ハイベースNEO EM350-8-30	ハイベースNEO EM300-4-30	ハイベースNEO EM250-4-24
主筋	16 - D22 フック無し	16 - D22 FCA: フック無し FCC: 4隅フック有り	12 - D19 フック無し	8 - D19 4隅フック有り
帯筋	□-D13 @150 柱頭帯筋 2-□-D13	□-D13 @150 柱頭帯筋 2-□-D13	□-D13 @150 柱頭帯筋 2-□-D13	□-D13 @150 柱頭帯筋 2-□-D13
備考			X10通 列柱	階段基礎

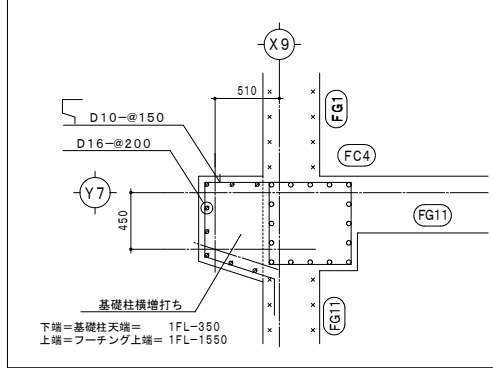
床リスト表

層	符号	厚	位置	短辺方向	長辺方向	部位他	地業、他
ピット上スラブ	S1	150	上端筋	D13-@200	D10-@200	ダブル配筋	
			下端筋	D13-@200	D10-@200	ダブル配筋	
	S2	150	上端筋	D13-@200	D13-@200	ダブル配筋	
			下端筋	D13-@200	D13-@200	ダブル配筋	
	S3	200	上端筋	D13-@150	D13-@150	ダブル配筋	
			下端筋	D13-@150	D13-@150	厨房床スラブ	
構造中間スラブ	DS1	150	上端筋	D13-@200	D10-@200	ダブルチドリ配筋	ポリエチレンシート 断熱材 25
			下端筋	D13-@200	D10-@200	ダブルチドリ配筋	断熱材 25
	DS2	150	上端筋	D13-@200	D13-@200	ダブルチドリ配筋	ポリエチレンシート 断熱材 25
			下端筋	D13-@200	D13-@200	ダブルチドリ配筋	断熱材 25
底版	FS1	250	上端筋	D13-@200	D13-@200	ダブル配筋	捨てコン t 50 EV. DWビット底版 砕石 t 100
			下端筋	D13-@200	D13-@200	ダブル配筋	
外部土間床	D1	180	上端筋	D13-@200	D13-@200	シングル配筋	捨てコン t 50 一般配管ビット底版 砕石 t 100
			下端筋	D13-@200	D13-@200	シングル配筋	砕石 t 150

基礎柱天端増打ち要領



アルミパネル袖壁下基礎柱増打ち要領

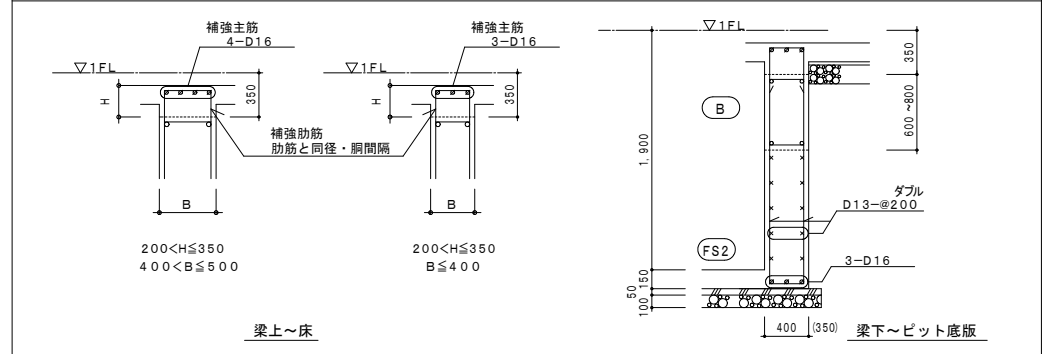


梁貫通孔補強

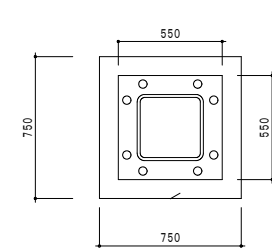
貫通孔径	箇所数
80φ	16ヶ所
100φ	24ヶ所
125φ	35ヶ所
150φ	22ヶ所
175φ	27ヶ所
	ヶ所

貫通孔補強は既製品による。  
貫通孔補強計算書を提出し監督員の承認を得る。  
既製品は下記及び下記と同等品による。

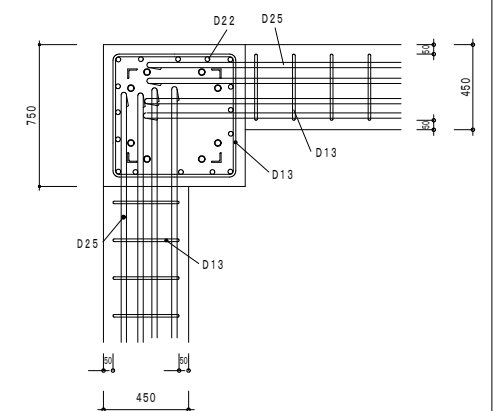
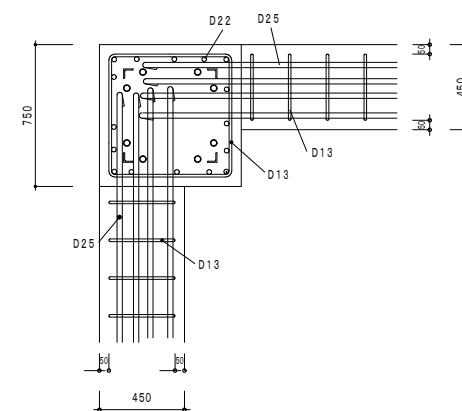
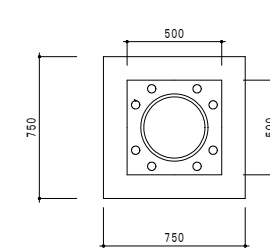
梁増打ち要領



EB350-4-30



EM350-4-30



基礎柱~地中梁配筋納まり S=1/20

代表：株式会社エーシーエー設計  
一級建築士事務所登録  
(長野)M第77312号

管理建築士 一級建築士登録  
第222107号 湯本桂司

設計者  
一級建築士登録 第222108号  
構造設計一級建築士登録 第1975号  
小林好樹  
一級建築士登録 第204011号  
構造設計一級建築士登録 第4602号  
白鳥太一

検査者 湯本桂司

担当

担当

Job No. 24078  
工事名

岡谷市川岸学園整備第3期  
(幼保連携型認定こども園建設)  
建築主体工事

発行日 2026.03.31  
図面名称

地中梁、基礎柱リスト  
床リスト、配筋図

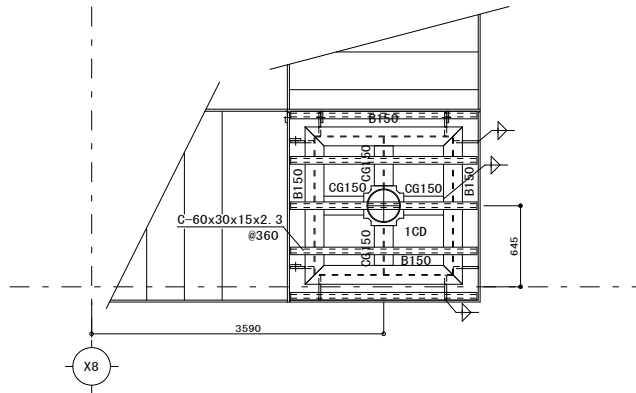
A1:1/30, A3:1/60  
縮尺 A1:1/20, A3:1/40

s-026

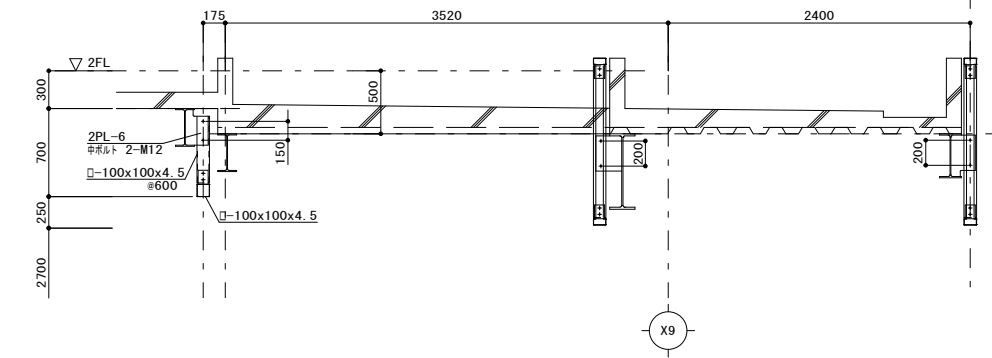
最終図  
2026.03.31





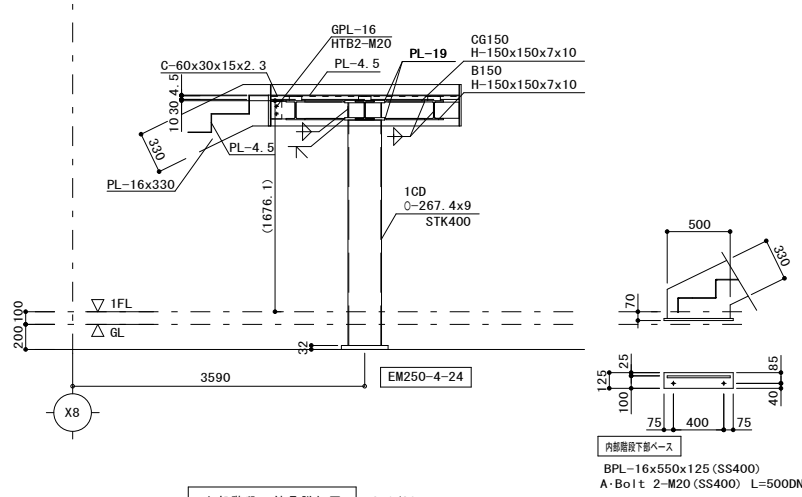


カーテンウォール受け鉄骨詳細図 S=1/30

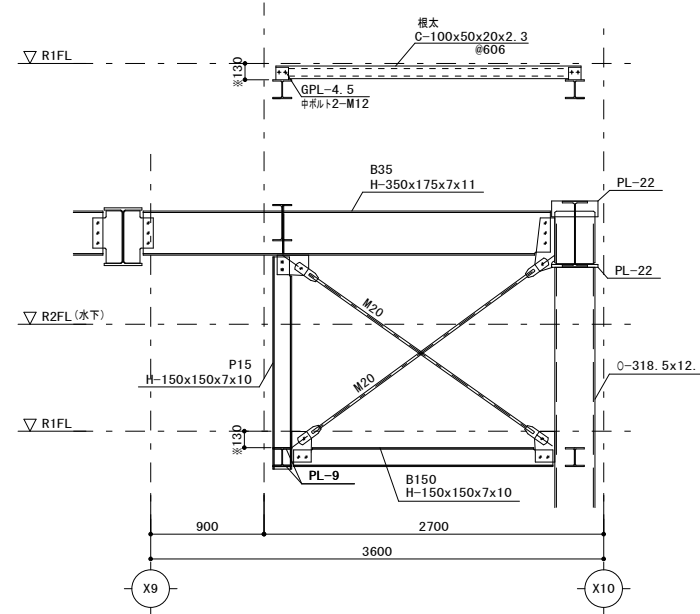


自動ドア受け詳細図 S=1/30

C S 先端詳細図 S=1/30

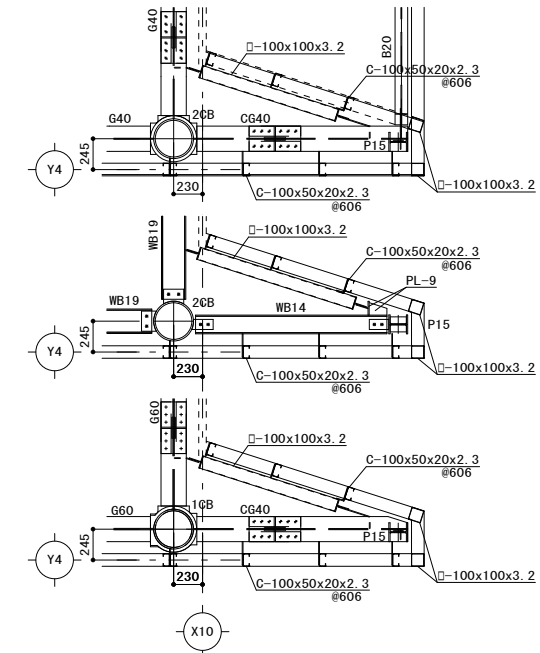


内部階段 鉄骨詳細図 S=1/30

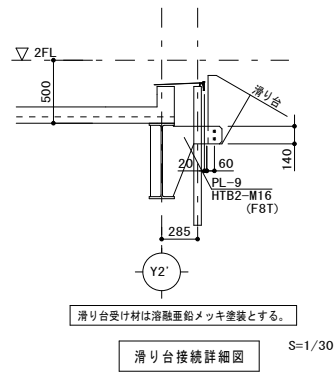


軸ブレース・根太詳細図 S=1/30

※寸法は現場打合せの上決定する。

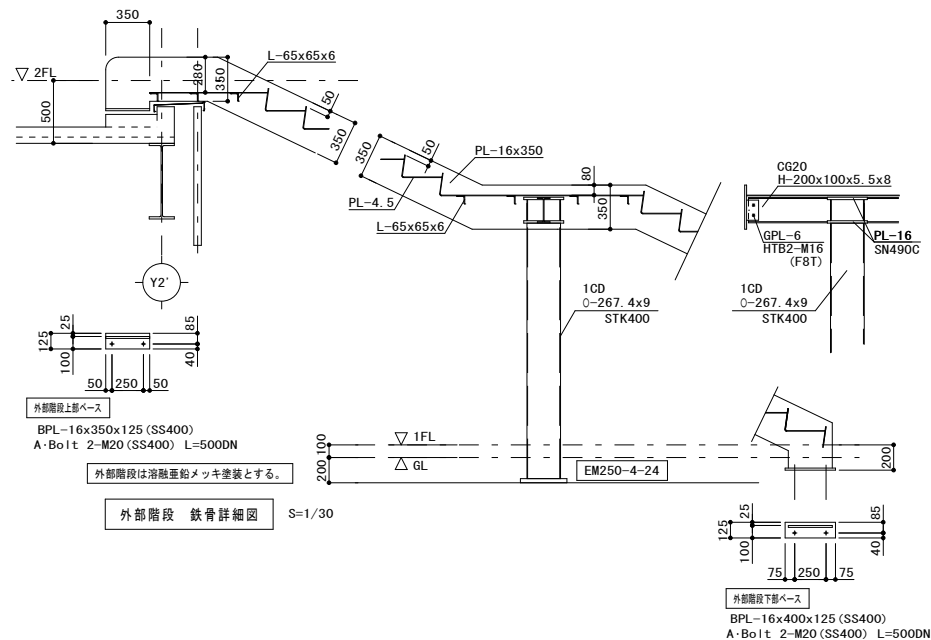


X10 通り袖壁部分詳細図 S=1/30



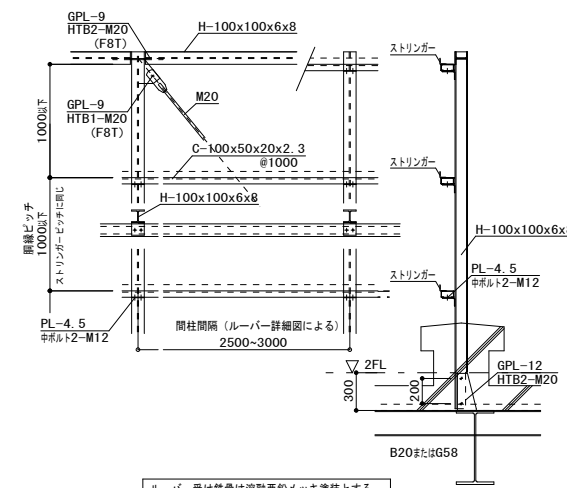
滑り台接続詳細図 S=1/30

滑り台受け材は溶融亜鉛メッキ塗装とする。



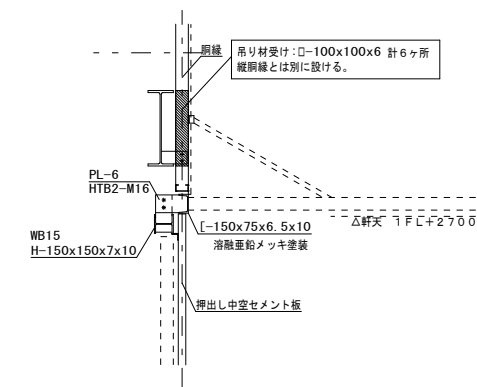
外部階段 鉄骨詳細図 S=1/30

外部階段は溶融亜鉛メッキ塗装とする。



ルーバー下地詳細図 S=1/30

ルーバー受け鉄骨は溶融亜鉛メッキ塗装とする。



アルフィン下地詳細図 S=1/30

※寸法および部材は現場打合せの上決定する。

代表：株式会社エーシーエ設計  
一級建築士事務所登録  
(長野)M第77312号

管理建築士 一級建築士登録  
第222107号 湯本桂司

設計者  
一級建築士登録 第22108号  
構造設計一級建築士登録 第1975号  
小林好樹

一級建築士登録 第204011号  
構造設計一級建築士登録 第4602号  
白鳥太一

検査者 湯本桂司

担当

担当

Job No. 24078

工事名

岡谷市川岸学園整備 第3期  
(幼保連携型認定こども園建設)  
建築主体工事

発行日 2026.03.31

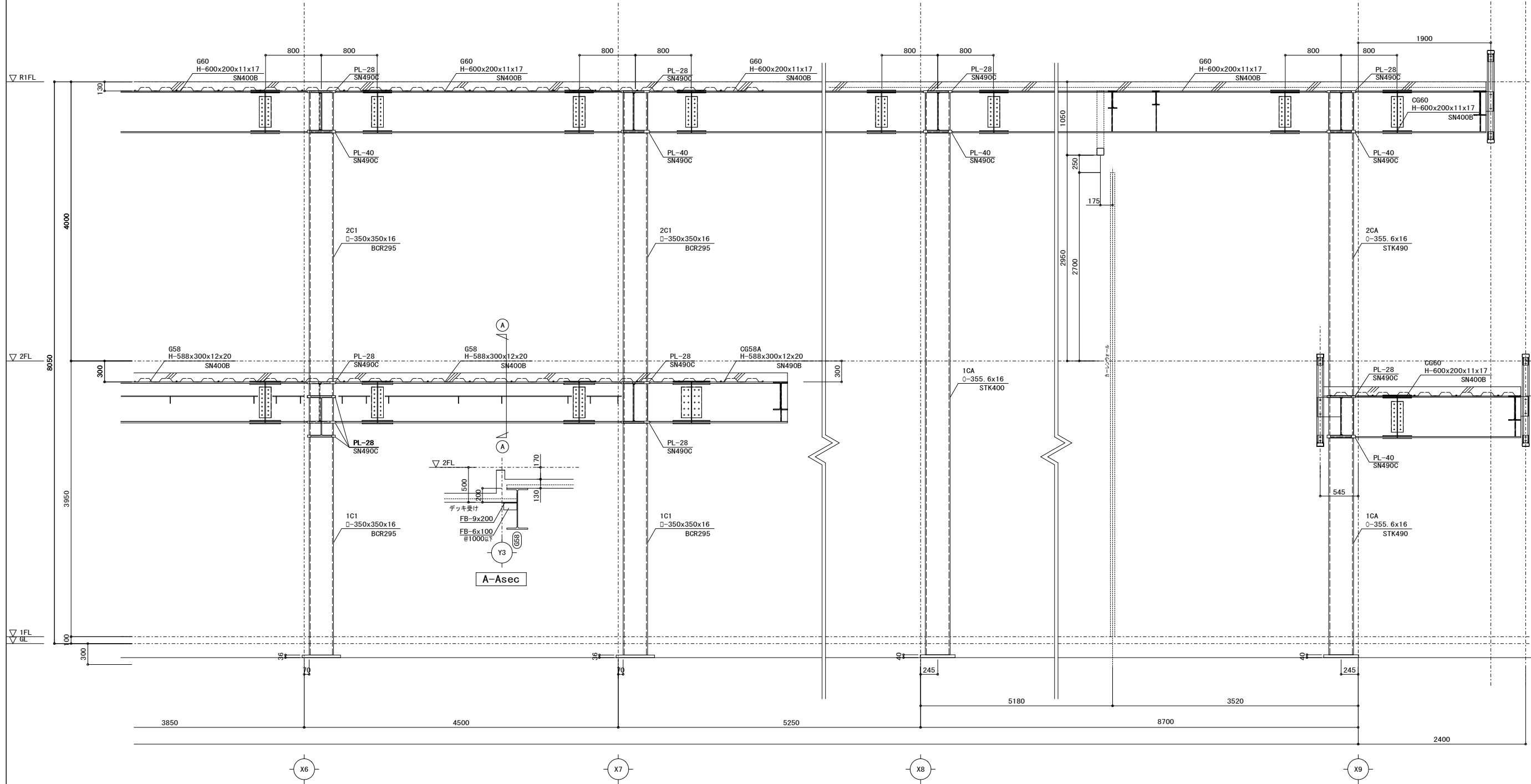
図面名称

部分詳細図

縮尺 A1:1/30, A3:1/60

S-029

最終図  
2026.03.31



Y3通り鉄骨詳細図 S-1/30

代表：株式会社エーシーエ設計  
一級建築士事務所登録  
(長野)M第77312号

管理建築士 一級建築士登録  
第222107号 湯本桂司

設計者  
一級建築士登録 第222108号  
構造設計一級建築士登録 第1975号  
小林好樹  
一級建築士登録 第204011号  
構造設計一級建築士登録 第4602号  
白鳥太一

検査者 湯本桂司

担当

担当

Job No. 24078  
工事名

岡谷市川岸学園整備 第3期  
(幼保連携型認定こども園建設)  
建築主体工事

発行日 2026.03.31

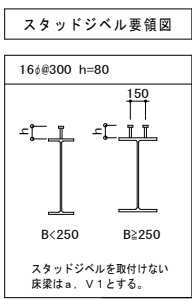
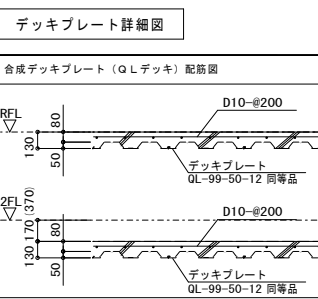
図面名称

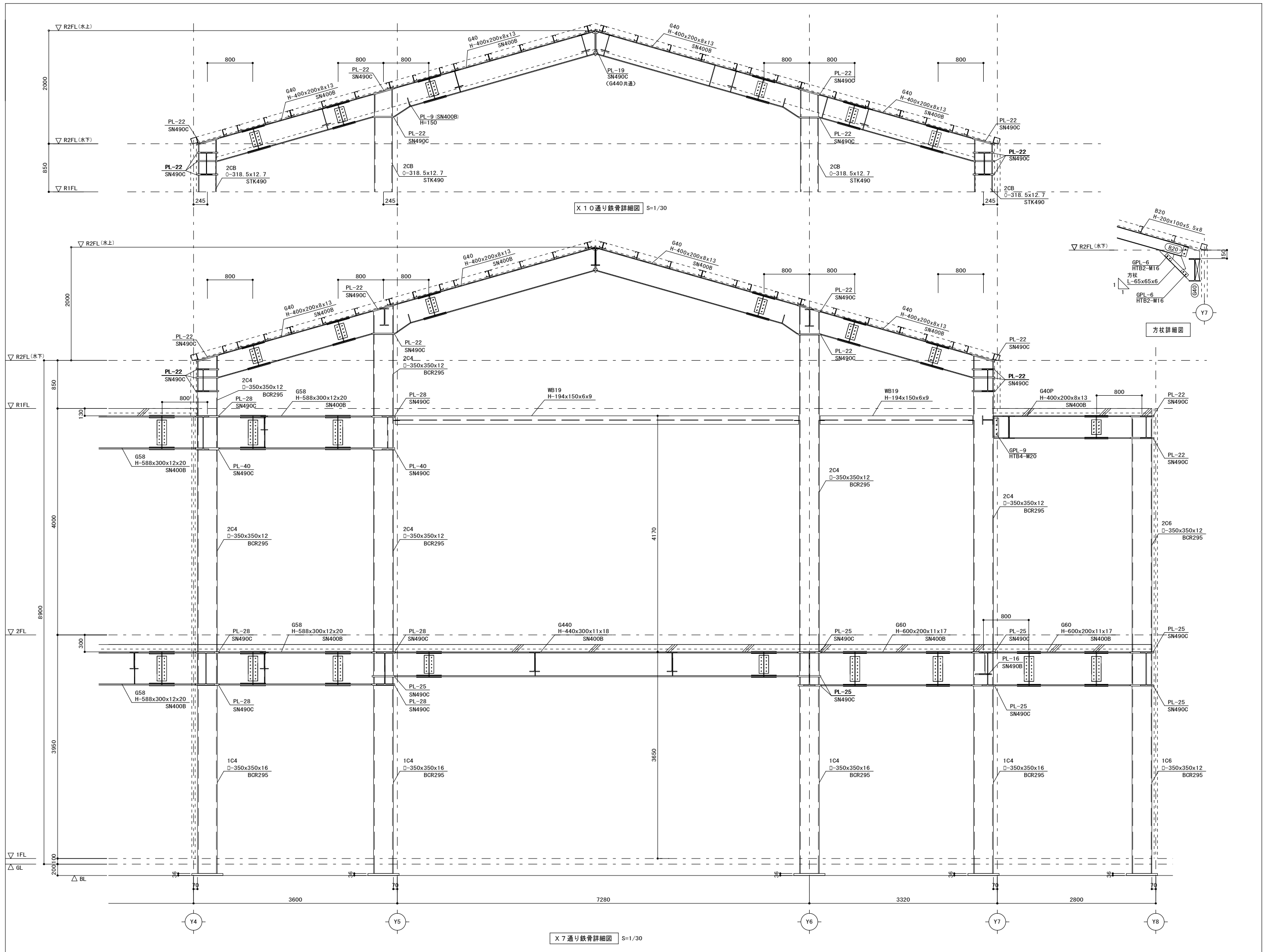
鉄骨架構詳細図 1

縮尺 A1:1/30, A3:1/60

S-030

特記なき限り下記による。(鉄骨詳細図共通)
特記なきベースプレート下地はGL-200(1FL-300)とする。
特記なき梁継手位置は柱芯より800とする。
特記なき間柱・梁の材質はSS400とする。
柱梁接合工法はノンスラップ工法とする。





X 10 通り鉄骨詳細図 S=1/30

方杖詳細図

X 7 通り鉄骨詳細図 S=1/30

代表：株式会社エーシーエ設計  
一級建築士事務所登録  
(長野)M第77312号

管理建築士 一級建築士登録  
第222107号 湯本桂司

設計者  
一級建築士登録 第222108号  
構造設計一級建築士登録 第1975号  
小林好樹  
一級建築士登録 第204011号  
構造設計一級建築士登録 第4602号  
白鳥太一

検査者 湯本桂司

担当

担当

Job No. 24078  
工事名

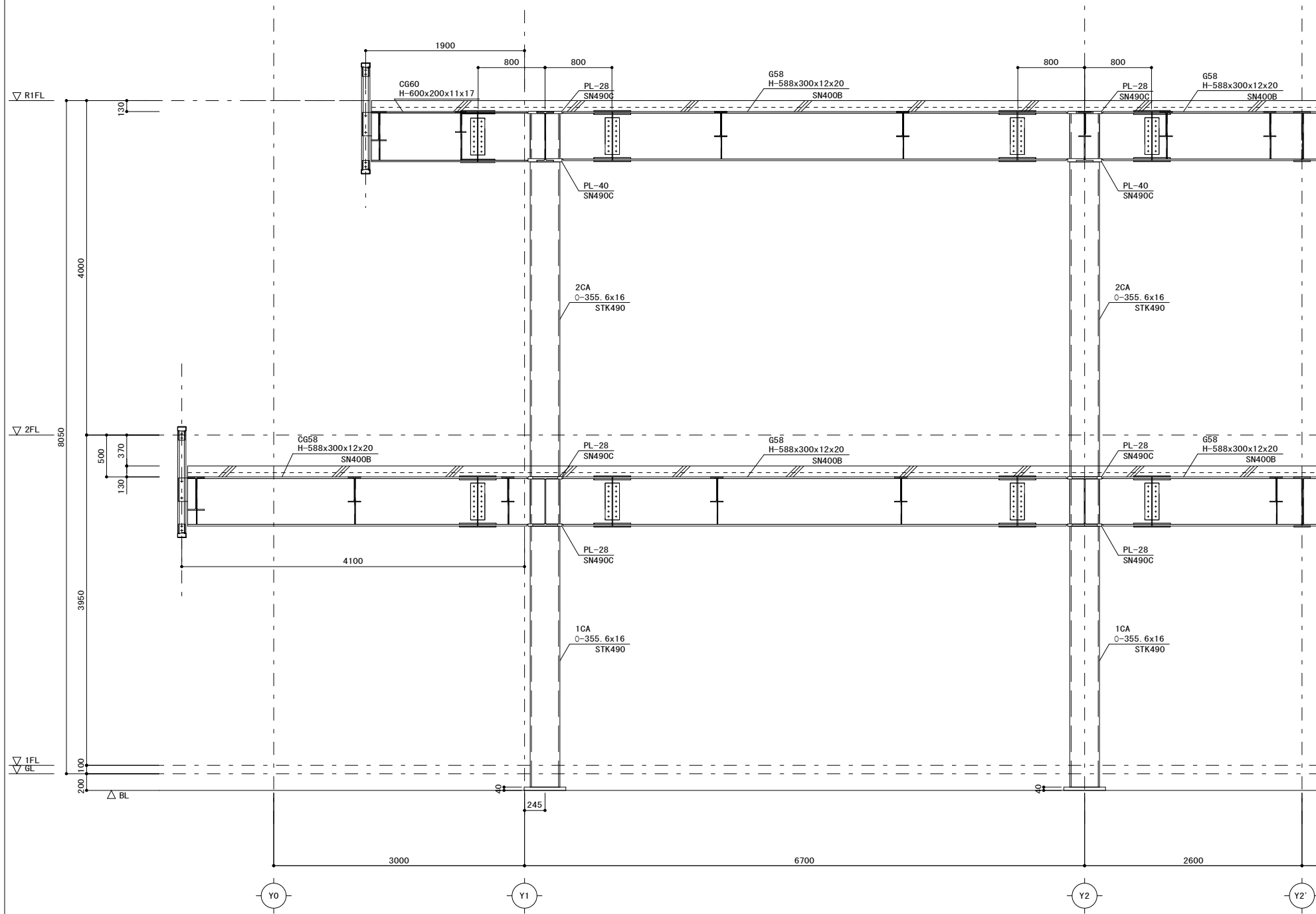
岡谷市川岸学園整備 第3期  
(幼保連携型認定こども園建設)  
建築主体工事

発行日 2026.03.31  
図面名称

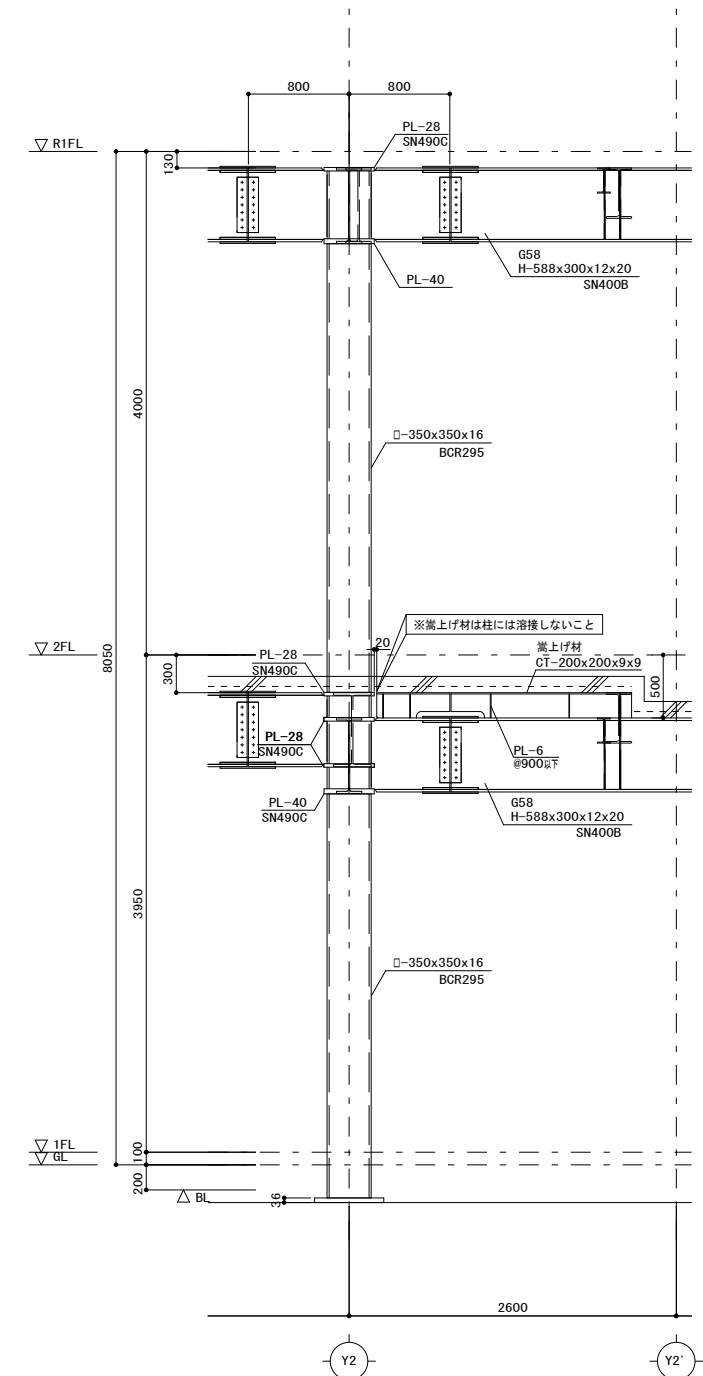
鉄骨架構詳細図 2

縮尺 A1:1/30, A3:1/60

s-031



X6 通り 鉄骨詳細図 S=1/30



X9 通り 鉄骨詳細図 S=1/30

代表：株式会社エーシーエー設計  
一級建築士事務所登録  
(長野)M第77312号

管理建築士 一級建築士登録  
第222107号 湯本桂司

設計者  
一級建築士登録 第22108号  
構造設計一級建築士登録 第1975号  
小林好樹

一級建築士登録 第204011号  
構造設計一級建築士登録 第4602号  
白鳥太一

検査者 湯本桂司

担当

担当

Job No. 24078

工事名

岡谷市川岸学園整備 第3期  
(幼保連携型認定こども園建設)  
建築主体工事

発行日 2026.03.31

図面名称

鉄骨架構詳細図 3

縮尺 A1:1/30, A3:1/60

s-032

最終図  
2026.03.31




○ 足場等	(2, 2, 1) (表2, 2, 1)	「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 外部足場 ○設置する (設置範囲 ○工事に必要な範囲) ○設置しない 防護シート○設置する (設置範囲 ○工事に必要な範囲) ○設置しない 内部足場 ○設置する (○体育館 ○脚立、足場板等) ○設置しない																
	○材料、撤去材等の運搬方法 種類(・A種 ○B種 ・C種 ○D種 ・E種) ○種：利用可能なエレベーター( ) D種：利用可能な階段 (全て )																	
○ 既存部分の養生	(2, 3, 1)	1) 養生方法等 ・既存部分 養生方法(・ ○ビニルシート、合板) ○既存家具、既存設備等 養生方法(・ ○ビニルシート等 ) ・既存ブラインド、カーテン等 養生方法(・ ビニルシート等 ) 保管場所 (・ 図示 ) ・固定された備品、机、ロッカー等の移動(・ 図示 )																
○ 仮設間仕切り	(2, 3, 2) (表2, 3, 1)	1) 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ○図示 2) 仮設間仕切りの種類と材質等																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>仕上材 (厚さ mm)</th> <th>塗装</th> <th>充填</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A種</td> <td>○せっこうボード 種類(○3B-R ) 厚さ(・ mm ○9, 5mm )</td> <td>○なし ・片面</td> <td>グラスウール 厚さ( mm)</td> </tr> <tr> <td>○B種</td> <td>・合板 材種(・ ) 厚さ(・ mm ○9mm )</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○C種</td> <td>防火シート</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種別	仕上材 (厚さ mm)	塗装	充填	・A種	○せっこうボード 種類(○3B-R ) 厚さ(・ mm ○9, 5mm )	○なし ・片面	グラスウール 厚さ( mm)	○B種	・合板 材種(・ ) 厚さ(・ mm ○9mm )			○C種	防火シート		
種別	仕上材 (厚さ mm)	塗装	充填															
・A種	○せっこうボード 種類(○3B-R ) 厚さ(・ mm ○9, 5mm )	○なし ・片面	グラスウール 厚さ( mm)															
○B種	・合板 材種(・ ) 厚さ(・ mm ○9mm )																	
○C種	防火シート																	
		3) 仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>仕上げ</th> <th>塗装</th> <th>設置箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・なし</td> <td>・か所</td> </tr> <tr> <td>○木製</td> <td>○合板張り程度</td> <td>・片面</td> <td>・図示</td> </tr> </tbody> </table>	材質	仕上げ	塗装	設置箇所	・	・	・なし	・か所	○木製	○合板張り程度	・片面	・図示				
材質	仕上げ	塗装	設置箇所															
・	・	・なし	・か所															
○木製	○合板張り程度	・片面	・図示															
○ 交通誘導員		○配置する( ) ・配置しない																
3章 防水改修工事																		
・ 施工数量調査	(1, 6, 1, 2)	調査範囲 ・図示 調査方法 ・図示 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・図示 調査報告書 提出部数：・2部																
・ 降雨等に対する養生方法	(3, 1, 3)	・ *改修標準仕様書3, 1, 3(5)(ア)～(イ)による。																
・ 既存防水の処理	(3, 2, 3, 4, 6)	既存保護層の撤去 ・行う(範囲 ・図示 ) ・行わない 既存防水層の撤去 ・行う(範囲 ・図示 ・立上り部 ) ・行わない 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う(・M4AS ・M4ASI ・M4C ・M4DI ・L4X ) ・行わない																
・ 既存下地の処理	(3, 2, 6)	既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ・図示 POS工法及びPOSSI工法(機械的固定工法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理 ・ *改修標準仕様書3, 2, 6(4)(ウ)(g)①～③による 設備機器架台、配管受部、パラベット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理 ・図示 *監督職員と協議する																

・ アスファルト防水	(3, 3, 2～5)	<p>屋根保護防水 防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>G</th> <th>絶縁用シート</th> <th>立上り部の保護</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・P2A</td> <td>・A-1 ・A-2 ・A-3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ポリエチレンフィルム 厚さ0, 15mm以上</td> <td>・乾式保護材 ・コンクリート 押え ・れんが押え</td> </tr> <tr> <td>・P1B</td> <td>・B-1 ・B-2 ・B-3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・P2 AI</td> <td>・AI-1 ・AI-2 ・AI-3</td> <td></td> <td>(種類) JIS A 9521に基づく 押出法ポリスチレン</td> <td></td> <td>・フラットヤーン クロス</td> <td>・JIS R 1250 70g/㎡ 程度</td> </tr> <tr> <td>・P1 BI TI</td> <td>・BI-1 ・BI-2 ・BI-3</td> <td></td> <td>フォーム断熱材3種bA (スキ層付き) (厚さ) ・25mm・50mm</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・用途による区分 ・材料構成による区分 ・厚さ mm以上 *改修標準仕様書表3, 3, 3から表3, 3, 9による</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・用途による区分 ・材料構成による区分 ・厚さ mm以上 *改修標準仕様書表3, 3, 3から表3, 3, 9による</p> <p>平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ・ 水 下 80mm以上 床タイル張り ・ 水 下 60mm以上</p> <p>・乾式保護材 窯業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ養生したもの</p> <p>金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化させたもの(品質・性能)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類・規格</th> <th>・窯業系パネルI類 (寒冷地仕様)</th> <th>・窯業系パネルII類 (一般地仕様)</th> <th>・金属複合板</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>寸法(mm)</td> <td>厚さ(mm) 幅(mm)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>寸法の許容差</td> <td>厚さ：+10%、-5%、幅：±1%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出荷時の含水率</td> <td>20以下</td> <td>20以下</td> <td>1以下</td> </tr> <tr> <td>曲げ強さ・曲げモメント(N・cm)</td> <td>550以上</td> <td>450以上</td> <td>300以上</td> </tr> <tr> <td>(30°/50cmにおける凍結融解完了時(試験回数の)</td> <td>400以上(300)</td> <td>320以上(200)</td> <td>250以上(300)</td> </tr> <tr> <td>吸水率(%)</td> <td>20以下</td> <td>20以下</td> <td>1以下</td> </tr> <tr> <td>吸水による長さ変化率(%)</td> <td>0, 07以下</td> <td>0, 07以下</td> <td>0, 01以下</td> </tr> <tr> <td>難燃性</td> <td>不燃</td> <td>不燃</td> <td>表面材は不燃</td> </tr> </tbody> </table> <p>耐凍結融解性能 曲げ強さ、曲げモーメントの凍結融解完了時の試験サイクル後、著しい割れや剥離がなく、外観上異常がないこと</p> <p>耐衝撃性能 質量500g(窯業系パネルI類は1, 000g)のおもりを高さ1, 0mから試験体の弱点部に落とすとき、裏面に達する穴があかないこと</p> <p>剛性(E×I) (スパン40m幅30mの中央 曲げ時に荷重720Nの時、 たわみ4mm以下となる剛性)</p>	工法	種別	施工箇所	断熱材	G	絶縁用シート	立上り部の保護	・P2A	・A-1 ・A-2 ・A-3				・ポリエチレンフィルム 厚さ0, 15mm以上	・乾式保護材 ・コンクリート 押え ・れんが押え	・P1B	・B-1 ・B-2 ・B-3						・P2 AI	・AI-1 ・AI-2 ・AI-3		(種類) JIS A 9521に基づく 押出法ポリスチレン		・フラットヤーン クロス	・JIS R 1250 70g/㎡ 程度	・P1 BI TI	・BI-1 ・BI-2 ・BI-3		フォーム断熱材3種bA (スキ層付き) (厚さ) ・25mm・50mm				分類・規格	・窯業系パネルI類 (寒冷地仕様)	・窯業系パネルII類 (一般地仕様)	・金属複合板	寸法(mm)	厚さ(mm) 幅(mm)			寸法の許容差	厚さ：+10%、-5%、幅：±1%			出荷時の含水率	20以下	20以下	1以下	曲げ強さ・曲げモメント(N・cm)	550以上	450以上	300以上	(30°/50cmにおける凍結融解完了時(試験回数の)	400以上(300)	320以上(200)	250以上(300)	吸水率(%)	20以下	20以下	1以下	吸水による長さ変化率(%)	0, 07以下	0, 07以下	0, 01以下	難燃性	不燃	不燃	表面材は不燃
工法	種別	施工箇所	断熱材	G	絶縁用シート	立上り部の保護																																																																			
・P2A	・A-1 ・A-2 ・A-3				・ポリエチレンフィルム 厚さ0, 15mm以上	・乾式保護材 ・コンクリート 押え ・れんが押え																																																																			
・P1B	・B-1 ・B-2 ・B-3																																																																								
・P2 AI	・AI-1 ・AI-2 ・AI-3		(種類) JIS A 9521に基づく 押出法ポリスチレン		・フラットヤーン クロス	・JIS R 1250 70g/㎡ 程度																																																																			
・P1 BI TI	・BI-1 ・BI-2 ・BI-3		フォーム断熱材3種bA (スキ層付き) (厚さ) ・25mm・50mm																																																																						
分類・規格	・窯業系パネルI類 (寒冷地仕様)	・窯業系パネルII類 (一般地仕様)	・金属複合板																																																																						
寸法(mm)	厚さ(mm) 幅(mm)																																																																								
寸法の許容差	厚さ：+10%、-5%、幅：±1%																																																																								
出荷時の含水率	20以下	20以下	1以下																																																																						
曲げ強さ・曲げモメント(N・cm)	550以上	450以上	300以上																																																																						
(30°/50cmにおける凍結融解完了時(試験回数の)	400以上(300)	320以上(200)	250以上(300)																																																																						
吸水率(%)	20以下	20以下	1以下																																																																						
吸水による長さ変化率(%)	0, 07以下	0, 07以下	0, 01以下																																																																						
難燃性	不燃	不燃	表面材は不燃																																																																						

屋根露出防水 防水層の種類							
工法	種別	施工箇所	断熱材	G	仕上塗料	高日射 反射率 防水の 適用	備考
・M4C	・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4				・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	・ ・	
・M3D ・P0D	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4					脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	
・P0DI ・M3DI ・M4DI	・DI-1 ・DI-2				改修標準仕様書3, 3, 2(9) (種類) (厚さ) ・25mm		
屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ・アスファルトルーフィング類の製造所の指定 脱気装置 ・個 *アスファルトルーフィング類の製造所の指定 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフトレンドロリ及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 * 図示							
屋内防水							
工法	種別	施工箇所	保護層				
・P1E ・P2E	・E-1 ・E-2		・設ける ・設けない				
・E-1の行程3を行う部位 ( *貯水層、浴槽等常時水に接する部位 ) 押え金物の材質、形状及び寸法 ・ *アルミニウム製 L-30×15×2, 0 (mm)程度 屋上排水溝 ・適用する(施工範囲 図示 ) ・適用しない							
(3, 4, 2, 3)							
防水層の種類							
工法	種別	施工箇所	断熱材	G	仕上塗料	高日射 反射率 防水の 適用	備考
・M4 AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2				・改質アスファルトシート製造所の仕様による	・ ・	
・M3 AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1					脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	
・P0 AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3					脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	
・M3 ASI	・ASI-T1 ・ASI-J1				改修標準仕様書3, 4, 2 (3)(ウ) (種類) (厚さ) ・25mm ・50mm	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない 防湿層 ・設ける ・設けない	

改質アスファルトシートの種類及び厚さ ・用途による区分 ・材料構成による区分 ・厚さ mm以上 *改修標準仕様書表3, 4, 1から表3, 4, 3による 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ・用途による区分 ・材料構成による区分 ・厚さ mm以上 *改修標準仕様書表3, 4, 1から表3, 4, 3による 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ・用途による区分 ・材料構成による区分 ・厚さ mm以上 *改修標準仕様書表3, 4, 1から表3, 4, 3による 屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 *改質アスファルトルーフィング類の製造所の指定 脱気装置 ・個 *改質アスファルトルーフィング類の製造所の指定 屋根露出防水絶縁断熱工法の防湿用シート (・設置する ・設置しない ) 押え金物の材質、形状及び寸法 ・ *アルミニウム製 L-30×15×2, 0 (mm)程度	(3, 5, 2～4) (表3, 5, 1～3)	<p>防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工法</th> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th rowspan="2">G</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">高日射 反射率 防水の 適用</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・POS</td> <td>・S-F1 ・S-F2 ・S-M1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ルーフィングシート の製造 所の仕様 による</td> <td>・ ・</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・S4S</td> <td>・S-M2 ・S-M3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S3S</td> <td>・S-F1 ・S-F2</td> <td>・プレキャスト コン クリート 下地 ・ ・プレキャスト コン クリート 下地</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・M4S</td> <td>・S-M1 ・S-M2 ・S-M3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1</td> <td>・S1-F1 ・S1-F2 ・S1-M1 ・S1-M2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>改修標準仕様書3, 5, 2 (3)(エ)(b)による (種類) (厚さ) ・25mm・50mm 改修標準仕様書3, 5, 2 (3)(エ)(a)による (種類) (厚さ) ・25mm○50mm</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> </tbody> </table> <p>・S-M2の場合で立上りが、接着工法の場合 立上り面のシート厚さ(・ *1, 5mm) ・S1-M1及びS1-M2の場合の防湿用フィルム ( ・設置する ・設置しない )</p> <p>屋内防水 防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="2">保護層</th> <th rowspan="2">立上り部の 保護モルタル 塗り厚さ</th> </tr> <tr> <th>塗 り 厚 さ</th> <th>工 法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・S-C1</td> <td>・</td> <td>・ mm</td> <td>・床塗り工法 ・下地モルタル塗り ・</td> <td>・ *7mm以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>床塗りの場合の床の目地 目地割り(・ *2㎡程度 最大目地間隔3m程度) 目地の種類(・ *押し目地)</p>	工法	種別	施工箇所	断熱材	G	仕上塗料		高日射 反射率 防水の 適用	備考	種類	使用量	・POS	・S-F1 ・S-F2 ・S-M1				・ルーフィングシート の製造 所の仕様 による	・ ・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・S4S	・S-M2 ・S-M3							・S3S	・S-F1 ・S-F2	・プレキャスト コン クリート 下地 ・ ・プレキャスト コン クリート 下地					脱気装置 ・設ける ・設けない	・M4S	・S-M1 ・S-M2 ・S-M3							・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1	・S1-F1 ・S1-F2 ・S1-M1 ・S1-M2				改修標準仕様書3, 5, 2 (3)(エ)(b)による (種類) (厚さ) ・25mm・50mm 改修標準仕様書3, 5, 2 (3)(エ)(a)による (種類) (厚さ) ・25mm○50mm	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	種別	施工箇所	保護層		立上り部の 保護モルタル 塗り厚さ	塗 り 厚 さ	工 法	・S-C1	・	・ mm	・床塗り工法 ・下地モルタル塗り ・	・ *7mm以下
工法	種別	施工箇所						断熱材	G			仕上塗料		高日射 反射率 防水の 適用	備考																																																	
			種類	使用量																																																												
・POS	・S-F1 ・S-F2 ・S-M1				・ルーフィングシート の製造 所の仕様 による	・ ・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																									
・S4S	・S-M2 ・S-M3																																																															
・S3S	・S-F1 ・S-F2	・プレキャスト コン クリート 下地 ・ ・プレキャスト コン クリート 下地					脱気装置 ・設ける ・設けない																																																									
・M4S	・S-M1 ・S-M2 ・S-M3																																																															
・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1	・S1-F1 ・S1-F2 ・S1-M1 ・S1-M2				改修標準仕様書3, 5, 2 (3)(エ)(b)による (種類) (厚さ) ・25mm・50mm 改修標準仕様書3, 5, 2 (3)(エ)(a)による (種類) (厚さ) ・25mm○50mm	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																										
種別	施工箇所	保護層		立上り部の 保護モルタル 塗り厚さ																																																												
		塗 り 厚 さ	工 法																																																													
・S-C1	・	・ mm	・床塗り工法 ・下地モルタル塗り ・	・ *7mm以下																																																												



ACA  
+  
SITE

エーシーエーサイト  
建築事務所

---

代表：株式会社エーシー設計  
一級建築士事務所登録  
(長野) M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録  
第222107号 湯本桂司

---

設計者  
一級建築士登録  
第 307544 号 海瀬務  
一級建築士登録  
第 294614 号 矢崎和夫

---

検査者 湯本桂司

---

担当 浜大氣

---

担当

---


Job No. 24078  
工事名  
岡谷市川岸学園整備 第3期  
(幼保連携型認定こども園建設)  
建築主体工事

発行日 2026.03.31  
図面名称

改修特記仕様書(2)

縮尺 1/50

KA-002





エーシーエー・サイト

設計事務所

代表：株式会社エーシーエー設計  
一級建築士事務所登録  
(長野) M第77312号

管理建築士 一級建築士登録  
第222107号 湯本桂司

設計者  
一級建築士登録  
第307544号 海瀬秀  
一級建築士登録  
第294614号 矢崎和夫

検査者 湯本桂司

担当 浜大氣

担当

Job No. 24078  
工事名

岡谷市川岸学園整備 第3期  
(幼保連携型認定こども園建設)  
建築主体工事

発行日 2026.03.31  
図面名称

改修特記仕様書(3)

縮尺 二

KA-003 最終図  
2026.03.31

(4.1.4) (4.3.5.6.7.8)

樹脂注入工法

工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上 ~ 1.0未満	※200~300	※130
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上 ~ 0.3未満	・50~100	・40
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上 ~ 0.5未満 0.5以上 ~ 1.0未満	・100~200 ・150~250	・70 ・130

エポキシ樹脂 低粘度形 中粘度形  
注入状況の確認方法  
※コアの抜き取りを行う  
抜き取り個数  
※長さ500mごと及びその端数につき1個  
抜き取り部の補修方法 ※図示

・Uカットシール材充填工法  
・シーリング材 充填材料の種類  
※1成分又は2成分ポリウレタン系  
シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填  
・行う ・行わない  
・可とう性エポキシ樹脂

・シール工法  
・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂

・充填工法  
・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル

・モルタル塗替え工法  
・現場調査材料 (セメントは改修特記仕様書8-2コンクリート工事による)  
・既調査材料 (使用する(形状・図示))  
既製目地材 使用する(形状・図示)  
仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置  
※図示

(4.1.4) (4.3.11~16)

工法の種類	アンカーピンの注入口の箇所数		注入量 (mL/箇所)
	本数(本/㎡)	(箇所/㎡)	
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	※25
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12
・アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※16
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9
・充填工法	-	-	-
・モルタル塗替え工法	-	-	-

アンカーピンの材質  
・ステンレス鋼(SUS304)呼び径 4mm の丸棒で全ネジ切り加工をしたもの。

注入口付アンカーピンの材質  
・ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径 6mm程度

充填工法  
・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル

モルタル塗替え工法  
・現場調査材料 (セメントは改修特記仕様書8-2コンクリート工事による)  
・既調査材料 (使用する(形状・図示))  
既製目地材 使用する(形状・図示)  
仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置  
※図示

(1.6.1.2)

調査範囲 ・外壁改修範囲 ・図示の範囲  
調査内容  
ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。  
モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。

既存部分の破壊を行った場合の補修方法 図示  
調査報告書の部数 2部

(4.1.4) (4.3.5.6.7.8)

樹脂注入工法

工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上 ~ 1.0未満	※200~300	※130
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上 ~ 0.3未満	・50~100	・40
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上 ~ 0.5未満 0.5以上 ~ 1.0未満	・100~200 ・150~250	・70 ・130

エポキシ樹脂 低粘度形 中粘度形  
注入状況の確認方法  
※コアの抜き取りを行う  
抜き取り個数  
※長さ500mごと及びその端数につき1個  
抜き取り部の補修方法 ※図示

・Uカットシール材充填工法  
・シーリング材 充填材料の種類  
※1成分又は2成分ポリウレタン系  
シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填  
・行う ・行わない  
・可とう性エポキシ樹脂

・シール工法  
・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂

・充填工法  
・エポキシ樹脂モルタル  
・ポリマーセメントモルタル

(4.1.4) [4.2.2] [4.3.7]

・欠損部改修工法

(3.8.2.3)

といその他の材質  
・配管用鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル ・ルーフトレン ・アルミ製

ルーフトレンの材質その他

種別	材質	張掛け幅
・ろく屋根用(縦型・横型)	・鋼鉄	・100mm以上 ・50mm以上
・バルコニー用	・	・100mm以上 ・50mm以上
・バルコニー中継用	・	・100mm以上 ・50mm以上

とい受金物  
材質 ・ ※溶融亜鉛めっきを行ったもの  
形状 ・ ※市販品(とい径100以下)  
※25×4.5以上(とい径100を超えるもの)

取付け間隔  
足金物  
材質 ・ ※溶融亜鉛めっきを行ったもの  
形状 ・ ※市販品  
取付け間隔

多雪地域の軒どい取付間隔 ・適用する ○適用しない

ロックウール保温筒及びビーズ法ポリエチレンフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量  
※規制対象外  
既存といその他の撤去及び降雨等に対する養生方法  
※図示  
鋼管製といの防露巻き  
・ ※改修標準仕様書表3.8.4による  
たてとい受金物の取付け 図示  
ルーフトレンの取付け  
・ ※水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する

(13.2.2.3)

施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ (mm)	屋根葺き形式	備考
・	・ ※JIS G 3322 の屋根用コイル	・	・	・心木なし瓦葺き ・立平葺 ・横葺 ・横葺	・

下葺材料 ・アスファルトルーフィング 940  
・改質アスファルトルーフィング下葺材(一般タイプ・複層基材タイプ・粘着層付タイプ)

工法  
建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法  
雪止め ・設置する(施工箇所・図示)

施工箇所	形式	山高、山ピッチによる区分		耐力による区分	材料による区分	厚さ (mm)	軒先 戸面板	耐火性能
		山高	山ピッチ					
・重ね形	・はせ締め形			( )種	・鋼板製 ・アルミニウム合金板製	・有り	・無し	・30分 ・無し
・かん合形				・	・	・	・	・

材料 板及びコイルの種類 (塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号)  
( )  
タイトフレーム にJIS G 3302以外の鋼材を直接外気の影響を受けない屋内で使用する場合の表面処理 (標準仕様書表14.2.2による ・E種 ・F種)

断熱材 ・有り (種別: 厚さ (mm): 防火性能: 時圏)  
・無し

工法  
建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1.0・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法  
折板のけらば納め ※けらば包みによる方法

※受注者及び施工業者と連名で、保証書を提出すること。  
・ガルバリウム等 保証期間 10年  
・折板 保証期間 10年  
・長尺カラー鉄板 保証期間 5年

(3.6.1~4)

工法	種別	施工箇所	仕上塗料		高日射 反射率 防水の 適用	備考
			種類	使用量		
・POX	・ ※X-1		・ 製造所の仕様による	・ 製造所の仕様による		脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
・L4X	・ ※X-2					脱気装置 ・ 設ける ○ 設けない

かぶせ方式  
エバーコートZero-1H ZHOR-300工法 同等品  
ウレタンゴム系塗膜防水X-1(絶縁工法)の脱気装置の種類及び設置数量  
種類  
※主材料の製造所の仕様による  
設置数量 個  
※主材料の製造所の仕様による

工法	種別	施工箇所	各工程数及び各工程の使用量	保護層
・P1Y	・ ※Y-2		※主材料の製造所の仕様による	・ 設ける ・ 設けない
・P2Y	・ ※Y-2			・ 設ける ・ 設けない

(3.7.2.3.7.8)

シーリング改修工法の種類  
○シーリング充填工法  
・シーリング再充填工法  
・拡幅シーリング再充填工法  
・ブリッジ工法  
ボンドブレイカー張り ・適用する ・適用しない  
エッジング材張り ・適用する ・適用しない

シーリング材の種類、施工箇所  
下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。

施工箇所	シーリング材の種類(記号)
ALC	MS-2
アルミニウム製建具等の工場シール	PS-2

シーリング材の目地寸法 ・ 図示  
※改修標準仕様書3.7.3(1a)(7)~(9)

シーリング材の接着性試験  
※簡易接着性試験 ・引張接着性試験

(3.9.2.3)

種類 ・オープン形式(押出250形 押出300形 押出350形)  
・板材折曲げ形(オープン形式 シール形式)  
本体幅 ( ) mm 板厚 ( ) mm ※2.0mm

表面処理 種別  
着色 ・標準色 ( ) ・特注色 ( )  
既存並木等の撤去 ・行う(範囲・図示) ・全て ( )  
・行わない

下地補修の工法 ※図示  
板材折曲げ形の並木の取付方法 ※図示  
並木の固定金具の工法等  
建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法

○ 塗膜防水

○ シーリング

・ アルミニウム 製並木

4章 外壁改修工事(共通事項)

4章 外壁改修工事(モルタル塗り仕上げ外壁改修)

4章 外壁改修工事(コンクリート打放し仕上げ外壁改修)

Table with 4 columns: 工法の種類, ひび割れ幅 (mm), 注入口間隔 (mm), 注入量 (mL/m²). Includes sections for 樹脂注入工法, エポキシ樹脂・低粘度形, and タイル部分張替え工法.

Table with 5 columns: 工法の種類, アンカーピンの本数, 注入口の箇所数, 注入量. Includes sections for アンカーピンニング and 浮き部改修工法.

Table with 2 columns: 目地改修工法, タイルの形状・寸法等. Includes sections for 目地改修工法 and タイルの形状・寸法等.

Table with 2 columns: 既存塗膜等の除去, 下地処理及び下地調整. Includes sections for 既存塗膜等の除去 and 下地処理及び下地調整.

Table with 6 columns: 注入口付アンカー, 注入口付アンカー, アンカーピンの材質, タイル部分張替え工法, タイル張替え工法, シーリング材の種類.

Table with 10 columns: 施工箇所, 形状寸法, 再生材料, 吸水率, うわぐすり, 役物, 色, 耐凍害性, 耐滑り性, 備考.

Table with 3 columns: 工法, 処理範囲, 下地面の補修. Includes sections for アンダー工法, 高圧水洗工法, and 洗剤工法.

Table with 2 columns: 下地調整材, 仕上塗材. Includes sections for 下地調整材 and 仕上塗材.

Table with 2 columns: 改修工法, 防火戸. Includes sections for 改修工法 and 防火戸.

Table with 2 columns: 下地調整塗材, 仕上塗材. Includes sections for 下地調整塗材 and 仕上塗材.

Table with 2 columns: 改修工法, 鋼製建具. Includes sections for 改修工法 and 鋼製建具.

Table with 2 columns: 見本の製作等, 鋼製建具. Includes sections for 見本の製作等 and 鋼製建具.

Table with 2 columns: 鋼製建具, 鋼製建具. Includes sections for 鋼製建具 and 鋼製建具.



Table with 2 columns: 代表, 管理建築士, 設計者, 検査者, 担当. Includes sections for 代表, 管理建築士, 設計者, 検査者, and 担当.

Table with 2 columns: 設計者, 検査者, 担当. Includes sections for 設計者, 検査者, and 担当.

Table with 2 columns: 検査者, 担当. Includes sections for 検査者 and 担当.

Table with 2 columns: 担当, 発行日, 図面名称, 改修特記仕様書(4), 縮尺, KA-004. Includes sections for 担当, 発行日, 図面名称, 改修特記仕様書(4), 縮尺, and KA-004.



エー・シー・エー・エー・エー

設計事務所

代表：株式会社エーシーエー設計

一級建築士事務所登録 (長野) M第 77312 号

管理棟士 一級建築士登録 第222107号 湯本桂司

設計者 一級建築士登録 第 307544 号 海瀬務

一級建築士登録 第 294614 号 矢崎和夫

検査者 湯本桂司

担当 浜大氣

担当

Job No. 24078

工事名 岡谷市川岸学園整備 第3期 (幼保連携型認定こども園建設) 建築主体工事

発行日 2026.03.31

図面名称

改修特記仕様書(5)

縮尺 二

KA-005

最終図 2026.03.31

6章 内装改修工事	<p>○改修範囲 (6.1.3)</p> <p>既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲</p> <p>○図示</p> <p>※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う</p> <p>天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲</p> <p>○図示</p> <p>※壁面より側面 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う</p> <p>既存天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修</p> <p>○図示 ※既存のまま</p>																																																																																																																																																																																								
<p>○既存床の撤去及び下地補修 (6.2.2)</p> <p>ビニル床シート等の撤去</p> <p>・下地モルタルとも (○図示の範囲 ・撤去範囲全て)</p> <p>※上材のみ(接着剤とも)</p> <p>合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法</p> <p>既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。</p> <p>改修後の床の清掃範囲 ○全て ※図示</p>	<p>○既存壁の撤去及び下地補修 (6.3.2)</p> <p>間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修</p> <p>・</p> <p>※改修標準仕様書4.4.9によるモルタル塗り (塗り厚 25mm を超える場合の処置 ※図示)</p>																																																																																																																																																																																								
<p>・木下地等の表面仕上げ</p>	<p>表面仕上げの種別 適用箇所</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="3">機械加工</td> <td>・A種</td> <td>樫、階段</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">手加工</td> <td>・H-A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・H-B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・H-C種</td> <td></td> </tr> </table>	機械加工	・A種	樫、階段	・B種		・C種		手加工	・H-A種		・H-B種		・H-C種																																																																																																																																																																											
機械加工	・A種		樫、階段																																																																																																																																																																																						
	・B種																																																																																																																																																																																								
	・C種																																																																																																																																																																																								
手加工	・H-A種																																																																																																																																																																																								
	・H-B種																																																																																																																																																																																								
	・H-C種																																																																																																																																																																																								
<p>○製材 ㊦ (6.5.2)</p> <p>・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>置換材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般部</td> <td>杉</td> <td>図示</td> <td>※2級</td> <td></td> <td>・B種</td> <td>※A種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td></td> <td>・B種</td> <td>※A種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td></td> <td>・B種</td> <td>※A種</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>置換材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>見え掛り面</td> <td>杉</td> <td>図示</td> <td>※上小節</td> <td></td> <td>・B種</td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※A種</td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>見え掛り面以外</td> <td>杉</td> <td>図示</td> <td>※上小節</td> <td></td> <td>・B種</td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※A種</td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・B種</td> <td>※A種</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>置換材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般部</td> <td>ナラ</td> <td>図示</td> <td>※1等</td> <td></td> <td>・A種・B種</td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※10%以下</td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・A種・B種</td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※10%以下</td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・A種・B種</td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※10%以下</td> <td></td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「製材の日本農林規格」以外の製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>材面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>含水率</th> <th>置換材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>( )</td> <td>・適用する</td> <td>・B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>造作材の場合 (※A種・B種)</td> <td>・適用しない</td> <td>※A種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>( )</td> <td>・適用する</td> <td>・B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>造作材の場合 (※A種・B種)</td> <td>・適用しない</td> <td>※A種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>( )</td> <td>・適用する</td> <td>・B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>造作材の場合 (※A種・B種)</td> <td>・適用しない</td> <td>※A種</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理	置換材等の適用	一般部	杉	図示	※2級		・B種	※A種	・				※2級		・B種	※A種	・				※2級		・B種	※A種	・	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理	置換材等の適用	見え掛り面	杉	図示	※上小節		・B種		・						※A種		・	見え掛り面以外	杉	図示	※上小節		・B種		・						※A種		・						・B種	※A種	・	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理	置換材等の適用	一般部	ナラ	図示	※1等		・A種・B種		・						※10%以下		・						・A種・B種		・						※10%以下		・						・A種・B種		・						※10%以下		・	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	含水率	置換材等の適用				( )	・適用する	・B種	・				造作材の場合 (※A種・B種)	・適用しない	※A種	・				( )	・適用する	・B種	・				造作材の場合 (※A種・B種)	・適用しない	※A種	・				( )	・適用する	・B種	・				造作材の場合 (※A種・B種)	・適用しない	※A種	・
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理	置換材等の適用																																																																																																																																																																																		
一般部	杉	図示	※2級		・B種	※A種	・																																																																																																																																																																																		
			※2級		・B種	※A種	・																																																																																																																																																																																		
			※2級		・B種	※A種	・																																																																																																																																																																																		
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理	置換材等の適用																																																																																																																																																																																		
見え掛り面	杉	図示	※上小節		・B種		・																																																																																																																																																																																		
					※A種		・																																																																																																																																																																																		
見え掛り面以外	杉	図示	※上小節		・B種		・																																																																																																																																																																																		
					※A種		・																																																																																																																																																																																		
					・B種	※A種	・																																																																																																																																																																																		
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理	置換材等の適用																																																																																																																																																																																		
一般部	ナラ	図示	※1等		・A種・B種		・																																																																																																																																																																																		
					※10%以下		・																																																																																																																																																																																		
					・A種・B種		・																																																																																																																																																																																		
					※10%以下		・																																																																																																																																																																																		
					・A種・B種		・																																																																																																																																																																																		
					※10%以下		・																																																																																																																																																																																		
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	含水率	置換材等の適用																																																																																																																																																																																			
			( )	・適用する	・B種	・																																																																																																																																																																																			
			造作材の場合 (※A種・B種)	・適用しない	※A種	・																																																																																																																																																																																			
			( )	・適用する	・B種	・																																																																																																																																																																																			
			造作材の場合 (※A種・B種)	・適用しない	※A種	・																																																																																																																																																																																			
			( )	・適用する	・B種	・																																																																																																																																																																																			
			造作材の場合 (※A種・B種)	・適用しない	※A種	・																																																																																																																																																																																			

<p>○強化ガラス</p> <p>形状による種類及び材料板ガラスの種類による名称</p> <p>○建具表による</p> <p>破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類</p> <p>○I類 ・III類</p> <p>・熱線吸収板ガラス</p> <p>板ガラスによる種類及び厚さによる種類</p> <p>・建具表による</p> <p>性能による種類</p> <p>・1種 ・2種</p> <p>○複層ガラス</p> <p>材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ</p> <p>○建具表による</p> <p>断熱性による区分</p> <p>・T1 ・T2 ・T3 ・T4 T5 ・T6</p> <p>日射取得性、日射遮蔽性による区分</p> <p>○G ・S</p> <p>乾燥気体の種類</p> <p>○空気 ・アルゴン</p> <p>・熱線反射ガラス</p> <p>材料板ガラスの種類及び厚さによる種類</p> <p>・建具表による</p> <p>日射遮へい性による区分</p> <p>・1種 ・2種 ・3種</p> <p>耐久性による区分(日射熱遮蔽性による区分が2種の場合)</p> <p>・A種 ・B種</p> <p>映像調整 ・行わない ・行う</p> <p>○倍強度ガラス</p> <p>材料板ガラスの種類及び厚さによる種類</p> <p>・建具表による</p>	<p>ガラスの留め材及び溝の大きさ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建具の種類</th> <th>ガラス留め材</th> <th>ガラス溝の大きさ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>○シーリング材 ・ガasket ・グレイジング チャンネル形</td> <td>・図示 ※建具製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>鋼製及び鋼製軽量</td> <td>○シーリング材</td> <td>・図示 ※建具製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>・シーリング材</td> <td>・図示 ※建具製造所の仕様による</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5.14.5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">表面形状</th> <th rowspan="2">呼び寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">厚さ (mm)</th> <th colspan="2">目地幅 (mm)</th> <th rowspan="2">伸縮調整目地 (mm)</th> </tr> <tr> <th>平積み</th> <th>曲面積み</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">正方形</td> <td>・125x125</td> <td>80</td> <td>・15~25</td> <td>外側</td> <td rowspan="3">・図示 ※6m以下ごとに幅10~25</td> </tr> <tr> <td>・160x160</td> <td>・95・125</td> <td></td> <td>内側</td> </tr> <tr> <td>・200x200</td> <td>・95・125</td> <td></td> <td>・15以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">長方形</td> <td>・320x320</td> <td>95</td> <td>※8~15</td> <td>・6以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・250x125</td> <td>80</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・320x160</td> <td>95</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>壁用金属枠及び補強材・形状 ・図示</p> <p>力骨 材質 ・ ※ステンレス鋼 (SUS304)</p> <p>寸法 ・ ※径5.5mm</p> <p>形状 ・ ※はしご形状複筋及び単筋</p> <p>化粧目地モルタルの色 ( )</p> <p>金属製化粧カバー 材質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製</p> <p>寸法 ・ 図示</p> <p>形状 ・ 図示</p> <p>工法</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法</p> <p>目地部の横力骨の納まり</p> <p>※ガラスブロック製造所の仕様による ・ 図示</p>	建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)	アルミニウム製	○シーリング材 ・ガasket ・グレイジング チャンネル形	・図示 ※建具製造所の仕様による	鋼製及び鋼製軽量	○シーリング材	・図示 ※建具製造所の仕様による	ステンレス製	・シーリング材	・図示 ※建具製造所の仕様による	表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地幅 (mm)		伸縮調整目地 (mm)	平積み	曲面積み	正方形	・125x125	80	・15~25	外側	・図示 ※6m以下ごとに幅10~25	・160x160	・95・125		内側	・200x200	・95・125		・15以下	長方形	・320x320	95	※8~15	・6以上		・250x125	80					・320x160	95																									
建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)																																																																								
アルミニウム製	○シーリング材 ・ガasket ・グレイジング チャンネル形	・図示 ※建具製造所の仕様による																																																																								
鋼製及び鋼製軽量	○シーリング材	・図示 ※建具製造所の仕様による																																																																								
ステンレス製	・シーリング材	・図示 ※建具製造所の仕様による																																																																								
表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地幅 (mm)		伸縮調整目地 (mm)																																																																					
			平積み	曲面積み																																																																						
正方形	・125x125	80	・15~25	外側	・図示 ※6m以下ごとに幅10~25																																																																					
	・160x160	・95・125		内側																																																																						
	・200x200	・95・125		・15以下																																																																						
長方形	・320x320	95	※8~15	・6以上																																																																						
	・250x125	80																																																																								
	・320x160	95																																																																								
<p>○ガラスブロック (5.14.5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">表面形状</th> <th rowspan="2">呼び寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">厚さ (mm)</th> <th colspan="2">目地幅 (mm)</th> <th rowspan="2">伸縮調整目地 (mm)</th> </tr> <tr> <th>平積み</th> <th>曲面積み</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">正方形</td> <td>・125x125</td> <td>80</td> <td>・15~25</td> <td>外側</td> <td rowspan="3">・図示 ※6m以下ごとに幅10~25</td> </tr> <tr> <td>・160x160</td> <td>・95・125</td> <td></td> <td>内側</td> </tr> <tr> <td>・200x200</td> <td>・95・125</td> <td></td> <td>・15以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">長方形</td> <td>・320x320</td> <td>95</td> <td>※8~15</td> <td>・6以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・250x125</td> <td>80</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・320x160</td> <td>95</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>壁用金属枠及び補強材・形状 ・図示</p> <p>力骨 材質 ・ ※ステンレス鋼 (SUS304)</p> <p>寸法 ・ ※径5.5mm</p> <p>形状 ・ ※はしご形状複筋及び単筋</p> <p>化粧目地モルタルの色 ( )</p> <p>金属製化粧カバー 材質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製</p> <p>寸法 ・ 図示</p> <p>形状 ・ 図示</p> <p>工法</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法</p> <p>目地部の横力骨の納まり</p> <p>※ガラスブロック製造所の仕様による ・ 図示</p>	表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地幅 (mm)		伸縮調整目地 (mm)	平積み	曲面積み	正方形	・125x125	80	・15~25	外側	・図示 ※6m以下ごとに幅10~25	・160x160	・95・125		内側	・200x200	・95・125		・15以下	長方形	・320x320	95	※8~15	・6以上		・250x125	80					・320x160	95				<p>○ガラスフィルム (5.14.5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種類</th> <th colspan="2">記号</th> <th rowspan="2">その他の性能等</th> </tr> <tr> <th>内貼り用</th> <th>外貼り用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・日射調整フィルム ㊦</td> <td>・SC-1</td> <td>・SC-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・低放射フィルム</td> <td>・LE</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○衝撃破壊対応ガラス</td> <td>○G1-1</td> <td>・G1-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・飛散防止フィルム</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・層間変位破壊対応ガラス</td> <td>・GD-1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・飛散防止フィルム</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ガラス貫通防止フィルム</td> <td>・SF</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>品質 JIS A 5759による。</p>	種類	記号		その他の性能等	内貼り用	外貼り用	・日射調整フィルム ㊦	・SC-1	・SC-2		・低放射フィルム	・LE			○衝撃破壊対応ガラス	○G1-1	・G1-2		・飛散防止フィルム				・層間変位破壊対応ガラス	・GD-1			・飛散防止フィルム				・ガラス貫通防止フィルム	・SF		
表面形状				呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)		目地幅 (mm)			伸縮調整目地 (mm)																																																																
	平積み	曲面積み																																																																								
正方形	・125x125	80	・15~25	外側	・図示 ※6m以下ごとに幅10~25																																																																					
	・160x160	・95・125		内側																																																																						
	・200x200	・95・125		・15以下																																																																						
長方形	・320x320	95	※8~15	・6以上																																																																						
	・250x125	80																																																																								
	・320x160	95																																																																								
種類	記号		その他の性能等																																																																							
	内貼り用	外貼り用																																																																								
・日射調整フィルム ㊦	・SC-1	・SC-2																																																																								
・低放射フィルム	・LE																																																																									
○衝撃破壊対応ガラス	○G1-1	・G1-2																																																																								
・飛散防止フィルム																																																																										
・層間変位破壊対応ガラス	・GD-1																																																																									
・飛散防止フィルム																																																																										
・ガラス貫通防止フィルム	・SF																																																																									

<p>性能値等 ※改修標準仕様書表5.10.1による</p> <p>・手動開き力 ( )</p> <p>・手動閉じ力 ( )</p> <p>・閉じ速度の調整 ( )</p> <p>・制動区間 ( )</p> <p>・閉閉繰返し ( )</p> <p>・耐衝撃性 ( )</p> <p>※標準仕様書表5.9.1による</p> <p>(5.10.3)</p> <p>(5.11.2.3)</p> <p>シャッターの種類</p> <p>・管理用シャッター 耐風圧強度 ( ) N/m<sup>2</sup></p> <p>・外壁用防火シャッター 耐風圧強度 ( ) N/m<sup>2</sup></p> <p>・屋内用防火シャッター</p> <p>・防煙シャッター</p> <p>開閉方式の種類</p> <p>・上部手動式 ※上部電動式(手動併用)</p> <p>二重チェーン、急降下制動装置、急降下停止装置を設けた電動シャッターの設置箇所</p> <p>・図示</p> <p>障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所</p> <p>・図示</p> <p>屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構</p> <p>・設ける (設置箇所 ・ 図示 ・ )</p> <p>「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」(昭和48年12月28日 建設省告示2563号)に定める基準に適合するもの</p> <p>・可動座板式</p> <p>※障害物感知装置(自動閉鎖型)</p> <p>・設けない</p> <p>管理用シャッターのシャッターケース</p> <p>・設ける ・ 設けない</p> <p>スラット及びシャッターケース用鋼板</p> <p>鋼板の種類</p> <p>・JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板)</p> <p>・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板)</p> <p>めっきの付着量 ・ ※Z12又はF12</p> <p>ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質</p> <p>ステンレス鋼板 ・</p> <p>※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</p>	<p>(5.12.2~4)</p> <p>開閉方式の種類 ○上部電動式(手動併用) ※手動式</p> <p>耐風圧強度 ( ) N/m<sup>2</sup></p> <p>障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所</p> <p>・図示 ○全て</p> <p>スラットの材質</p> <p>・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板)</p> <p>めっきの付着量 ( ) ※Z06又はF06</p> <p>・JIS G 3322(塗装溶融55%ZnNiメー亜鉛合金めっき鋼板)</p> <p>めっきの付着量 ( ) ※AZ90</p> <p>スラットの形状</p> <p>・インターロッキング形</p> <p>・オーバーラッピング形</p> <p>○グリル</p>																									
<p>(5.13.2.3)</p> <p>オーバーヘッドドア</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>セクション材料による区分</th> <th>耐風圧性能の区分(Pa)</th> <th>開閉方式による区分</th> <th>収納形式による区分</th> <th>ガイドレールの材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・アルミニウムタイプ</td> <td>・125(1250)</td> <td>・チェーン式</td> <td>・スタンダード形</td> <td>・ステンレス鋼板</td> </tr> <tr> <td>・ファイバーグラスタイプ</td> <td>・100(1000)</td> <td>・電動式</td> <td>・ローヘッド形</td> <td>( )</td> </tr> <tr> <td>・スチールタイプ</td> <td>・75(750)</td> <td>※バランス式</td> <td>・ハイリフト形</td> <td>※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・50(500)</td> <td></td> <td>・パーチカル形</td> <td>※溶融亜鉛めっき鋼板</td> </tr> </tbody> </table> <p>障害物感知装置を設けた電動タイプの設置箇所</p> <p>・図示</p>	セクション材料による区分	耐風圧性能の区分(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質	・アルミニウムタイプ	・125(1250)	・チェーン式	・スタンダード形	・ステンレス鋼板	・ファイバーグラスタイプ	・100(1000)	・電動式	・ローヘッド形	( )	・スチールタイプ	・75(750)	※バランス式	・ハイリフト形	※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1		・50(500)		・パーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板	<p>○ガラス (3.7) (5.14.2~4)</p> <p>○フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類</p> <p>○建具表による</p> <p>○型板ガラスの厚さによる種類</p> <p>○建具表による</p> <p>○網入り板ガラス及び線入り板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類</p> <p>○建具表による</p> <p>・合わせガラス</p> <p>材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びにガラスの合計厚さによる種類</p> <p>・建具表による</p> <p>形状による種類</p> <p>・平面合わせガラス ・曲面合わせガラス</p> <p>落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類</p> <p>・I類 ・II類-1 ・II類-2 ・III類</p>
セクション材料による区分	耐風圧性能の区分(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質																						
・アルミニウムタイプ	・125(1250)	・チェーン式	・スタンダード形	・ステンレス鋼板																						
・ファイバーグラスタイプ	・100(1000)	・電動式	・ローヘッド形	( )																						
・スチールタイプ	・75(750)	※バランス式	・ハイリフト形	※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1																						
	・50(500)		・パーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板																						

<p>鋼製軽量建具 (5.2.2) (5.5.2~4)</p> <p>性能等級</p> <p>簡易気密型ドアセット ・適用する ・適用しない</p> <p>防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 (・建具表による)</p> <p>断熱ドア・断熱サッシ ㊦ 断熱性の等級 ( )</p> <p>耐震ドア 面内変形追従性の等級 ( )</p> <p>鋼板の種類</p> <p>・亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板</p> <p>・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板</p> <p>鋼板の厚さ ・ mm ※改修標準仕様書表5.5.1による</p> <p>ステンレス鋼板 ・</p> <p>※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</p> <p>召合せ、縦小口包み板の材質</p> <p>・ステンレス鋼板 ・アルミニウム合金の押出成形材</p> <p>※鋼板</p>	<p>自閉式上吊り引戸装置 (5.10.3)</p>
<p>ステンレス製建具 (5.2.2) (5.4.2) (5.6.2~5)</p> <p>性能等級</p> <p>簡易気密型ドアセット ・適用する ・適用しない</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性</p> <p>・S-4 ・S-5 ・S-6</p> <p>防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 ( )</p> <p>断熱ドア・断熱サッシ ㊦ 断熱性の等級 ( )</p> <p>耐震ドア 面内変形追従性の等級 ( )</p> <p>ステンレス鋼板 ・</p> <p>※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</p> <p>表面仕上げ ・鏡面仕上げ ・ ※HL</p> <p>ステンレス鋼板の曲げ加工 ・角出し曲げ ※普通曲げ</p>	<p>重量シャッター (5.11.2.3)</p>
<p>○建具用金物 (5.8.1~3)</p> <p>金物の種類及び見え掛り部の材質等</p> <p>※改修標準仕様書表5.7.1により適用は建具表による。</p> <p>金属製建具用丁番の枚数及び大きさ</p> <p>・建具表による ※改修標準仕様書表5.7.2による</p> <p>樹脂製建具用丁番の枚数及び大きさ</p> <p>・建具表による ※改修標準仕様書表5.7.3による</p> <p>握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置</p> <p>○建具表による</p>	<p>軽量シャッター (5.12.2~4)</p>
<p>○鍵 (5.8.4)</p> <p>マスターキー ○製作する ・製作しない</p> <p>・既存のマスターキーに合わせる</p> <p>その他の鍵の製作本数 ・ ※各室3本1組</p> <p>鍵箱 ○有 ・無</p>	<p>○ガラス (3.7) (5.14.2~4)</p>
<p>自動ドア開閉装置 (5.9.2.3)</p> <p>・引き戸用駆動装置</p> <p>性能値</p> <p>・種類・開閉方式 ( )</p> <p>・耐電圧 ( )</p> <p>・温度上昇 ( )</p> <p>・耐久性(サイクル) ( )</p> <p>・防錆 ( )</p> <p>・電源 ( )</p> <p>※改修標準仕様書表5.8.1による</p> <p>・多機能トイレ出入口引き戸用駆動装置</p> <p>性能値</p> <p>・耐電圧 ( )</p> <p>・温度上昇 ( )</p> <p>・耐久性(サイクル) ( )</p> <p>・防錆 ( )</p> <p>・電源 ( )</p> <p>※改修標準仕様書表5.8.2による</p> <p>・引き戸用検出装</p> <p>性能値</p> <p>・放射無線周波数電磁界耐性 ( )</p> <p>・耐電圧 ( )</p> <p>・防錆 ( )</p> <p>・防滴 ( )</p> <p>・電源 ( )</p> <p>※改修標準仕様書表5.8.3による</p> <p>戸の開閉方式 ・建具表による</p> <p>引き戸検出装の種類 改修標準仕様書表5.9.4による</p> <p>・建具表による</p> <p>凍結防止措置</p> <p>・適用する ・適用しない</p>	<p>○ガラスフィルム (5.14.5)</p>



エーシーエー・サイト

設計事務所

代表：株式会社エーシーエー設計

一級建築士事務所登録

(長野) M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録

第222107号 湯本桂司

設計者

一級建築士登録

第307544号 海瀬務

一級建築士登録

第294614号 矢崎和夫

検査者

湯本桂司

担当

浜大氣

担当

Job No.

24078

工事名

岡谷市川岸学園整備 第3期

(幼保連携型認定こども園建設)

建築主体工事

発行日

2026.03.31

図面名称

改修特記仕様書(6)

縮尺

二

KA-006

最終図

2026.03.31

・特殊機能床材

- ・帯電防止床シート
  - 種類 ( )
  - 性能 ( )
  - 厚さ ( mm)
- ・帯電防止床タイル
  - 種類 ( )
  - 性能 ( )
  - 寸法 厚さ ( × mm)
- ・視覚障害者用の床タイル
  - 種類 ( )
  - 形状 ( )
  - 突起の形状、寸法及びその配列はJIS T 9521による
- ・耐動荷重性床シート
  - 種類 ( )
  - 厚さ ( mm)
- ・防滑性床シート
  - 種類 ( 図示 )
  - 厚さ ( 図示 mm)
- ・防滑性床タイル
  - 種類 ( )
  - 寸法 厚さ ( × mm)

○ビニル幅木

材質の種類 ○軟質 ・硬質  
 高さ (mm) ・75 ・100 ＊60  
 厚さ (mm) ・ ＊1.5以上

・ゴム床タイル

種類 ・単層品 ・積層品  
 色柄 ( )  
 厚さ (mm) ・ 3.0 ・ 4.5 ・ 6.0 ・ 9.0  
 寸法 (mm) ( )

・カーベットの敷き

敷き (6.9.2.3) (表6.9.1)

敷き方	バイル形状
・ ウィルトンカーベットのダブルフェースカーベットのアクセスミスターカーベットの	・ カットバイル ・ ループバイル ・ カットノループ併用

色柄 ( ・ ＊模様の無い無地)  
 バイル系の種類等  
 ・ ＊無地の織じゅうたんの種別 ( ・ A種 ・ B種 ・ C種 )  
 帯電性 ・適用する ・適用しない  
 織じゅうたんの接合方法  
 ・ ＊ヒートボンド工法

下敷き材

- ・ ＊反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm

・タフテッドカーベットの

バイルの形状	バイル長さ (mm)	工法	帯電性	備考
・カットバイル	・5~7	・全面接着工法	・適用する	
・ループバイル	・4~6	・グリッパー工法	・適用しない	
・カット、ループ併用		・グリッパー工法		

下敷き材 (グリッパー工法の場合)  
 ・ ＊反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm

・ニードルパンチカーベットの  
 厚さ (mm) ( )  
 帯電性 ・適用する ・適用しない  
 備考 ( )

・タイルカーベットの

バイルの形状	種別	施工箇所	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	備考
＊ループバイル	＊第二種 ＊第一種	図示	＊500×500	＊6.5	
・カットバイル	・第一種 ・第二種		＊500×500	＊6.5	
・カット、ループ併用	・第一種 ・第二種		＊500×500	＊6.5	

タイルカーベットの敷き方  
 平場 ・横縁流し ・ ＊市松敷き  
 階段部分 ・市松敷き ・ ＊横縁流し  
 見切り、押え金物 ( )  
 材質 ( )  
 種類 ( )  
 形状等 ・ ＊図示

(6.5.3.4)

接着剤は可塑性 (難揮発性の可塑性を除く) が添付されていないものとする。  
 ホルムアルデヒド放散量  
 ・ ＊規制対象外  
 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種別  
 ・ 図示

(6.5.5)

防腐・防蟻処理を省略できる樹種による製材  
 適用部位： ( )  
 ・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部材	保存処理性能区分
	・ K2 ・ K3 ・ K4
	・ K2 ・ K3 ・ K4
	・ K2 ・ K3 ・ K4

(6.5.2)

ホルムアルデヒド放散量  
 ・ ＊規制対象外

・普通合板

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	覆役材等の適用
図示	・ 5.5		・ 2類 ＊1類	・ 広葉樹 ・ 1等 ＊2等以上 針葉樹 ＊C-D以上	・ 適用する ・ 適用しない	・

(6.6.2~4)

野縁等の種類 屋外 ・19形 ＊25形  
 屋内 ・25形 ＊19形  
 ・屋外の軒天井、ピロティ天井等  
 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の ( ・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法  
 野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔  
 ・ 図示  
 周辺部の隙からの間隔 ・ 図示  
 野縁の間隔 ・ 図示  
 既存の埋込みインサート ・使用する ・使用しない  
 あと施工アンカーの確認試験  
 ○行う (試験箇所数 ・ 箇所  
 ・ ＊屋内の場合、当該階において3箇所)  
 (確認強度 ・ N  
 ・ ＊吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/m<sup>2</sup>以内の天井の場合は400N程度)

(6.7.3.4) (表6.7.1)

スタッド、ランナーの種類  
 ・ ＊改修標準仕様書表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類  
 スタッドの高さが5.0mを超える場合 ・ ＊図示  
 出入口及びこれに準じる開口部の補強  
 ・ ＊標準仕様書6.7.4(5)による

(6.8.2.3)

種類の記号	色柄	厚さ (mm)	備考
・ FS	・ 無地 ○ノーフ ・ 柄物	・ 2.0	

目地処理する場合の工法 ・ ＊溶接工法

(6.8.2)

種類の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考
・ TT	・ 無地	・ 300×300	・ 2.0	
・ FT	・ 柄物	・ 450×450	・ 2.5	
＊KT		・ 600×600	・ 3.0	
・ FOA				
・ FOB				

○接着剤

・防腐・防蟻処理

○軽量鉄骨天井下地

○軽量鉄骨壁下地

・ビニル床シート

・ビニル床タイル

・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材

施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	含水率	防虫処理	覆役材等の適用
		・ 有 (加工： ・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工) ・ 無 ( )	・ ＊14%以下	・ 適用する ・ 適用しない	・
		・ 有 (加工： ・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工) ・ 無 ( )	・ ＊14%以下	・ 適用する ・ 適用しない	・

・CLT (直交集成材)

施工箇所	品名	曲げ性能 (強度等級)	種別	接着性能 (使用環境)	樹種	寸法 (mm)	覆役材等の適用

(6.5.2)

ホルムアルデヒド放散量  
 ・ ＊規制対象外

・普通合板

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	覆役材等の適用
図示	・ 5.5		・ 2類 ＊1類	・ 広葉樹 ・ 1等 ＊2等以上 針葉樹 ＊C-D以上	・ 適用する ・ 適用しない	・

・構造用合板

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	防虫処理	強度等級	覆役材等の適用
2重床小上り	・ 1級 ・ 2級 以上		・ 特類 ＊1類	・ ＊C-D以上	・ ＊12	・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ( ) ・ 適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	覆役材等の適用
			・ 1類 ・ 特類		・

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理の適用
			・ 1類 ・ 2類	・ 適用する ( )

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理の適用
		・ 1類 ・ 2類			・ 適用する ( )

・パーティクルボード

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)
		・ ＊13タイプ	・ ＊P又はM		・ ＊15

・構造用パネル

施工箇所	等級	厚さ (mm)
	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 ・ 4級	
	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 ・ 4級	

・MDF

施工箇所	厚さ (mm)	表裏上の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	覆役材等の適用
						・

・床張り用合板等

造作用集成材 (6.5.2)

ホルムアルデヒド放散量  
 ・ ＊規制対象外

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	覆役材等の適用
板、階段	ナラ	図示	図示	・ 2等 ＊1等 ・ 2等 ＊1等 ・ 2等 ＊1等	・ ・ ・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	覆役材等の適用
化粧薄板： 芯材：					・ 2等 ＊1等	・
化粧薄板： 芯材：					・ 2等 ＊1等	・
化粧薄板： 芯材：					・ 2等 ＊1等	・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	覆役材等の適用
化粧薄板： 芯材：					・ ＊15%以下	・
化粧薄板： 芯材：					・ ＊15%以下	・
化粧薄板： 芯材：					・ ＊15%以下	・

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率	覆役材等の適用
				・ ＊15%以下	・
				・ ＊15%以下	・
				・ ＊15%以下	・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	覆役材等の適用
化粧薄板： 芯材：					・ ＊15%以下	・
化粧薄板： 芯材：					・ ＊15%以下	・
化粧薄板： 芯材：					・ ＊15%以下	・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	覆役材等の適用
化粧薄板： 芯材：					・ ＊15%以下	・
化粧薄板： 芯材：					・ ＊15%以下	・
化粧薄板： 芯材：					・ ＊15%以下	・

造作用単板積層材 (6.5.2)

ホルムアルデヒド放散量  
 ・ ＊規制対象外

・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	防虫処理	覆役材等の適用
		・ 有 (加工： ・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工) ・ 無 (等級： )	・ 適用する ・ 適用しない	・
		・ 有 (加工： ・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工) ・ 無 (等級： )	・ 適用する ・ 適用しない	・



エーシーエー・サイト

設計事務所

代表：株式会社エーシーエー設計

一級建築士事務所登録

(長野) M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録

第222107号 湯本桂司

設計者

一級建築士登録

第307544号 海瀬務

一級建築士登録

第294614号 矢崎和夫

検査者

湯本桂司

担当

浜大氣

担当

Job No. 24078

工事名

岡谷市川岸学園整備 第3期

(幼保連携型認定こども園建設)

建築主体工事

発行日 2026.03.31

図面名称

改修特記仕様書(7)

縮尺 二

KA-007

最終図

2026.03.31

Copyright (C)株式会社エーシーエー設計 著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁止する。

下地面の種類	下地調整の種類		ひび割れ部の補修
	塗替え	新規	
木部	※RB種	RA種・RB種	-
鉄鋼面	※RB種	RA種	-
垂鉛めつき鋼面	※RB種	RA種	-
垂鉛めつき鋼面(鋼製建具等)	※RB種	RC種	-
モルタル面	※RB種	RA種・RB種	○行う
プラスター面	※RB種	RA種	○行わない
コンクリート面(DP以外)	※RB種	RA種	○行う
ALCパネル面	※RB種	RC種	○行わない
押出成形セメント板面	RA種・RB種	RA種・RB種	○行う
コンクリート面(DP)	○RB種・RC種	RA種	○行う
せつこうボード面及び その他ボード面	※RB種	RA種・RB種	-

(6, 10, 2, 3)

塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外

下地調整 (7, 4, 2, 3)

下地面の種類	塗替え	新規	下地調整の種類		ひび割れ部の補修
			塗替え	新規	
鉄鋼面	EP-G 以外	塗替え 新規見え隠れ	A種	※C種	-
			A種	※A種	-
垂鉛めつき鋼面	EP-G 以外	塗替え 新規見え隠れ	A種	※C種	-
			A種	※A種	-
コンクリート面(DP)	○RB種・RC種	RA種	RA種	○行う	-
			RA種	○行わない	-

せつこうボード面及びその他ボード面

塗装 (7, 5, 2~7, 12, 2)

塗装の種類	塗装面	工程	
		塗替え	新規
○合成樹脂塗合 ペイント塗り (SOP)	木部屋外	※B種	※A種
	木部屋内	※B種	※B種
塗料の種類 ※1種・2種	鉄鋼面	※B種	※B種
	垂鉛めつき鋼面(鋼製建具)	※A種	※B種
・クリヤラッカー塗り(CL)		※A種	※B種
・フタル酸樹脂エナメル塗り(FE)		-	-
○アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)		※A種	※B種
○耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面		A種
	垂鉛めつき鋼面		A種
・つや有合成樹脂 エマルジョンペ イント塗り (EP-G)	上塗り等級(1)級		A種
	コンクリート面及び 押出成形セメント板面		※A-1種 ※B-1種 ※C-1種
○合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)	コンクリート面等	※B種	※A種・B種
	屋内の木部	※B種	※A種
・合成樹脂エマルジョン エマルジョンペ イント塗り (EP-T)	屋内の鉄鋼面	※B種	※A種・B種
	屋内の垂鉛めつき鋼面	※B種	※A種・B種
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※A種	※B種
	※A種	※B種	※A種
・オイルステイン塗り(OS)		-	-
	塗料(油性・水性)		-
・木材保護塗料塗り(WP)		※A種	※B種

つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せつこうボード面、その他ボード面)の塗替えの場合のみ止め

改修標準仕様書表7, 9, 1の工程1の下塗りをし止めシラーとする

改修標準仕様書表7, 10, 1の工程1の下塗りをし止めシラーとする

合樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のみ止め

改修標準仕様書表7, 10, 1の工程1の下塗りをし止めシラーとする

防水剤 (品質・性能) JIS A 1404「建築用セメント防水剤の試験方法」による

項目	品質・性能
防水剤の種類	建築用のモルタルに用いるセメント防水剤
混合割合	セメント重量の5%以下
凝結及び安定性	(凝結時間) 始発: 1時間以上 終結: 10時間以内 (安定性) 収縮性、膨張性のひび割れ及びその有無について確認する。
曲げ及び圧縮強度比	防水剤を混入したもの、しないものの曲げ強度比及び圧縮強度比 70%以上
吸水比	防水剤を混入したもの、しないものの吸水比 95%以下
透水比	防水剤を混入したもの、しないものの透水比 80%以下 ただし、透水試験における水圧は、3.0×10 <sup>5</sup> Paとし1時間行う

壁面の仕上げ厚又は塗り厚が25mmを超える場合の下地処理

伸縮調整目地の位置 床タイル(・図示) ※縦、横とも4m以内ごと

伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改修特記仕様書第3章による

タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑り性	備考
図示	図示	○	Ⅰ	○	有	無	有	有	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ○行う ○行わない

既調合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。

項目	品質・性能
保水率	70.0%以上
単位容積質量	1.8kg/L以上
接着強さ	標準時 0.6N/mm <sup>2</sup> 以上 温冷練り返し後 0.4N/mm <sup>2</sup> 以上
長さ変化率	0.2%以下
曲げ強さ	4.0N/mm <sup>2</sup> 以上

種類及び品質 標準塗厚(mm) ・せつこう系 ・セメント系

7章 塗装改修工事 (7, 1, 3)

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外

防水剤 (品質・性能) JIS A 1404「建築用セメント防水剤の試験方法」による

塗替えRB種の場合の既存塗膜の除去範囲

既存錆止め塗料の鉛含有調査

・普通合板 G	表面の樹種 生地、透明塗料塗り (・ ※ラワン程度) 不透明塗料塗り (・ ※しな程度) 板面の品質( ) 厚さ(mm)( 12 ) 接着の程度( ○1類・2類 ) ・防虫処理
・天然木化粧合板 G	化粧板の樹種名( ) 接着の程度( ・1類・2類 ) 厚さ(mm)( ) ・防虫処理
・特殊加工化粧合板 G	特殊加工の方法 (・オーバーレイ ・プリント・塗装) 表面性能( )タイプ 接着の程度( ・1類・2類 ) 厚さ(mm)( ) ・防虫処理
・メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による 厚さ(・ ※1,2)
・ポリエステル樹脂化粧板	
・ミディアムデンシティファイバーボード G	MDF ・3 ・7 ・9 ・12 ・
・単板張り	・無研磨板 ・研磨板 ・10 ・12 ・15 ・18 ・
・化粧パーティクルボード G	・単板オーバーレイ ・塗装 ・プラスチックオーバーレイ ・10(難燃)・12(難燃)・
・ハードボード(業地) G	HB ・無研磨板 (・スタンダード・テンパード) ・研磨板 (・スタンダード・テンパード)
・ハードボード(化粧) G	・内装用・外装用 ・2.5 ・3.5 ・5 ・7
・インシュレーションボード G	IB A級(・天井上げ ・内装仕上げ ) ・9 ・12 ・15 ・18

せつこうボード等の下地 ※図示

遮音シール材 ○適用する(○シーリング材・ジョイントコンパウンド)

合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外

接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外

合板類の張付け ・A種 ※B種

せつこうボードの目地工法 ・仕上げ表による

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外

施工箇所	壁紙の種類				防火性能	備考
	紙	繊維	無繊維	その他		
図示	・	・	・	・	・準不燃・難燃 ※不燃	
	・	・	・	・	・準不燃・難燃 ※不燃	
	・	・	・	・	・準不燃・難燃 ※不燃	
	・	・	・	・	・準不燃・難燃 ※不燃	

モルタル・プラスター面の下地調整の種類

コンクリート面の下地調整の種類

せつこうボード面の下地調整の種類

モルタル ○現場調査材料 (セメントは改修特記仕様書8-2 コンクリート工事による)

既製目地材 ○設ける 施工箇所( )形状(・ ※図示)

床目地 ○設ける(工法:・ ※押し目地)

設けない

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床材			・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ ※平滑仕上げ
・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床材		・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂モルタル工法	・平滑仕上げ ・防汚仕上げ
・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ

塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外

フロアリング張り G (6, 11, 2~6)

単層フロアリング(フロアリングボード1等) 工法

樹種 ※なら

単層フロアリング(フロアリングブロック1等) 樹種

複合フロアリング 工法 ○釘留め工法(・根太張り ○直張り)

樹種 ※なら

フロアリング及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外

現場塗装仕上げ

量表及び量床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びビスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (6, 12, 2)

下地の種類

量表及び量床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びビスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

せつこうボードその他ボード及び合板張り (6, 13, 2, 3)

種類	JISの記号	厚さ(mm)、規格等
・硬質木毛セメント板	G HW	・15 ・20 ・25 ・
・中質木毛セメント板	G MW	・15 ・20 ・25 ・
・普通木毛セメント板	G NW	
・硬質木片セメント板	G HF	・15 ・20 ・25 ・
・普通木片セメント板	G NF	・12 ・15 ・18 ・21
○不燃酸カルシウム板	G 0.8 FK 1.0 FK	・30 ・ タイプ2(無石棉) ○6 ○8

ロックウール化粧吸音板 DR

ロックウール吸音ボード1号

グラスウール吸音ボード 32K

せつこうボード GB-R

不燃積層せつこうボード GB-NC

シーリングせつこうボード GB-S

強化せつこうボード GB-F

せつこうラスボード GB-L

化粧せつこうボード(木目) GB-D

化粧せつこうボード(トラバーチン模様) GB-D

合成樹脂塗床

フロアリング張り G

複合フロアリング

量敷き

せつこうボードその他ボード及び合板張り

壁紙張り

モルタル塗り

材料

下地調整

7章 塗装改修工事

タイル張り

セルフレベリング材塗り

材料

下地調整

7章 塗装改修工事

材料

下地調整

7章 塗装改修工事

材料

下地調整

7章 塗装改修工事

材料

下地調整

7章 塗装改修工事

材料

下地調整

7章 塗装改修工事

材料

下地調整

7章 塗装改修工事



エーシーエー・サイト  
設計事務所

代表：株式会社エーシーエー設計  
一級建築士事務所登録  
(長野) M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録  
第222107号 湯本桂司

設計者  
一級建築士登録  
第307544号 海瀬秀  
一級建築士登録  
第294614号 矢崎和夫

検査者 湯本桂司

担当 浜大氣

担当

Job No. 24078  
工事名

岡谷市川岸学園整備 第3期  
(幼保連携型認定こども園建設)  
建築主体工事

発行日 2026.03.31  
図面名称

改修特記仕様書(8)

縮尺 二

最終図  
2026.03.31

KA-008

鏡 (20, 2, 9)  
取付箇所 ( )  
寸法(mm) ( )  
厚さ(mm) \* 5

表示 (20, 2, 10)  
衝突防止表示  
形状・寸法 ( )  
材質 ( )

案内用図記号は JIS Z 8210 による。  
誘導標識、非常用進入口等の表示  
適用する ( \* 消防法に適合する市販品 )  
色、書体、印刷等の種別、取付け形式等は図示による。  
その他の表示 \* 図字

操作方式 ・スプリング式 ・コード式 ・電動式  
幅・高さ ・図示  
材種 ・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製  
品質等 ・  
その他の材料 ・  
\* ロールスクリーンの製造所の仕様による (20, 2, 14)

カーテン (20, 2, 14)  
材料による区分 ・ステンレス製  
\* アルミニウム又はアルミニウム合金の  
押し成型材  
強さによる区分 ・ \* 10-90  
仕上げ ・ \* アルマイト  
形状 ・ \* 角形  
溝幅×深さ (mm) ・ 90×150 ・ 120×80 ・ 120×150  
・ 150×80 ( )  
材質 ( )  
\* 集成材 (仕上げ: WP )  
\* アルミニウム製 押し型材 (市販品)  
種別 (標準仕様書表 14.2.1)  
・ BC-1 ・ BC-2  
色合い ・ 標準色 ( ) ・ 特注色 ( )  
\* 鋼製 (仕上げ: A-BE )

天井点検口 (20, 2, 5)  
材質 ( )  
品質・性能は標準仕様書による

床点検口  
材質 ( )  
品質・性能は標準仕様書による

流し台ユニット  
材質 ( )  
寸法 (mm)  
備考

形状 ( )  
\* 図示

施工調査 [9, 1, 1, 3~6]  
\* 石綿含有建材の事前調査  
工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によ  
って石綿を含有している吹き付け材、成形板、  
建築材料等の使用の有無について調査する。  
調査範囲 ( )  
貸与資料 ( 調査、分析資料一式 )

分析による石綿含有建材の調査  
分析対象  
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、  
クリソタイル、クロソドライト、トレモライト  
分析方法

Table with columns: 材料名, 定性分析方法, 定量分析方法. Includes rows for 改修範囲の建材 and サンプル数.

Table with columns: 適用, 測定名称, 測定時期, 測定場所, 測定箇所数. Includes rows for 測定1 through 測定9.

Table with columns: 施工箇所, 構造, 寸法, 高さ, 耐震性能, 所定荷重, 表面仕上材, 備考. Includes rows for 図示 and 測定.

Table with columns: 表面材の材料, 形状, ドアエッジ, 材質. Includes rows for 図示 and 測定.

Table with columns: 項目, 品質・性能. Includes rows for 表面材, 裏打ち材, 心材, 粒材, モZZ材, 小口.

Table with columns: 材質, 表面仕上げ, 直径, 取付箇所, 備考. Includes rows for 集成材 and ビニル製ハンドレール.

手すり (20, 2, 2)  
材質 ( )  
品質・性能 ( )  
取付箇所 ( )

石綿含有建材の除去工事 (8, 1, 5)  
種類、材料、工法等 (8, 18, 2~8, 18, 8)

Table with columns: 種類, 材料・工法, 性能 (耐火時間), 適用箇所 (部位・部分). Includes rows for 耐火材吹付け and 耐火板張り.

あと施工アンカー (8, 2, 4)  
あと施工アンカーの種類  
\* 金属系アンカー (耐震補強用)  
\* 引張耐力 ・ kN ・ 図示による ( )  
\* セン断耐力 ・ kN ・ 図示による ( )  
アンカー本体の径及び埋込み長さ  
\* 図示による (耐震補強共通図)  
セット方式 \* 本体打込み式改良型  
接合金の種類、径、長さ \* 図示による ( )  
\* 性能確認試験  
試験及び試験数 \* 図示による ( )

埋込み配管等の探査方法  
\* 鉄筋探知機 (金属探知器) により探査し、鉄筋、配管類  
の位置に墨出しを行う  
\* はつり出しによる

施工確認試験 (8, 12, 7)  
試験方法  
\* 引張試験機による試験  
確認強度  
\* 図示による (耐震補強共通図)

あと施工アンカーの穿孔工法 (8, 12, 1)  
耐震改修部位に使用するD13以上のあと施工アンカーは、  
ケーシング又はダイヤモンドビット等を用いた低騒音工法  
を採用する。

埋戻し及び盛土 (8, 28, 3)  
埋戻し及び盛土  
\* A種 適用場所 ( )  
\* B種 適用場所 ( 給食室エリア )  
\* C種 適用場所 ( ) 土質 ( )  
\* D種 適用場所 ( )

砂利地業 (8, 2, 15) (8, 28, 4)  
材料  
\* 再生クラッシャー ( )  
\* 切込み砂利又は切込み砕石

捨コンクリート地業 (8, 2, 15) (8, 28, 4)  
厚さ及び適用範囲  
\* 60 ・ 基礎スラブ下 ・ 基礎梁下 ・ 土間コンクリート下  
\* 土に接するスラブ下

構造特記による (8, 1, 3)  
耐火被覆  
種類、材料、工法等

Table with columns: 工程, 規格番号, 規格名称, 種類, 等級, 塗付け量 (kg/m²). Includes rows for 塗料塗り.

あと施工アンカー工事 (8, 2, 4)  
あと施工アンカーの種類  
\* 金属系アンカー (耐震補強用)  
\* 引張耐力 ・ kN ・ 図示による ( )  
\* セン断耐力 ・ kN ・ 図示による ( )  
アンカー本体の径及び埋込み長さ  
\* 図示による (耐震補強共通図)  
セット方式 \* 本体打込み式改良型  
接合金の種類、径、長さ \* 図示による ( )  
\* 性能確認試験  
試験及び試験数 \* 図示による ( )

穿孔 (8, 12, 4)  
埋込み配管等の探査方法  
\* 鉄筋探知機 (金属探知器) により探査し、鉄筋、配管類  
の位置に墨出しを行う  
\* はつり出しによる

施工確認試験 (8, 12, 7)  
試験方法  
\* 引張試験機による試験  
確認強度  
\* 図示による (耐震補強共通図)

あと施工アンカーの穿孔工法 (8, 12, 1)  
耐震改修部位に使用するD13以上のあと施工アンカーは、  
ケーシング又はダイヤモンドビット等を用いた低騒音工法  
を採用する。

埋戻し及び盛土 (8, 28, 3)  
埋戻し及び盛土  
\* A種 適用場所 ( )  
\* B種 適用場所 ( 給食室エリア )  
\* C種 適用場所 ( ) 土質 ( )  
\* D種 適用場所 ( )

砂利地業 (8, 2, 15) (8, 28, 4)  
材料  
\* 再生クラッシャー ( )  
\* 切込み砂利又は切込み砕石

捨コンクリート地業 (8, 2, 15) (8, 28, 4)  
厚さ及び適用範囲  
\* 60 ・ 基礎スラブ下 ・ 基礎梁下 ・ 土間コンクリート下  
\* 土に接するスラブ下

8章 耐震改修工事 共通事項

適用範囲  
\* 改修標準仕様書 第8章 耐震改修工事  
\* 改修標準仕様書において 第8章 耐震改修工事以外の改  
修工事で 第8章 を引用している部分  
工事内容  
\* 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事  
\* 鉄骨プレスの設置工事  
\* 柱補強工事  
(溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フーフ巻き工法)  
\* 柱補強工事 (鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法)  
\* 連続繊維補強工事  
\* 耐震スリット新設工事  
\* 免震改修工事  
\* 制振改修工事  
\* 土工事及び地業工事  
既存部分の処理等 (8, 21, 2, 3) (8, 22, 2, 3) (8, 23, 2, 3)  
(8, 24, 4) (8, 25, 2) (8, 28, 2)  
既存構造体の撤去  
撤去範囲  
\* 図示による ( )  
はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置  
\* 図示による ( )  
既存構造体コンクリート面の目荒らしの程度及び範囲  
\* 既存柱、梁面 ・ 打継ぎ面の15~30%程度に、平均深さ  
2~5mm (最大7mm) 程度の凹凸を全  
体にわたってつける  
\* 既存壁 ・ 打継ぎ面の10~15%程度に、平均深さ  
2~5mm (最大7mm) 程度の凹凸を全  
体にわたってつける  
既存杭の撤去等  
\* 撤去範囲及び撤去方法  
\* 図示による ( )  
\* 杭頭部の処理  
\* 図示による ( )  
\* 既存杭の補強  
\* 図示による ( )  
\* 既存杭の健全性を確認する試験  
\* 行う \* 図示による ( )  
\* 行わない

8章 1 鉄筋工事  
構造特記による (8, 2, 1)  
鉄筋  
種類等の記号 呼び径 (mm) 備考  
\* SD295A  
\* SD345  
溶接金網 (8, 2, 2)  
鉄線の形状等  
種類 種類の記号 鉄線の形状、網目、寸法、鉄線の径 (mm) 使用部位  
\* 溶接金網 WFP  
\* 鉄筋格子

8章 2 コンクリート工事  
構造特記による (8, 1, 3)  
コンクリートの種類  
\* II類 (JIS A 5308に適合したコンクリート)  
\* I類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート)  
コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度 (8, 1, 3)(8, 1, 4)(8, 2, 5)(8, 9, 2)  
\* 普通コンクリート  
設計基準強度 (N/mm²) 気乾単位容積質量 (t/m³) スランプ (cm) 適用箇所  
\* 24 \* 2, 3程度  
\* 21  
構造体強度補正值 \* 改修標準仕様書 8, 2, 4による  
床下防湿層  
材料  
\* ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上  
施工範囲  
\* 図示 ( )

9章 環境配慮改修工事

20章 ユニット及びその他工事

トイレブース (20, 2, 5)

手すり (20, 2, 2)

手すり (20, 2, 2)

手すり (20, 2, 2)

手すり (20, 2, 2)





外部仕上表

階	種	仕上	仕上	仕上
A	RC	RC仕上	RC仕上	RC仕上
B	RC	RC仕上	RC仕上	RC仕上
外	壁	RC仕上	RC仕上	RC仕上
外	窓	RC仕上	RC仕上	RC仕上
外	扉	RC仕上	RC仕上	RC仕上
外	床	RC仕上	RC仕上	RC仕上
外	天井	RC仕上	RC仕上	RC仕上
外	柱	RC仕上	RC仕上	RC仕上
外	梁	RC仕上	RC仕上	RC仕上
外	土間	RC仕上	RC仕上	RC仕上
外	基礎	RC仕上	RC仕上	RC仕上

種	仕上	仕上	仕上
C	コンクリート	F.B	スチールボルト
M	モルタル	P.B	ステンレスボルト
S	鉄骨	P.J.B	ステンレスボルト
W	木	G.B	名産品
C.B	コンクリート	SKC	名産品
SOP	各種高圧コンクリート	NPC	ニールソンD-ベルト
V.P	強化ビニール		
E.P	エポキシ樹脂		
P.L	ポリウレタン		
O.S	オイル		
C.L	カラー		

アスベスト含有建材を示す

内部仕上表

階	室名	床	中木	壁	天井	備考	
1階	前室	100角形磁器タイル貼	100角形磁器タイル貼	75	RC	2600	上層：コンクリート、鉄骨、RCコンクリート
	廊下	モルタル	モルタル	75	RC	2500	床：モルタル、壁：モルタル、天井：RC
	水洗コーナー	モルタル	モルタル	75	RC	2500	床：モルタル、壁：モルタル、天井：RC
	事務室	モルタル	モルタル	75	RC	2500	床：モルタル、壁：モルタル、天井：RC
	休憩室	モルタル	モルタル	75	RC	2500	床：モルタル、壁：モルタル、天井：RC
	便所	モルタル	モルタル	75	RC	2500	床：モルタル、壁：モルタル、天井：RC
	更衣室	モルタル	モルタル	75	RC	2500	床：モルタル、壁：モルタル、天井：RC
	シューズ室	モルタル	モルタル	75	RC	2500	床：モルタル、壁：モルタル、天井：RC
	食品庫	モルタル	モルタル	75	RC	2500	床：モルタル、壁：モルタル、天井：RC
	下洗室	モルタル	モルタル	75	RC	2500	床：モルタル、壁：モルタル、天井：RC
	水回り室	モルタル	モルタル	75	RC	2500	床：モルタル、壁：モルタル、天井：RC
	厨房	モルタル	モルタル	75	RC	2500	床：モルタル、壁：モルタル、天井：RC
配膳室	モルタル	モルタル	75	RC	2500	床：モルタル、壁：モルタル、天井：RC	
廊下	モルタル	モルタル	75	RC	2700	床：モルタル、壁：モルタル、天井：RC	

代表：株式会社エーシー設計  
一級建築士事務所登録  
(長野) M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録  
第222107号 湯本桂司

設計者  
一級建築士登録  
第 307544 号 海瀬務  
一級建築士登録  
第 294614 号 矢崎和夫

検査者 湯本桂司

担当 浜大氣

担当

種別	部位	名称(符号)	品名・規格	形状・寸法	備考
外装	外壁・窓	外装材料E	アクリル樹脂系	中ず肌	
内装	床				
外装	段差スロープ	ボムトップ製、オベリ止め	100mm厚	1000x1000	(ミスター)
	止まり	コンクリート二次製品	W600xD180xH120		SS-100、SC-100 同製品
	止まりポール	ステンレス製	φ101.6xH1200		(サンポール)
	コーナーガード	軟質塩化ビニール製	65mm幅、H1000		EPA-11812-F00 同製品 (ナカ工業)

Job No. 24078

工事名  
岡谷市川岸学園整備 第3期  
(幼保連携型認定こども園建設)  
建築主体工事

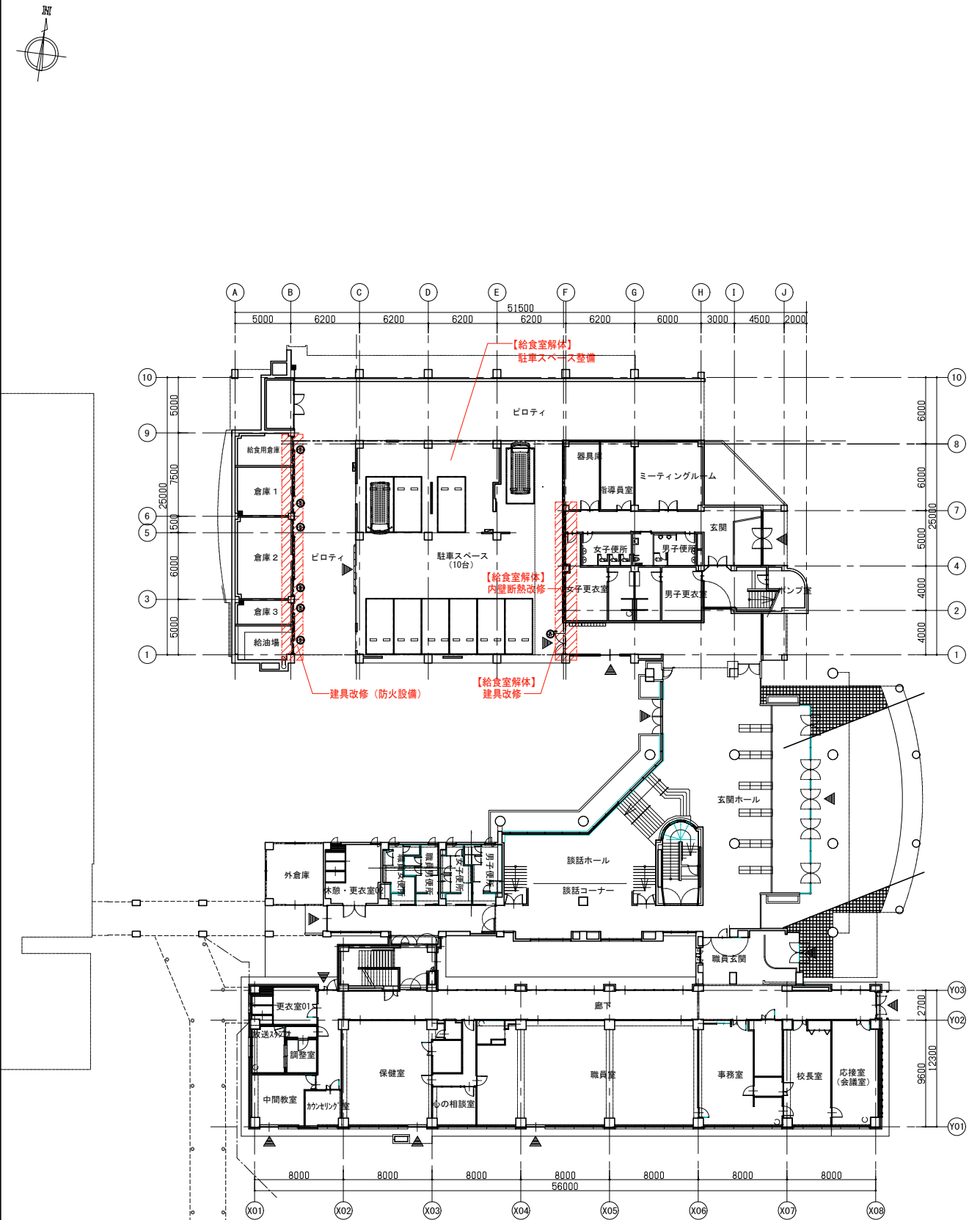
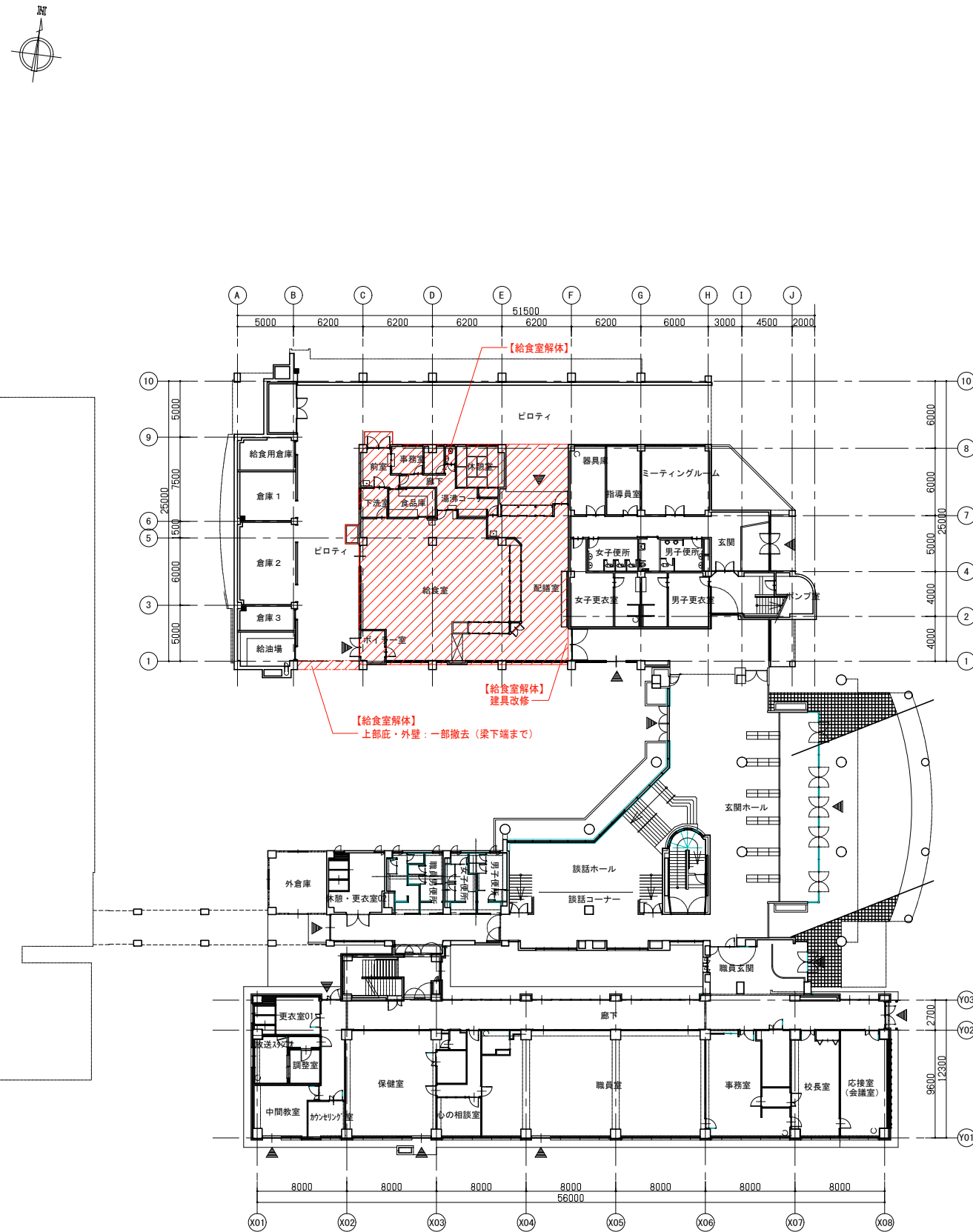
発行日 2026.03.31  
図面名称

改修仕上表

縮尺

KA-010





代表：株式会社エーシーエー設計  
 一級建築士事務所登録  
 (長野) M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録  
 第222107号 湯本桂司

設計者  
 一級建築士登録 第307544号 海瀬務  
 一級建築士登録 第294614号 矢崎和夫

検査者 湯本桂司

担当 浜大氣

担当

Job No. 24078  
 工事名

岡谷市川岸学園整備 第3期  
 (幼保連携型認定こども園建設)  
 建築主体工事

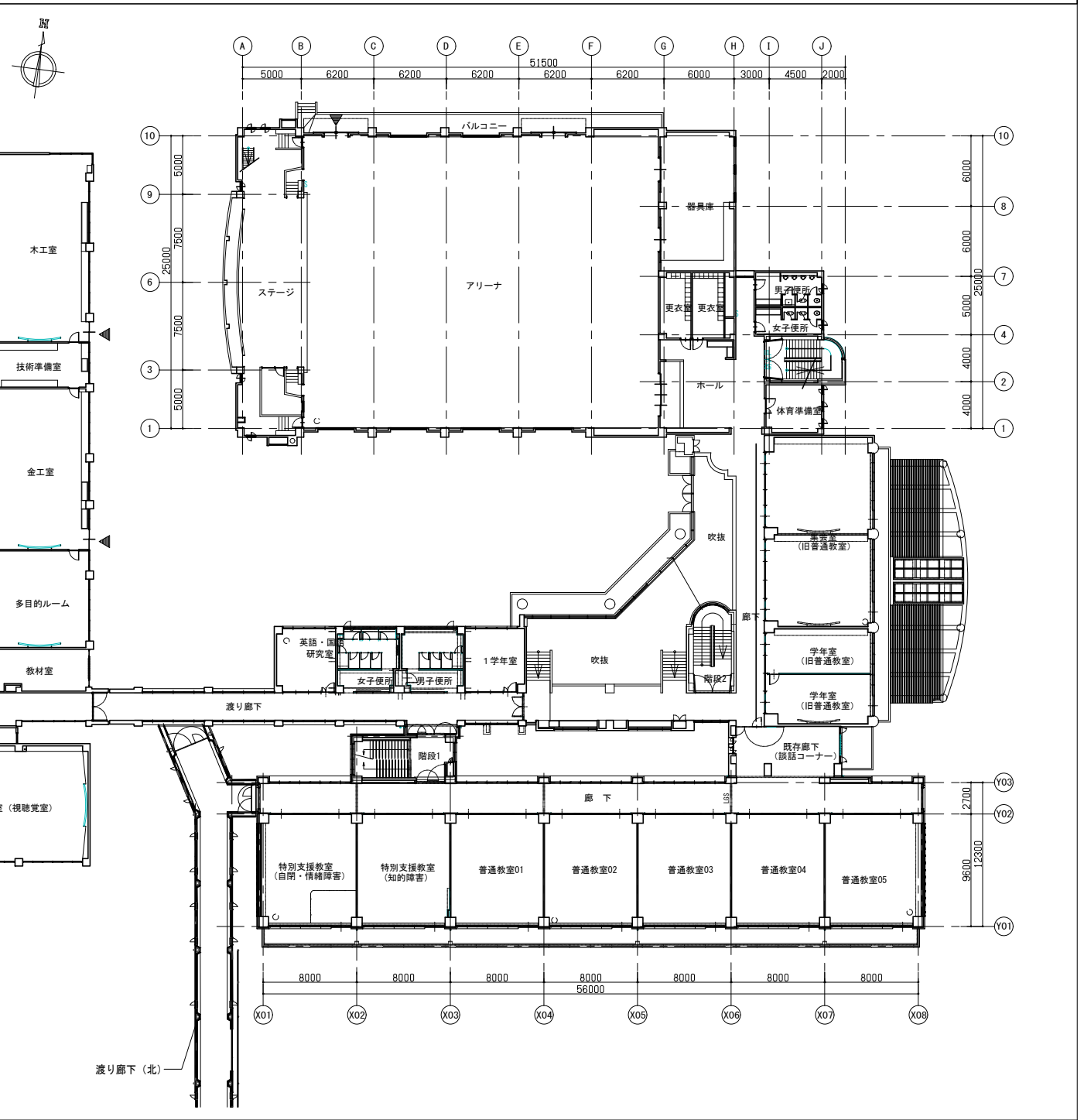
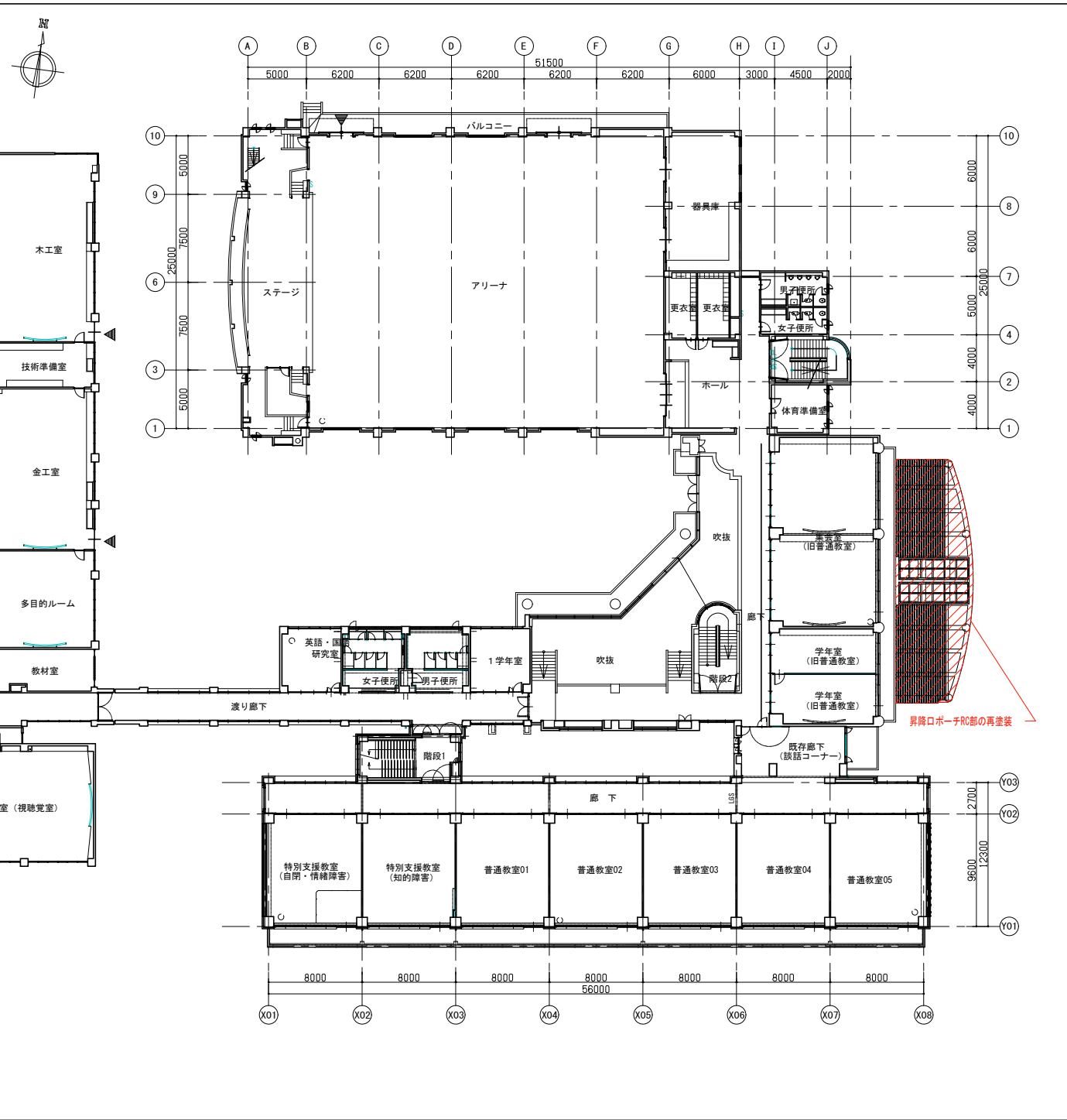
発行日 2026.03.31  
 図面名称

1階改修平面図  
 (改修前・改修後)

縮尺 A1:1/250, A3:1/500

KA-011





代表：株式会社アーエー設計  
 一級建築士事務所登録  
 (長野) M第 77312 号  
 管理建築士 一級建築士登録  
 第222107号 湯本桂司  
 設計者  
 一級建築士登録  
 第 307544 号 海瀬務  
 一級建築士登録  
 第 294614 号 矢崎和夫  
 検査者 湯本桂司  
 担当 浜大氣

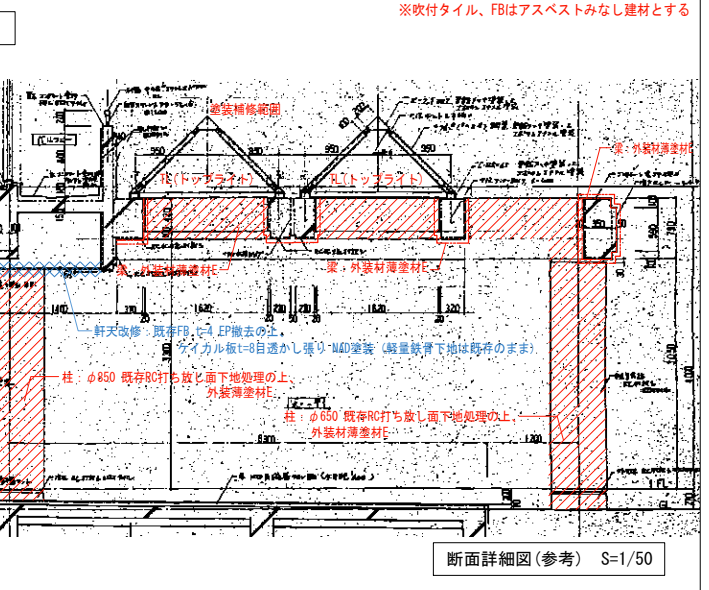
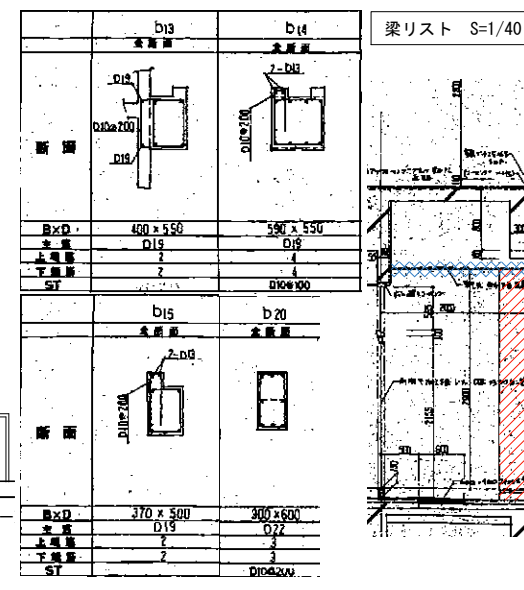
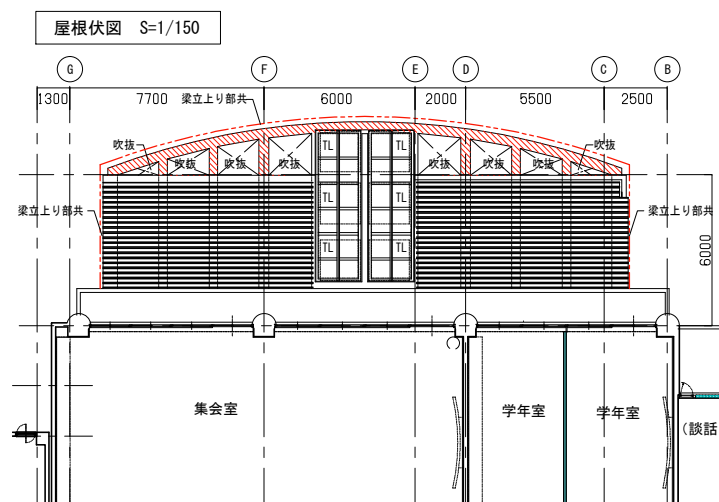
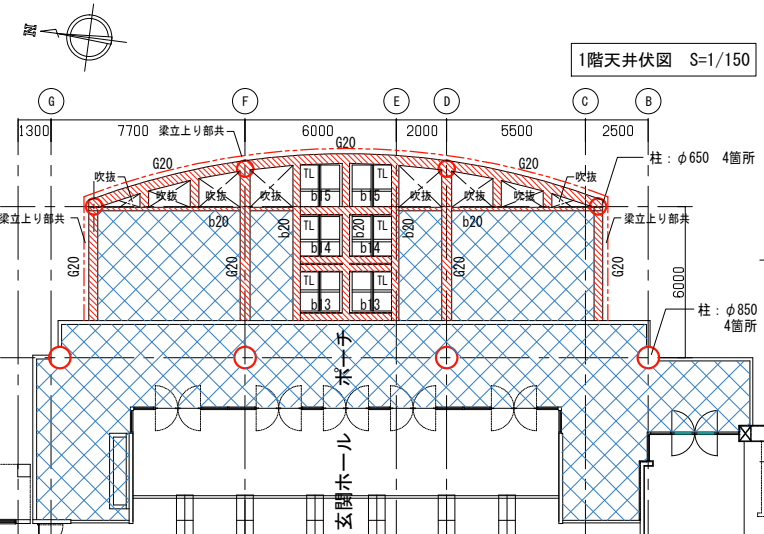
後期校舎 (西部中学校) 昇降口ポーチRC部 (改修前)

軒天改修 (≒182.5m<sup>2</sup>) : 既存FB t=4 EP撤去の上、ケイカル板t=8目透かし張り NAO塗装 (軽量鉄骨下地は既存のまま)

昇降口ポーチ柱・梁RC部の再塗装 : 既存RC打ち放し面下地処理の上、外装材薄塗材E

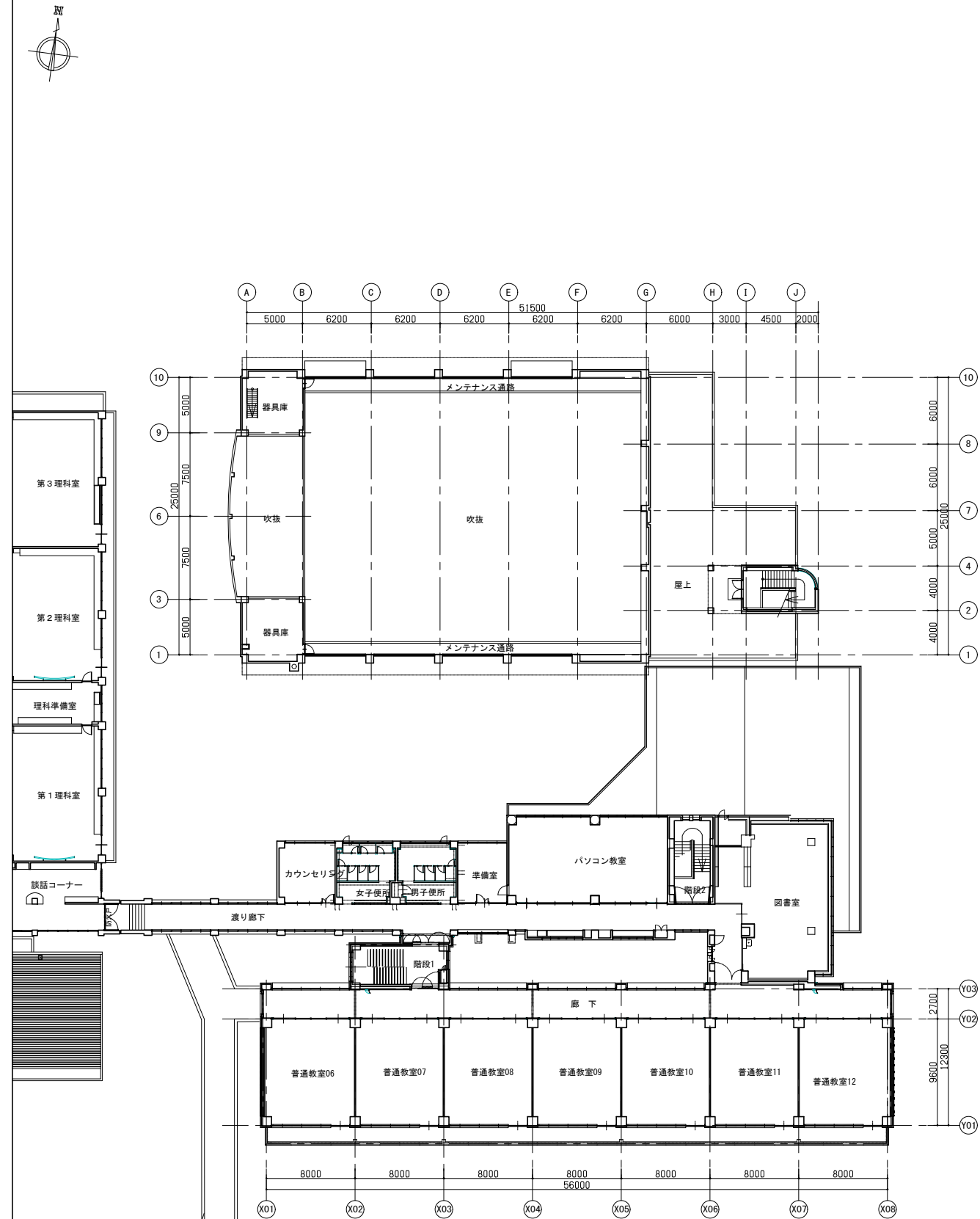
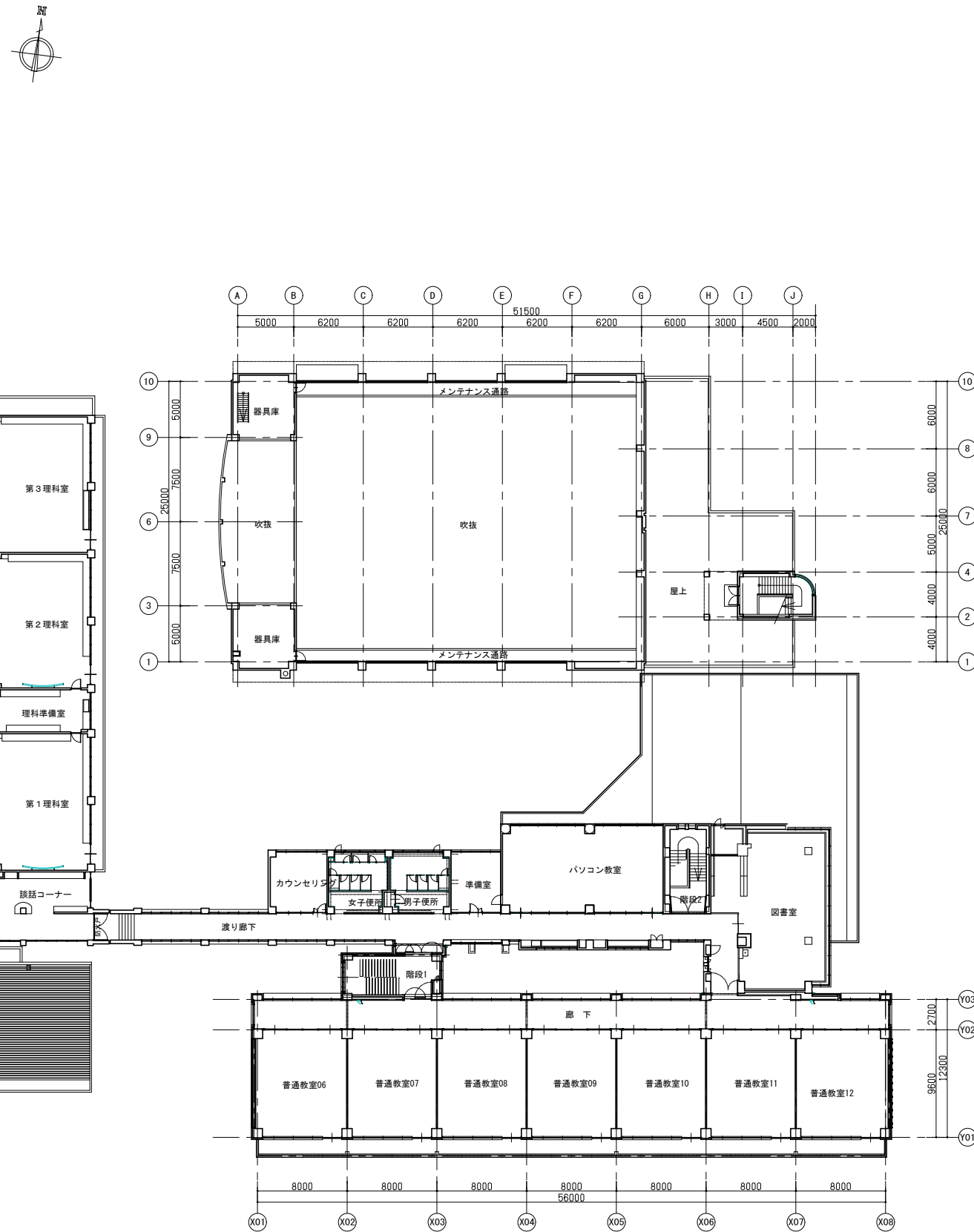
----- 立上り部共 (特記なき限り吹抜部は立上り部共とする)

※TL (トップライト) 立上り部塗装改修 : 既存吹付タイル面下地処理の上、外装薄塗材E再塗装とする



担当

Job No. 24078  
 工事名 岡谷市川岸学園整備 第3期 (幼保連携型認定こども園建設) 建築主体工事  
 発行日 2026.03.31  
 図面名称 2階改修平面図 (改修前・改修後)  
 縮尺 A1:1/250, A3:1/500  
 KA-012



代表：株式会社エーシーエー設計  
 一級建築士事務所登録  
 (長野) M第 77312 号  
 管理建築士 一級建築士登録  
 第222107号 湯本桂司  
 設計者  
 一級建築士登録  
 第 307544 号 海瀬務  
 一級建築士登録  
 第 294614 号 矢崎和夫

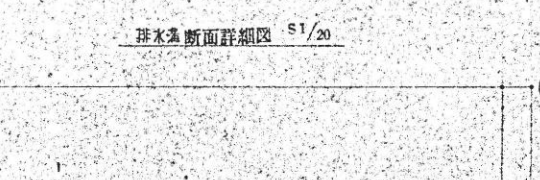
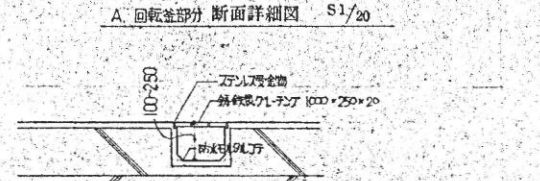
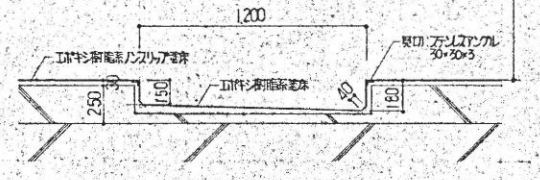
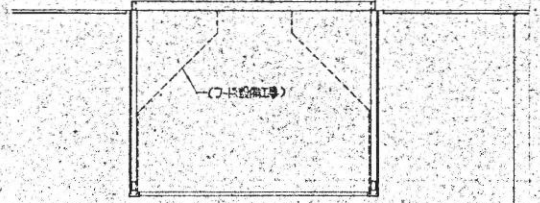
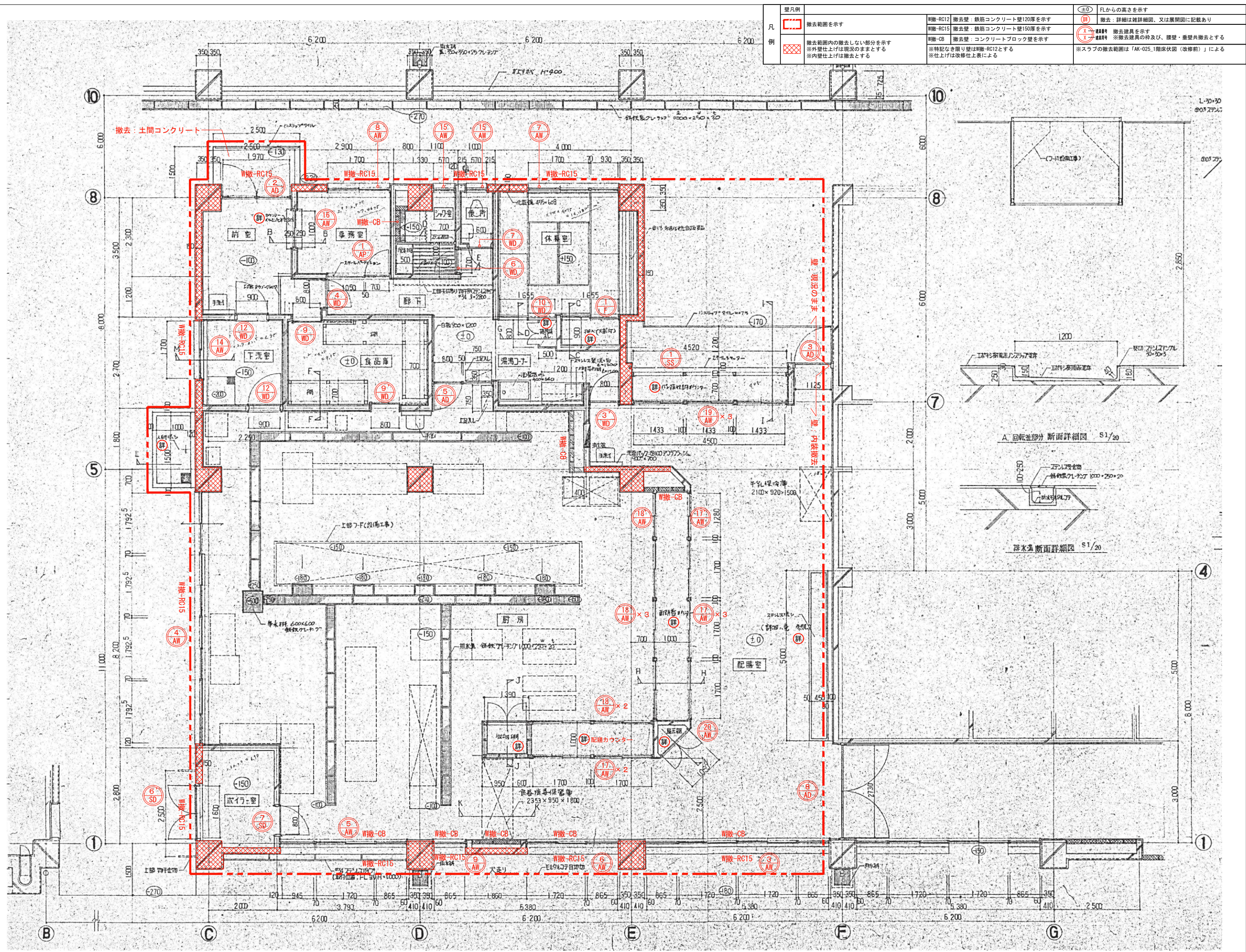
検査者 湯本桂司  
 担当 浜大氣  
 担当

Job No. 24078  
 工事名  
 岡谷市川岸学園整備 第3期  
 (幼保連携型認定こども園建設)  
 建築主体工事  
 発行日 2026.03.31  
 図面名称

3階改修平面図  
 (改修前・改修後)  
 縮尺 A1:1/250, A3:1/500

KA-013  
 最終図  
 2026.03.31

凡例	壁凡例	W撤-RC12	撤去壁：鉄筋コンクリート壁120厚を示す	±0	凡からの高さを示す
凡例	撤去範囲を示す	W撤-RC15	撤去壁：鉄筋コンクリート壁150厚を示す	詳	撤去：詳細は補詳細図、又は展開図に記載あり
例	撤去範囲内の撤去しない部分を示す ※外壁仕上げは現状のままとする ※内壁仕上げは撤去とする	W撤-CB	撤去壁：コンクリートブロック壁を示す	AW	撤去建具を示す
				WD	※撤去建具の種及び、扉壁・垂壁共撤去とする
				SS	※特記なき限り壁はW撤-RC12とする
				AD	※スラブの撤去範囲は「AK-025.1階床伏図（改修前）」による



代表：株式会社エーシーエー設計  
一級建築士事務所登録  
(長野) M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録  
第222107号 湯本桂司

設計者  
一級建築士登録  
第 307544 号 海瀬務  
一級建築士登録  
第 294614 号 矢崎和夫

検査者 湯本桂司

担当 浜大氣

担当

Job No. 24078  
工事名

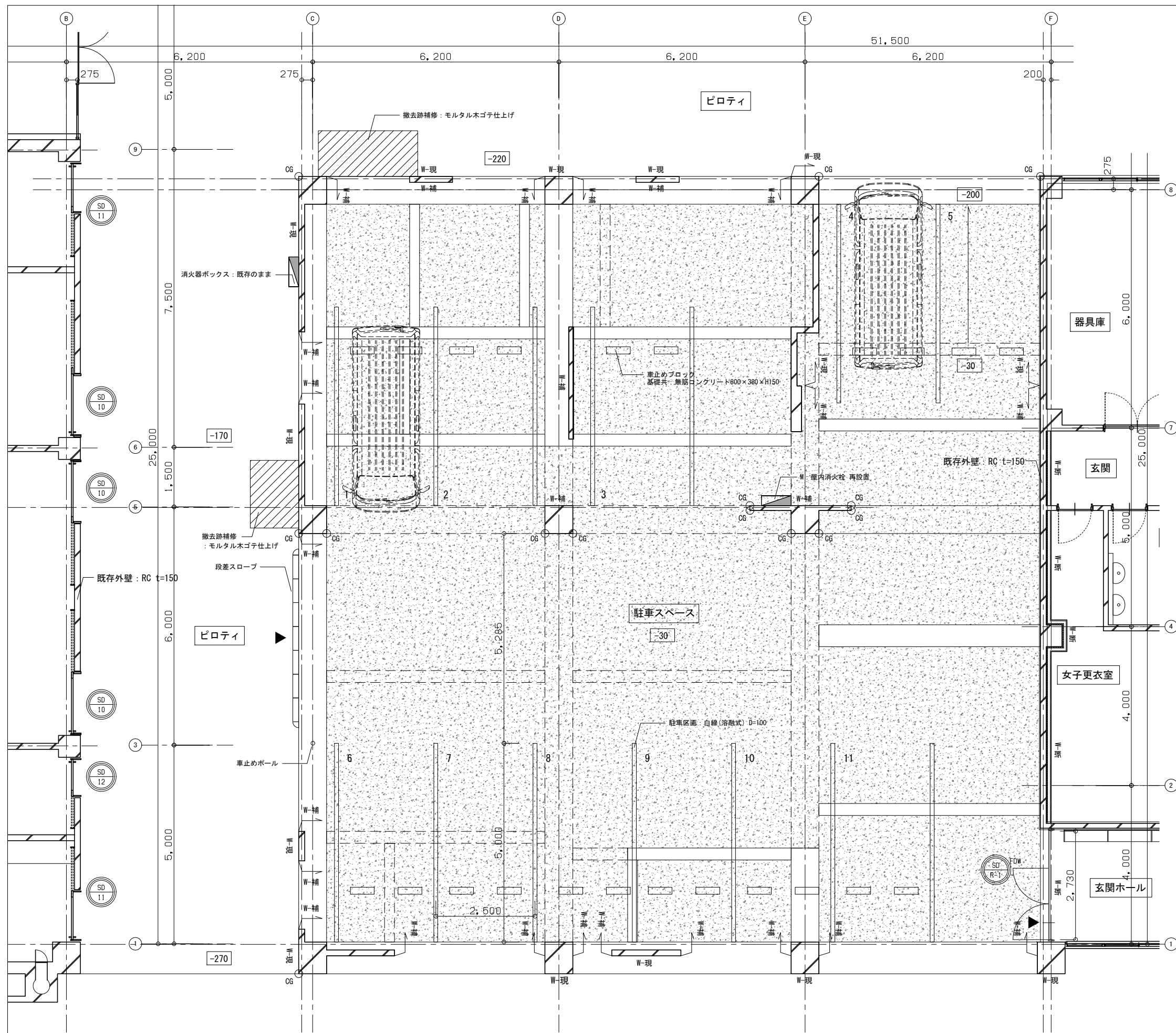
岡谷市川岸学園整備 第3期  
(幼保連携型認定こども園建設)  
建築主体工事

発行日 2026.03.31  
図面名称

【給食室】  
平面詳細図  
(改修前)

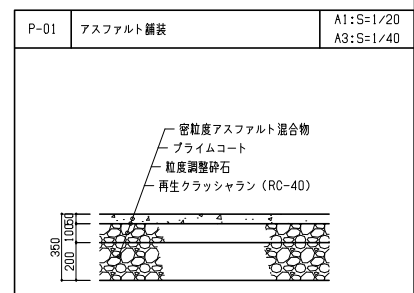
縮尺 A1:1/50, A3:1/100

KA-014  
最終図  
2026.03.31



給食室解体 建具表 (新設)	
記号	形式・数量 使用場所
SD R-1	両開き戸+FIX 1F 玄関ホール 1ヶ所
型 状	
材種・見込	スチール・100 番様: st, PL-1, 6曲げ加工DP
仕 上	DP
硝 子	-
全 物	DC・丁番・くつずり、レバーハンドル・フランス落し・付属金物一式
付 属 品	
備 考	*特記なき限り【A-061_建具特記仕様書】による

凡 例	記号	説明	壁凡例	説明
[ E ]		電気設備工事 (別途工事) を示す	壁凡例	アスファルト舗装 ※特記なき限り仕上げレベルは1F-30とする
[ M ]		機械設備工事 (別途工事) を示す	W-現	外壁仕上げ現況のまま
[ B ]		備品別途等を示す	W-補	外壁仕上げ補修: RC打放し面下地補修の上、外装薄塗材E
[ 主0 ]		FLからの高さを示す	W-断	内壁断熱改修: 現況仕上げの上、硬質ウレタンフォーム【A種1】t=35吹付 +LSS65下地+GB-R12.5+9.5 EP
CG		コーナガード: 改修仕上表による		



代表: 株式会社エーシーエー設計  
一級建築士事務所登録  
(長野) M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録  
第222107号 湯本桂司

設計者  
一級建築士登録  
第 307544 号 海瀬務  
一級建築士登録  
第 294614 号 矢崎和夫

検査者 湯本桂司

担当 浜大氣

担当

Job No. 24078  
工事名 岡谷市川岸学園整備 第3期  
(幼保連携型認定こども園建設)  
建築主体工事

発行日 2026.03.31  
図面名称

【給食室】  
平面詳細図  
(改修後)

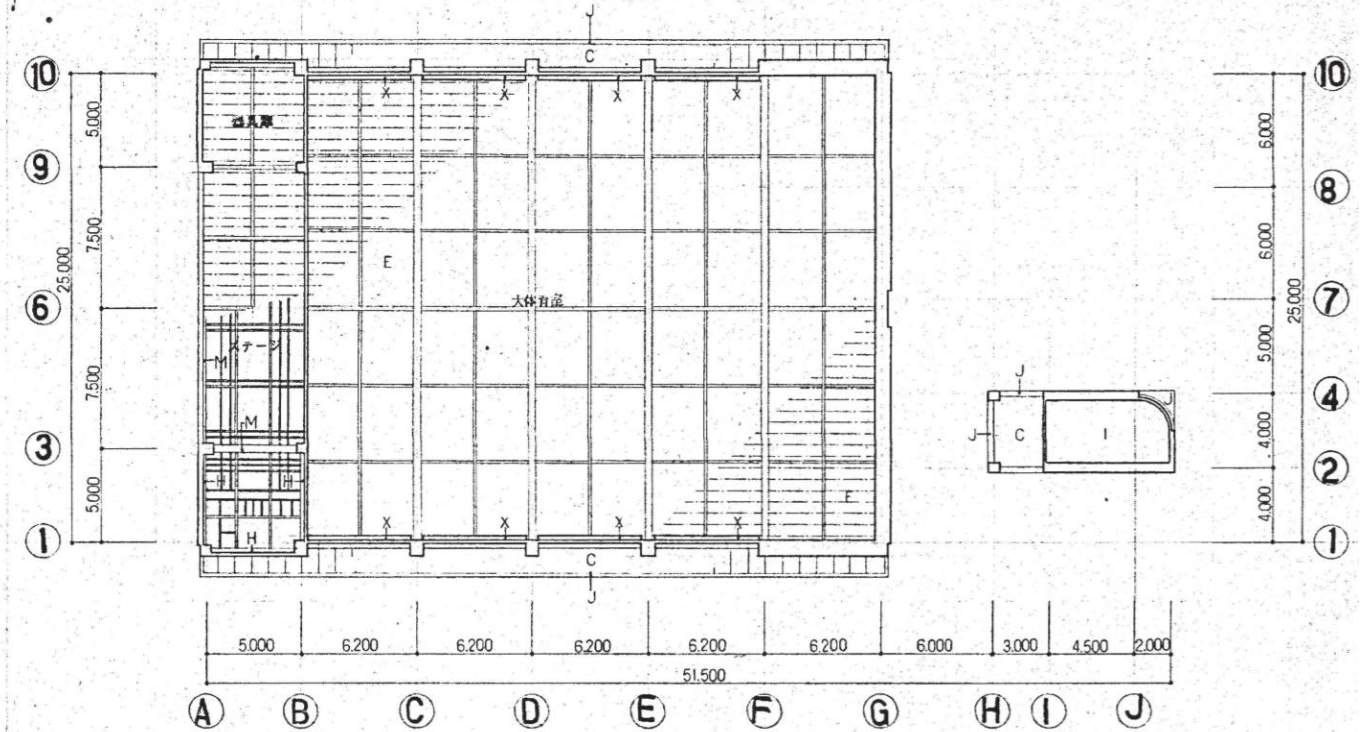
縮尺 A1:1/50, A3:1/100

KA-015

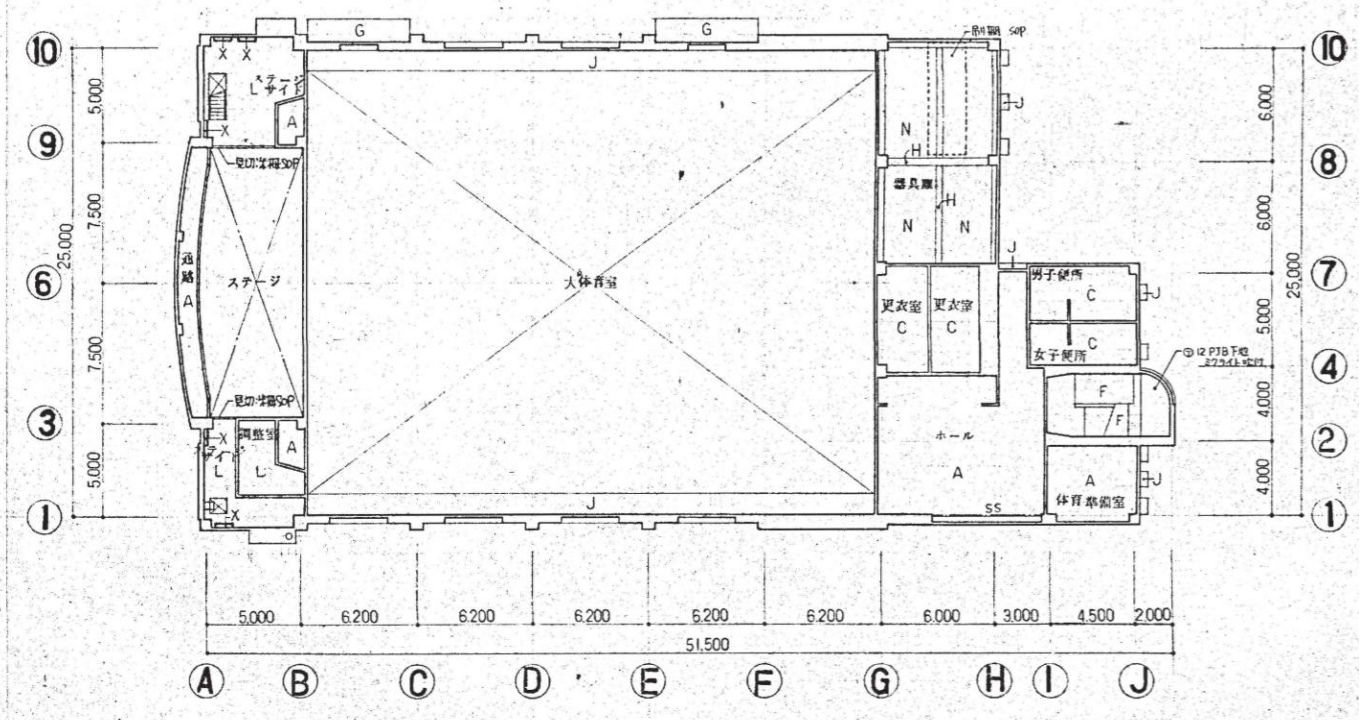
最終図  
2026.03.31

凡例	
A	⑨化材 PB 壁
B	⑨化材 化粧 PB 壁
C	④FB 目隠し壁 VP
D	パズル
E	②5 着色不燃板
F	RC 打放し ミクライ 壁付
G	RC 打放し フォリリン 壁付
H	RC 打放し
I	⑨ 不燃化粧 PB 壁
J	RC 打放し 吹付 94L
K	②4 木毛板打込
L	④PB 下地 ⑨ GB&S
M	RC 打放し VP
N	③0 木毛板打込
X	11-予・BeX
天井天候口	600×600 1階 8×4H . 2階 8×4H

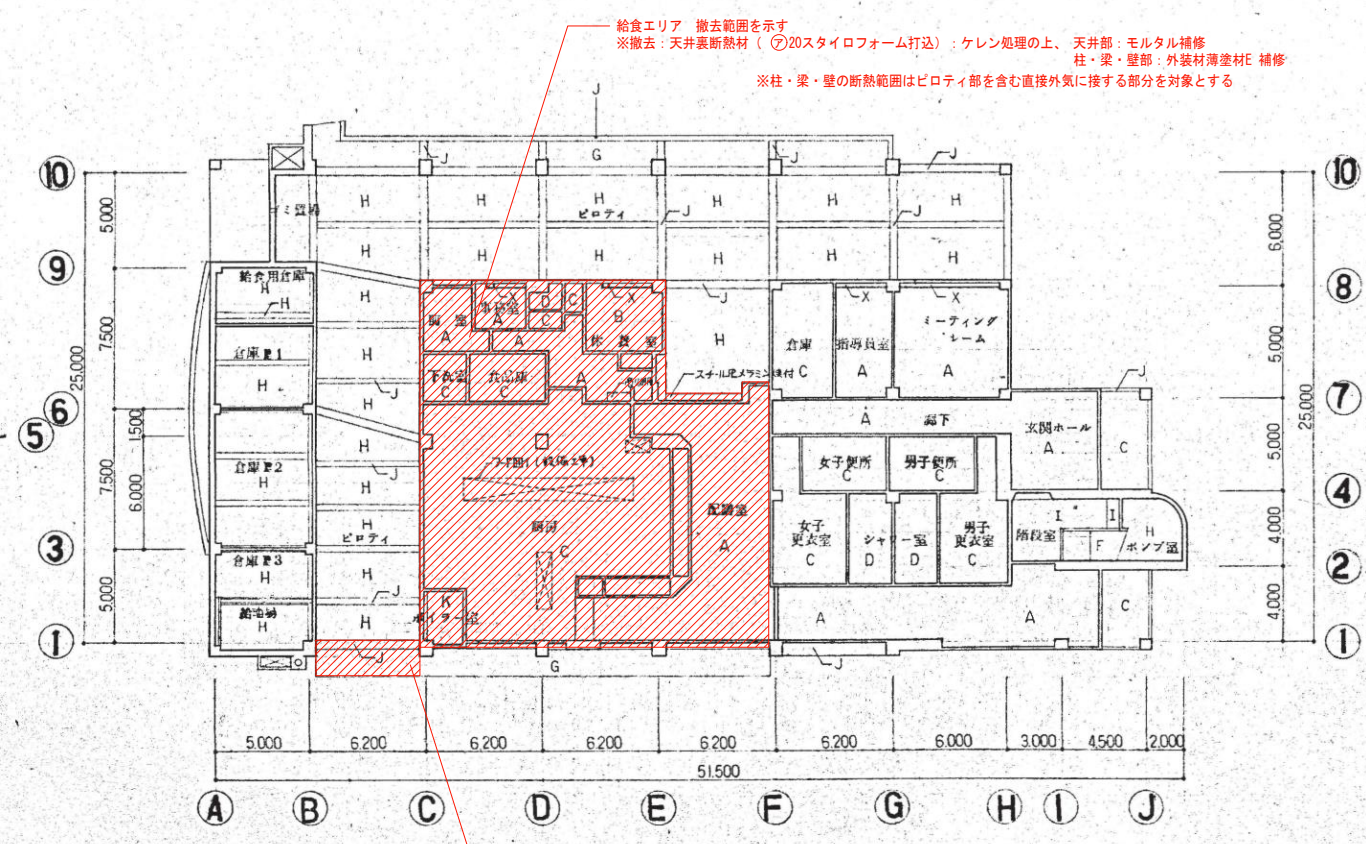
※特記なき限り天井下地は軽量鉄骨下地とする



3階 天井伏図 S1/200



2階 天井伏図 S1/200



1階 天井伏図 S1/200

給食エリア 撤去範囲を示す  
※撤去: 天井裏断熱材 (㊦20スタイロフォーム打込): ケレン処理の上、天井部: モルタル補修  
柱・梁・壁部: 外装材薄塗材E 補修  
※柱・梁・壁の断熱範囲はピロティ部を含む直接外気に接する部分を対象とする

庇・外壁、一部撤去(梁下端まで)

代表: 株式会社エーシーエー設計  
一級建築士事務所登録  
(長野) M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録  
第222107号 湯本桂司

設計者  
一級建築士登録  
第 307544 号 海瀬務  
一級建築士登録  
第 294614 号 矢崎和夫

検査者 湯本桂司

担当 浜大氣

担当

Job No. 24078  
工事名

岡谷市川岸学園整備 第3期  
(幼保連携型認定こども園建設)  
建築主体工事

発行日 2026.03.31  
図面名称

【給食室】  
天井伏図  
(改修前)

縮尺 A1:1/200, A3:1/400

KA-016  
最終図  
2026.03.31